

**令和４・５年度（第１期）
世田谷区立図書館運営協議会 活動実績について**

令和６年６月

目 次

1 世田谷区立図書館運営協議会の概要	1
（1）世田谷区立図書館運営協議会について	1
2 令和4・5年度（第1期）世田谷区立図書館運営協議会について	2～87
（1）令和4年度	2
（2）令和5年度	2～3
令和4年度 世田谷区立図書館運営協議会評価シート	4～16
基本方針1 「0歳児からの読書を支える図書館」	5～6
基本方針2 「大人の学びを豊かにする図書館」	7～8
基本方針3 「暮らしや仕事に役立つ図書館」	9～10
基本方針4 「世田谷の魅力を収集・発信する図書館」	11～12
基本方針5 「図書館ネットワークの構築」	13～14
基本方針6 「専門性と効率性を両立した運営体制の構築」	15～16
令和5年度 世田谷区立図書館運営協議会各館取組みシート	18～84
1 中央図書館	19～23
2 梅丘図書館	25～28
3 世田谷図書館	29～32
4 砧図書館	33～36
5 奥沢図書館	37～40
6 玉川台図書館	41～44
7 代田図書館	45～48
8 烏山図書館	49～52
9 下馬図書館	53～56
10 深沢図書館	57～60
11 桜丘図書館	61～64
12 尾山台図書館	65～68
13 上北沢図書館	69～72
14 粕谷図書館	73～76
15 鎌田図書館	77～80
16 経堂図書館	81～84
区立図書館全体実績数	85

区立図書館全体に関わる共通意見・提案	86
世田谷区立図書館の特色等一覧表	87～88

資料集 90～94

(1) 世田谷区立図書館運営協議会設置要綱	91～92
(2) 世田谷区立図書館運営協議会委員一覧	93～94

1 世田谷区立図書館運営協議会の概要

(1) 世田谷区立図書館運営協議会について

①世田谷区立図書館運営協議会の設置

区立図書館では、第2次世田谷区立図書館ビジョンに基づき、利用者ニーズに即した区立図書館運営やサービス向上を図ることを目的に、区立図書館の運営状況の評価・検証、区立図書館運営・サービスの課題および改善等について、専門的な知見や利用者等の視点から検討を行うため、「世田谷区立図書館運営協議会」を令和4年7月に設置した。

委員の任期が令和4～5年度の両年度にまたがり、今後も2年毎に委員を選定する予定であることから、令和4～5年度を合わせて、「第1期」とした。

今後は、令和6～7年度を「第2期」として、2年毎に期をかさねることとする。

②設置要綱

「4 資料集 世田谷区立図書館運営協議会設置要綱」のとおり

③令和4年度、5年度の委員について

ア. 委員数

16名

イ. 委員任期

令和4年7月1日～令和6年6月30日

ウ. 委員組織（詳細は、「4 資料集 世田谷区立図書館運営協議会委員一覧」のとおり）

- ・学識経験者
- ・公募区民
- ・社会教育関係者
- ・教育機関関係者
- ・図書館活動団体関係者
- ・図書館関連事業関係者
- ・世田谷区立小中学校長
- ・区職員

2 令和4・5年度（第1期） 世田谷区立図書館運営協議会について

（1）令和4年度

①世田谷区立図書館運営協議会の活動内容（評価・検証）について

第2次世田谷区立図書館ビジョンに掲げる基本方針1～6の施策の方向性に基づく令和3年度の区立図書館全体の取組み実績について、評価シートを作成し、評価指標を抽出して区による自己評価等を行った。その後、協議会委員の意見・提案を踏まえ、今後の取組みの方向性として取りまとめた（詳細は、4ページ「令和4年度 世田谷区立図書館運営協議会評価シート」のとおり）。

②令和4年度の開催状況

第1回：令和4年 7月30日（土）

第2回： 10月27日（木）

第3回：令和5年 1月27日（金）

第4回： 3月28日（火）

会場は中央図書館3階会議室「ぎんが」で、計4回開催した。

※会議は公開とし、各回の資料及び会議録は区ホームページで公表している。

③評価・検証の反映

・第3次世田谷区立図書館ビジョン策定検討委員会への報告及び反映

令和4年度の協議会で実施した、第2次世田谷区立図書館ビジョンに対する評価・検証の内容について、令和6年度からの計画である第3次世田谷区立図書館ビジョンの策定検討委員会（令和5年6月21日開催）で報告した。その後、報告した意見等を踏まえ、第3次世田谷区立図書館ビジョンが検討・作成された。

（2）令和5年度

①世田谷区立図書館運営協議会の活動内容（評価・検証）について

中央図書館及び地域図書館15館を対象（地域図書室・図書館カウンターを除く）に、各館ごとの令和4年度の課題や目標、取組み状況等について記載した「各館取組みシート」を作成し、中央図書館係長や地域図書館長が出席する協議会において委員から意見や提案を行った。（「各館取組みシート」については、18ページのとおりのとおり。）

②令和5年度の開催状況

第1回：令和5年 7月21日（金）

第2回： 10月25日（水）

第3回：令和6年 1月24日（水）

第4回： 3月26日（火）

会場は中央図書館3階会議室「ぎんが」で、計4回開催した。

※会議は公開とし、各回の資料及び会議録は区ホームページで公表している。

③評価・検証の反映

- ・各館の運営やサービス等の取組みの参考及び反映

令和5年度の協議会で実施した、各館ごとに作成された「各館取組みシート」に基づく意見や提案については、令和6年度以降の各館の取組みの参考または反映とするなどの活用が期待される。

**令和 4 年度 世田谷区立図書館運営協議会
評価シート**

《基本方針》

基本方針1 0歳児からの読書を支える図書館

《施策の方向性及び主な取組みについて(第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記)》

①子どもが本に出会う機会をつくる
乳幼児から小学生、中高生、そして大人へと読書や学びの習慣が続くよう、子どもの成長段階に応じた切れ目のない読書支援を行います。乳幼児に対しては、赤ちゃんおはなし会や絵本・わらべうた講座などの充実のほか、はじめて出会う絵本事業や出張ブックトーク事業等も実施に向けて検討します。
②子どもサービスの拠点をつくる
・子どもの読書活動を支援する取組みや地域などへの支援を行うため、継続して、絵本、児童資料、ヤングアダルト資料の収集に努めるほか、視覚障害をはじめとする配慮を要する子どもの読書のため、布絵本やマルチメディアデジジー、録音図書、大活字本なども収集の充実を図ります。 ・子どもの読書活動や読み聞かせなどに関心のある区民と協力して事業を進めるため、おはなし会ボランティア講座や子ども読書リーダー(子ども司書)講座などを継続して実施します。
③充実した学校図書館づくりを支援する
学校図書館の充実に向け、区立図書館の豊富な図書資料等や選書などのスキルを有効に活用することが求められます。学級文庫のための団体貸出や調べ学習用の資料提供といった支援の充実のほか、区立図書館と学校図書館司書等との定期的な交流会の開催等を検討し、情報交換や選書や授業に対するレファレンスなどを実施する体制の確立に努めます。

《評価指標及び自己評価》

指標		R2年度実績	R3年度実績	対R2年度比	《参考》 H30年度実績	令和3年度自己評価	
①	子どもが本に出会う機会をつくる						
	定例おはなし会	実施回数	349回	211回	60.5%	1013回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館の休館や開館時間の短縮、おはなし会など多くの事業で中止や規模縮小等の対応を余儀なくされたが、区のイベント対応方針に基づき、参加者数の精査や適切な距離の確保、検温等の感染防止対策をとったうえで、事業を実施することができた。
		参加者数	2,612名 (子ども1,608名、 大人1,004名)	1,535名 (子ども923名、 大人612名)	58.8%	13,056名 (子ども7,973名、 大人5,083名)	
	子ども向け事業(おはなし会を除く)	実施回数	49回	55回	112.2%	179回	
		参加者数	736名 (子ども441名、 大人295名)	714名 (子ども427名、 大人287名)	97.0%	5,634名 (子ども3,390名、 大人2,244名)	
	子どもサービスの拠点をつくる						
②	児童向け資料	蔵書数	534,403冊	539,639冊	101.0%	522,498冊	・児童向け資料の充実に向けて、外国語の絵本や低学年向け資料、中高生向け資料など、各館で特徴を出しながら、児童向け資料の充実に取り組むことができた。 ・子ども読書リーダー活動については、令和2年度に比べて実施回数や参加者人数等が増えたが、コロナ禍以前に比べると数値が少ないため、感染防止対策をとったうえで、活動の充実に向けた工夫が必要である。
		貸出数	2,194,961冊	2,578,660冊	117.5%	2,388,969冊	
	子ども読書リーダー(子ども司書)活動実績	講座参加者数	20名	46名	230.0%	51名	
		活動回数	23回	30回	130.4%	108回	
		参加者人数	89名	131名	147.2%	292名	
	充実した学校図書館づくりを支援する						
③	小・中学校への調べ学習支援貸出実績	件数	381件	312件	81.9%	490件	・小中学校への調べ学習支援について、コロナ禍で学校行事関連を中止したことなどにより、件数・貸出冊数が減少しており、今後小中学校との連携をより一層進めていくことが必要である。 ・学校図書館の運営体制を充実に向けて、小・中学校教諭の研修の受入を実施することができた。
		冊数	13,556冊	10,415冊	76.8%	20,803冊	
	小・中学校教諭研修 図書館受入実績	受入日数	44日	38日	86.4%	42日	
		受入人数	30名	19名	63.3%	25名	

＜各館の具体的な取り組み事例＞

①子どもが本に出会う機会をつくる ○子ども向け事業 ・(中央図書館)「世界のことで読み聞かせ」外国語による絵本の読み聞かせや文化についてのブックトークを実施した。 ・(経堂図書館)「創作かみしばい」劇団・せたがや創作紙芝居による上演と、合間に内容についてのクイズを出題した。 ②子どもサービスの拠点をつくる ○児童向け資料 ・(梅丘図書館)「やさしい本」コーナーの資料として点字本等を20冊購入した。布絵本は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための除菌および修繕作業を重点的に行った。 ・(世田谷図書館) 外国語絵本等の充実に向けて、英語絵本を1割以上増加させ、企画展示を行うなどして所蔵PRを行った。 ・(中央図書館) 低学年向けノンフィクションブックリスト「もっと、なぜ？なに？しるってたのしい！」を作成した。<u>(参考資料添付)</u> ○子ども読書リーダー活動 ・(粕谷図書館) 子ども読書リーダーに、子ども向け広報紙に本の紹介文を書いてもらった。 ③充実した学校図書館づくりを支援する ○調べ学習支援 ・(梅丘図書館) 教科書に出ている資料を中心に調べ学習資料を購入し、充実させた。 ・(下馬図書館) 教科書や小学校からの調べ学習用団体貸出の依頼が多かったものを選定して購入した。

＜基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋＞ ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋

○おはなし会認知度 [P44] 令和3年度47.4%、令和2年度48.7%、平成30年度47.2% ○主な意見 ・中学生用の本が少なく、多くの本と出会えない。だから、今人気（ベストセラー）や中学生にためになる本を増やしてほしい。[P74] ・子どもたちが図書館は居心地が良くて楽しいところ、本はおもしろい、と感じることのできる本のラインナップや閲覧場所の配置を期待しています。[P79] ・学生向けに、読書感想の書き方についてのワークショップを開くなど、本に造詣の深い方々からのアドバイスに触れる機会があれば有難いです。[P83] ・新しい本もうれしいのですが、子どもの絵本などもう手に入らない古い本があるのがとてもありがたいなと思っています。また本屋さんだと似たような本が並んでいるので、その点でも図書館は貴重であります。[P74]
--

＜図書館運営協議会からの意見・提案＞

②子どもサービスの拠点をつくる ・中央図書館で作成しているブックリストについて、学校とうまく連携できたら、もっと深いものができるのではないかな。 ・部活に特化した中学生向けのブックリストがあり、それを見て中学校に入ったらこの部活をやりたいというようなことを言う子もいたので、こういったブックリストには効果があるのではないかな。 ・中央図書館に限らず、ほかの世田谷区内の図書館に足を運んだときに、いろいろブックリストを作っているのを見ていて、とても意欲的に取り組んでいるなと思う。一方で、ブックリストを作成した後の評価も必要だと思う。 ・子ども読書リーダーについて、小学生だけでなく、中学生の職場体験等で図書館に来るような子どもたちを、子ども読書リーダーに取り込んで一緒になってやっていけると良いのではないかな。 ③充実した学校図書館づくりを支援する ・主な取り組みに記載されている「区立図書館と学校図書館司書等」との定期的な交流会…」とあるが、もし交流会をやっているならば、指標化しても良いのではないかな。 ・小・中学校の調べ学習支援について、小学校と中学校の調べ学習の違いみたいなものがみれると良いのではないかな。 ○その他 ・中高生についての記載が、この基本方針1にはあまり出てきていないのではないかな。 ・基本方針1「0歳児からの読書を支える図書館」とあるが、幼児のことを中心に取り組んでいるような印象を受けるので、小中高生に関する言葉が入ると良いのではないかな。
--

＜自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取り組みの方向性＞

①子どもが本に出会う機会をつくる ・おはなし会や子ども向け事業を継続して実施し、電子書籍の活用等も含め、読書機会の拡大等について検討していく。 ・図書館が作成するブックリストを効果的に活用するため、HP等による広報のほか、小・中学校との連携をより一層図っていく。 ・中高生の読書を推進するため、読書への興味関心を惹くような中高生向け事業・周知や、図書館ボランティア体験などにも取り組んでいく。 ②子どもサービスの拠点をつくる ・今後も、継続して絵本、児童資料、中高生向け資料などの収集・充実に努めていく。 ・子ども読書リーダーの取り組みについて、小学校だけでなく中学校との連携も図りながら、中高生世代を子ども読書リーダーに取り込んでいくなど、子ども読書リーダーの取り組みの充実とあわせて中高生の読書活動を支援していく。 ③充実した学校図書館づくりを支援する ・小・中学校への調べ学習支援の充実に向けて、資料の充実や小・中学校への資料提供の機会を増やすなど、学校図書館と区立図書館との連携を図っていく。 ・区立図書館と学校図書館司書との交流会については、学校図書館司書の全校委託化やコロナ禍により開催していないため、情報交換などの機会を設けるよう交流会の開催について検討していく。
--

《基本方針》

基本方針2 大人の学びを豊かにする図書館

《施策の方向性及び主な取組みについて (第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記) 》

①多様な学びの機会をつくる
・図書館サービスの根幹をなす図書資料等の充実に継続して取組みます。 ・図書館のロビー等を会場とした音楽会や多彩なテーマの講演会等の事業を行い、これまで図書館に来る機会の少なかった区民の図書館利用へのきっかけづくりを図ります。また、図書館の図書資料等を活用した主体的な学びを促すことを目的として、資料の探し方や調べ方、様々なテーマでの講演・講座などの図書館活用講座等の実施を通じて、テーマに関連する資料を手に取り、学びを広げる機会を提供します。
②お互いに学びあう機会をつくる
第1次図書館ビジョンのもとで取組んできた「学習活動発表会」を継続して実施し、図書館を利用した学習成果の発信機会を設けます。参加者の学習成果や発表の様子等をまとめた報告書のホームページでの公開等により、区民の図書館における学習成果を広め、関心を共有する区民のさらなる参画を促すことをめざします。
③地域で学びを活かす人材を育てる
子どもの読書活動に関わるボランティアや録音図書を作製するボランティアの育成のための講座を継続して実施するとともに、講座修了者の活動の場や機会に関する情報提供等の活動支援手法を検討・実施し、各々の活動の広がりを支援していきます。

《評価指標及び自己評価》

指標			R2年度実績	R3年度実績	対R2年度比	《参考》 H30年度実績	令和3年度自己評価	
①	多様な学びの機会をつくる							
	一般図書 貸出数、 蔵書数 (総記、哲 学、歴史、 文学) ※児童書 等を除く ※ () 内の 割合は、 総数に対 しての比 率	蔵書 数	総記	38,734冊(2.7%)	39,046冊(2.7%)	100.8%	37,523冊(2.6%)	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予算の削減を受ける中で必要な資料を厳選して選書することができた。一方で、アンケート調査では「図書館に望むサービス」として、蔵書や資料の充実を望む声が多く、より一層図書資料等の充実に取り組む必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したうえで、図書館活用講座などのイベント等を実施し、図書館利用の契機や図書館の活用方法の周知などに取り組むことができた。
			哲学	55,210冊(3.8%)	56,203冊(3.8%)	101.8%	55,635冊(3.8%)	
			歴史	130,387冊(9.0%)	130,219冊(8.9%)	99.9%	133,191冊(9.2%)	
			文学	523,381冊(36.1%)	524,876冊(36.0%)	100.3%	527,646冊(36.3%)	
			総数(上記以外の分類を含む)	1,451,442冊	1,459,949冊	100.6%	1,453,922冊	
		貸出 数	総記	57,894冊(1.8%)	62,562冊 (1.7%)	108.1%	57,089冊(1.4%)	
			哲学	160,808冊(4.9%)	176,796冊(4.8%)	109.9%	188,720冊(4.5%)	
			歴史	245,422冊(7.4%)	277,571冊(7.5%)	113.1%	424,882冊(10.2%)	
			文学	1,454,658冊(44.0%)	1,624,907冊(44.2%)	111.7%	1,817,014冊(43.7%)	
			総数(上記以外の分類を含む)	3,303,078冊	3,679,124冊	111.4%	4,159,106冊	
	一般向け事業(全館で取り組んだ主な事業)	実施回数	6回	10回	166.7%	8回		
		参加者数	268名	418名	156.0%	480名		
②	お互いに学びあう機会をつくる							
	学びのプレゼン事業の実施		・講演会34名 ・作品展示	・講演会25名 ・POP作品展示	—	・学びのプレゼン(学習活動発表会)発表者2名 ・講演会21名	コロナ禍ではあったが図書館を利用した学習成果の発信する機会として学びのプレゼン事業を実施することができた。今後も学びあえる機会をつくるために事業の実施や支援を行っていく必要がある。	
③	地域で学びを活かす人材を育てる							
	ボランティア講座	実施回数	12回	11回	91.7%	6回	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したうえで、学校おはなし会ボランティア講座等を開催したが、参加者数を増やすだけでなく、その後の活動に繋がっているか検証し、支援していく必要がある。	
		参加者数	47名	35名	74.5%	63名		

<<各館の具体的な取組み事例>> ①多様な学びの機会をつくる ○一般向け事業(全館で取り組んだ主な事業) ・「読書の秋の講演会～落語と読書～(参加者数57名)」 落語の講演と講師がおすすめする本の紹介などを行った。<u>(参考資料添付)</u> ・「図書館コンサート(参加者238名) 子どもも大人も楽しめるマジックショー、手遊び、絵本ライブなどを行った。<u>(参考資料添付)</u> ②地域で学び活かす人材を育てる ・「音訳ボランティア養成講座(参加者数8名)」 難読漢字の読み方やグラフ・図表・地図の音声化などについて、講師を呼んで講座を実施した。
<<基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋>> ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋 ○資料の種類や数についての満足度(満足・やや満足合算)[P38] ・本の種類や数:令和3年度57.6%、令和2年度59.9%、平成30年度47.2% ・雑誌、新聞の種類や数:令和3年度37.6%、令和2年度42.6%、平成30年度36.9% ○図書館を利用した感想 ・今まで知らなかった世界や考え方を知り、関心分野が広がった(そう感じる・やや感じる合算) 令和3年度67.1%、令和2年度68.6%、平成30年度57.4%[P61] ・一般教養や幅広い知識を得ることができた 令和3年度69.4%、令和2年度67.7%、平成30年度57.3%[P62] ○主な意見 ・とにかく、人気本の冊数を増やしてほしい。1冊の本に何十人もの待ちがある。新刊の入荷が遅い。雑誌の購入を増やしてほしい。[P74] ・予約の多い本を何冊も購入していただけるのは、借りる方としてありがたいのですが、一時的なベストセラーはその後どうなのかと思うので、上限を決めてその分、いろいろな本が入るのもありがたいと思います。[P75]
<<図書館運営協議会からの意見・提案>> ①多様な学びの機会をつくる ・選書の判断をどう考えているかは利用者にはわからないので、どんな仕組みなのかを明らかにして公開していれば、この図書館運営協議会でも意見を言う機会となると思う。 ・世田谷区立図書館としてこういった資料を収集・選書するのかを、区民に分かりやすく公開したほうが良い。 ・図書館が行う講演やイベントについて、区報だけでなくもっと全体にアピールするものがあれば、大勢の人に知ってもらい、それまで図書館に興味を持っていなかった方も来てくれるのではないかな。 ・利用者登録について、登録者数がどれぐらいいるのかをみることも一つの指標になるのではないかな。
<<自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取組みの方向性>> ①多様な学びの機会をつくる ・来館者アンケートにおいて図書館に望むサービスとして最も要望の多い「蔵書・資料の充実」に向けて、子どもや若者、子育てへの支援など区が進める施策に関する資料や、各館の地域の特色、利用実績等に応じた資料を収集し、新規購入等の受け入れと除籍のバランスを取りながら蔵書構成を進めていく。 ・図書館活用講座や情報検索講座、講演会や落語等の多彩な事業の充実を図り、図書館利用の契機や図書館の活用方法の周知を工夫するなど、区民の学びを広げる機会を提供していく。 ・一般向け事業の実施にあたっては、図書館に興味を持っていなかった方にも興味を持ってもらうよう、実施回数を増やす工夫や、積極的な情報発信・周知を図るよう検討を進めていく。 ・資料収集方針(除籍を含む)について、今後、内容を整理し、図書館ホームページ等での公表に向けて取組んでいく。 ②お互いに学びあう機会をつくる ・今後も、学びのプレゼン事業の実施など、図書館を利用した学習成果の発信機会を提供し、区民のさらなる参画を促していく。 ③地域で学びを活かす人材を育てる ・学校おはなし会ボランティア講座や、音訳ボランティア講座などを通して、その後のボランティア活動の広がりを支援するとともに、図書館の活動に参画できるようにするなど、ボランティアが活動できる範囲の拡充に向けて取組んでいく。

＜基本方針＞						
基本方針3 暮らしや仕事に役立つ図書館						
＜施策の方向性及び主な取組みについて（第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記）＞						
①区民の悩みや課題の解決を助ける						
図書館のレファレンスは、日々の暮らしや健康、仕事、さらには地域の課題などに対して有効な図書資料等や情報を提供するもので、図書館の重要な機能です。現在、レファレンスの認知度が低い状況を踏まえ、レファレンスの有用性や情報検索や調査のための方法を積極的に周知するとともに、図書館を有効活用するための講座等を拡充していきます。						
②人が集い、つながりを生む場づくり						
地域の社会資源としての図書館には、多世代の様々な利用者が多く集まります。図書館という場を共有する利用者が、個々に本を借りて読むことにとどまらず、人がつながり交流が生まれる場づくりを工夫します。既存の講演・講習会等の終了後に歓談できる場を設けることや、交流そのものを楽しむ事業を実施するなど、お互いに交流を深めるきっかけとなる事業を実施します。また、地域のまつりやイベントに区立図書館が参加することで、交流を促すことを推進します。						
③地域で活動する団体との関係を築く						
図書館の図書資料等を活かした事業を地域のまつりやイベントの中で実施することにより、区民が日常的に集う場で知識や情報に触れる機会を提供します。また、町会・自治会や商店街などとも連携し、図書館の団体貸出などを活用して、図書館外でも本に触れることのできる機会の確保に地域団体などが取組むことを支援します。						

＜評価指標及び自己評価＞

指標			R2年度実績		R3年度実績		対R2年度比		《参考》 H30年度実績		令和3年度自己評価	
①	区民の悩みや課題の解決を助ける											
	一般図書 (社会科学、自然科学、工学、産業、芸術、語学) ※児童書等を除く ※()内の割合は、総数に対しての比率	蔵書数	社会科学	205,375冊(14.1%)	207,587冊(14.2%)	101.1%	199,402冊(13.7%)	・一般図書について、令和2年度に比べて蔵書数、貸出数ともに増加しており、少しずつではあるが、図書の充実に取り組むことができている。 ・レファレンス件数の総数が、コロナ禍以前の平成30年度に比べて減少しているため、レファレンスの取組みを充実し、広く区民へ周知していく必要がある。				
			自然科学	104,633冊(7.2%)	106,178冊(7.3%)	101.2%	102,450冊(7.0%)					
			工学	124,637冊(8.6%)	123,864冊(8.5%)	99.4%	124,682冊(8.6%)					
			産業	47,680冊(3.3%)	48,077冊(3.3%)	100.8%	47,621冊(3.3%)					
			芸術	127,817冊(8.8%)	129,213冊(8.9%)	101.1%	127,359冊(8.8%)					
			語学	26,949冊(1.9%)	27,480冊(1.9%)	102.0%	27,434冊(1.9%)					
			総数(上記以外の分類を含む)	1,451,442冊	1,459,949冊	100.6%	1,453,922冊					
		貸出数	社会科学	377,519冊(11.4%)	420,752冊(11.4%)	111.5%	420,202冊(10.1%)					
			自然科学	214,562冊(6.5%)	252,429冊(6.9%)	117.6%	252,985冊(6.1%)					
			工学	416,298冊(12.6%)	445,680冊(12.1%)	107.1%	534,544冊(12.9%)					
			産業	81,292冊(2.5%)	87,670冊(2.4%)	107.8%	93,659冊(2.3%)					
			芸術	218,747冊(6.6%)	245,021冊(6.7%)	112.0%	270,165冊(6.5%)					
			語学	54,396冊(1.6%)	61,230冊(1.7%)	112.6%	72,555冊(1.7%)					
	総数(上記以外の分類を含む)	3,303,078冊	3,679,124冊	111.4%	4,159,106冊							
	レファレンス件数 ※()内の割合は、総数に対しての比率	簡易なもの(当日回答・書架案内・資料検索含む)		64,960件(99.5%)	75,355件(99.3%)	116.0%	77,195件(98.6%)					
		当日回答できず、質問を預かったもの		323件(0.5%)	505件(0.7%)	156.3%	1,060件(1.4%)					
		総数		65,283件	75,860件	116.2%	78,255件					
	コピー枚数			246,265枚	276,921枚	112.4%	425,119枚					
②	②人が集い、つながりを生む場づくり											
	利用者同士の交流を促す事業の実施	○令和3年度各館の主な実績 ・(複数館で対応)参加型・交流型事業「本の装備体験と面白いれのある本を語り合う会」の実施(参考資料添付) ・(砧図書館)砧地域の各利用団体の活動やおすすめ本の展示、講演会を実施						新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、参加者を制限するなどして交流型事業を一部実施することができた。				
③	③地域で活動する団体との関係を築く											
	団体貸出センターの状況	登録団体	46団体	68団体	147.8%	45団体	登録団体、資料数、貸出数が増加しており、団体活動の支援に取り組むことができている。					
		資料数	83,524冊	85,286冊	102.1%	80,960冊						
		貸出数	38,876冊	44,034冊	113.3%	43,493冊						
	地域の行事等への積極的な参加促進	○令和3年度各館の主な実績 ・(代田図書館)代田区民センター祭りにリユース児童図書の頒布等、児童館の行事に参加 ・(下馬図書館)地元商店街が主催し、地域の大学生が運営に参加する三宿あおぞら図書館(世田谷公園)に400冊程度本を提供 ・(経堂図書館)商店街合同消防訓練の広報に協力、参加。また、商店街「節分祭」広報に協力										

《各館の具体的な取組み事例》

- ①区民の悩みや課題の解決を助ける
- レファレンス
- ・(中央図書館) 職員を対象に、初歩的なものから中級レベルまでのレファレンス技能の習得に向けてレファレンス研修(初級・中級) 実施した。

・(中央図書館) 世田谷保健所と連携し、中央図書館で「がん相談」と関連する本の展示を行った。

・(全館で取組んだ事業) 「図書館活用講座『認知症とともに生きる希望のまち世田谷』(参加者数11名)」 区の担当部署と協力し、区の新しい条例「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」と認知症高齢者支援の区民講座を実施した。

・(全館で取組んだ事業) 「情報検索講座『電子書籍を体験しよう』(参加者数5名)」電子書籍サービスの概要の説明や、基本的な操作の体験を実施した。

《基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋》 ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋

- レファレンスの認知状況 [P44]
- 令和3年度30.5%、令和2年度31.9%、平成30年度35.4%
- 図書館を利用した感想
- ・探していた情報や知識を得ることができた(そう感じる・やや感じる合算) 令和3年度74.8%、令和2年度77%、平成30年度67.8%[P61]

・生活が豊かになった 令和3年度69.1%、令和2年度68.1%、平成30年度55.6%[P62]
- 図書館に望むサービス [P47]
- ・レファレンスサービス(資料の紹介・相談)を充実する 令和3年度4.5%、令和2年度3.7%、平成30年度2.6%

・利用者同士の交流の場を充実する 令和3年度1.9%、令和2年度1.5%、平成30年度2.5%
- 主な意見
- ・いつも利用していますが基本満足しています。調べ物するのにリニューアルした杉並区に比べると書籍が少ないように感じます。[P74]

・専門知識のある職員が配置されず、図書館が貸出中心の場になっている。レファレンスこそ重要な役割ではないかと思う。新米の親は絵本1冊選ぶのも悩んでいる。「図書館に行っても並んでいるだけで何を選んでいいかわからない」との声を聴く。[P81]

・今回レファレンスをお願いさせて頂きました。自力では見つけられないような資料まで発掘していただき大変ありがたかったです。今後とも頑張ってください。ありがとうございました。[P81]

・読書会グループなどが自然発生出来るような、平常からの感想発表コーナーの設置など、孤立した読書体験を共有化できる機会を増やす方法を考えてほしい。[P83]

《図書館運営協議会からの意見・提案》

- ①区民の悩みや課題の解決を助ける
- ・今後、レファレンスの認知度に関しても指標化していくことは必要ではないか。

・選書の判断をどう考えているかは利用者にはわからないので、どんな仕組みなのかを明らかにして公開していれば、何か意見を言う機会になると思う。(再掲)

・世田谷区立図書館としてこういった資料を収集・選書するのかを、区民に分かりやすく公開したほうが良い。(再掲)

・利用者登録について、登録者数がどれぐらいいるのかをみることも一つの指標になるのではないか。(再掲)
- ③地域で活動する団体との関係を築く
- ・団体貸出について、図書館側から本の提案や話を伺えるような取組みがあるとよいと思う。

《自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取組みの方向性》

- ①区民の悩みや課題の解決を助ける
- ・来館者アンケートにおいて図書館に望むサービスとして最も要望の多い「蔵書・資料の充実」に向けて、子どもや若者、子育てへの支援など区が進める施策に関する資料や、各館の地域の特色、利用実績等に応じた資料を収集し、新規購入等の受け入れと除籍のバランスを取りながら蔵書構成を進めていく。(再掲)

・今後も、レファレンス資料や商用データベースなどのレファレンスサービスの更なる充実を図るとともに、レファレンスの取組みを広く区民に周知するため、パスファインダーの発行やレファレンス事例の公開など、積極的な情報発信にも取り組んでいく。
- ②人が集い、つながりを生む場づくり
- ・図書館の利用者がつながり、交流が生まれるきっかけとなる事業を実施していく。また、コロナ禍の状況もあるが、既存の講演・講習会等の終了後に歓談できる場を設けるなどの場づくりを行っていく。
- ③地域で活動する団体との関係を築く
- ・地域コミュニティの活性化や文化振興に資する団体活動の支援に向けて、地域で活動するNPO法人やボランティア団体の活動を支援する資料を貸し出すなど、活動団体との連携を図っていく。

＜＜基本方針＞＞

基本方針4 世田谷の魅力を収集・発信する図書館

＜＜施策の方向性及び主な取組みについて（第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記）＞＞

①世田谷の地域活動の情報を集める
世田谷区ではまちづくりをはじめ、様々な区民活動が取組まれています。また、郷土史や風俗について研究する団体も活動しています。それらの区民活動の成果や活動記録等の資料が発行されている場合には、団体や個人に働きかけ、区立図書館として収集することを検討します。
②世田谷の魅力を広く伝える
・各図書館では区民に有用な様々な取組みや事業を行っていますが、その認知度は必ずしも高くはありません。全館的な広報の充実方策の検討を進めるとともに、広報誌、インターネットや電子的な媒体を活用して積極的な情報発信・周知を図ります。特に地域図書館では、図書館の情報に加え、地域情報を積極的に発信し、地域における図書館の存在や利用価値について改めて認識されるよう努めます。 ・世田谷区は、個性のある商業地や芸術文化、まちづくり、スポーツなどの地域活動が特徴として挙げられ、世田谷の魅力ともなっています。また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外への世田谷の魅力の発信も求められています。すでに区内外で認知されている魅力とともに、各図書館で取組んできた地域特性を活かした事業に見出される地域の個性を含め、情報を収集し、発信することを通じて、図書館からの「世田谷らしさ」を区内外に周知していきます。
③新しいメディアでの資料収集・公開を進める
地域文化やまちづくりなどの区民活動の記録をまとめた資料は、発行部数が少なく、貴重なものが少なくありません。また、区が発行する行政資料についても収集・提供・保存していくことが必要です。それらの収集した資料を電子化することにより、適切に保存しつつ、ホームページ等で広く公開していく方法を検討します。特に区が発行する行政資料については、区立図書館の責務として、電子的資料も含め、体系的に収集・提供・保存していく方策について検討していきます。

＜＜評価指標及び自己評価＞＞

指標		R2年度実績		R3年度実績		対R2年度比		《参考》 H30年度実績	令和3年度自己評価	
①	世田谷の地域活動の情報を集める									
	地域活動情報の収集	○令和3年度各館の主な実績 ・(粕谷図書館)「粕谷・上祖師谷地域の情報」コーナーを設け、区民団体が発行する広報誌を展示、配布した。 ・(代田図書館・尾山台図書館) まちの情報コーナー (パンフレット架) を設置した。 ・(砧図書館) 世田谷区および東京都の発行した行政資料を中心に、利用者目線での配置換えを行い、利用しやすくした。						・各館では地域に関する情報を収集し、専用コーナーを設けるなど身近な地域の情報発信を行うことができた。地域資料の更なる充実に向けて、各地域のまちづくりセンターなどと、より一層連携を進めていく必要があ		
②	世田谷の魅力を広く伝える									
	図書館ホームページ	ユーザー数 (区HPにアクセスしたユーザー数)	3,533,848名	3,869,067名	109.5%	3,252,484名	・図書館ホームページのユーザー数は年々増加しており、各館が実施している事業や取組みを積極的にホームページ上で情報発信することができた。 ・地域資料の蔵書数、貸出数ともに令和2年度と比べて増加しており、地域資料の充実に向けて取り組むことができている。			
	地域資料 (世田谷区一般図書地域資料)	蔵書数	31,006冊(2.1%)	32,242冊(2.2%)	103.1%	29,678冊				
		総数 (上記以外の分類を含む)	1,451,442冊	1,459,949冊	100.6%	1,453,922冊				
		貸出数	7,390冊(0.2%)	8,135冊(0.2%)	110.1%	8,451冊				
	※ () 内の割合は、総数に対しての比率	総数 (上記以外の分類を含む)	3,303,078冊	3,679,124冊	111.4%	4,159,106冊				
③	新しいメディアでの資料収集・公開を進める									
	電子書籍 (令和2年11月より開始)	コンテンツ数	8,343タイトル	10,676タイトル	128.0%		令和2年度から電子書籍サービスを開始し、登録者数や貸出数などは増えているが、地域資料の電子化などにも取組んでいく必要がある。			
		登録者数	8,297名	19,999名	241.0%					
		貸出数	6,917点	16,718点	241.7%					
		予約数	3,692件	5,875件	159.1%					

《各館の具体的な取組み事例》

②世田谷の魅力を広く伝える

・(全館)各館で地域特性展示コーナーを設置し、地域特性を活かして世田谷の魅力を発信している。(参考資料添付)

[参考 地域特性コーナーの蔵書数 抜粋]

中央図書館『サザエさんコーナー』R3 468冊 R2 463冊、深沢図書館『ぐりとぐらコーナー』R3 163冊 R2 123冊、

『ふかふかコーナー』R3 163冊 R2 160冊、砧図書館『ウルトラマンコーナー』R3 195冊 R2 188冊、粕谷図書館『徳富蘆花コーナー』R3 307冊 R2 289冊、『花と虫のコーナー』R3 312冊 R2 296冊

・(経堂図書館)商店街との連携展示や大宅壮一文庫との連携展示、経堂ゆかりの人物資料展示を行った。

・(梅丘図書館)テーマ展示(一般・子ども)等の掲示および子ども読書リーダーによるブックリスト「読書の木」を周知した。

《基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋》 ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋

○実施サービスの認知状況(地域の魅力収集・発信について) [P45]

令和3年度11.4%、令和2年度14.1%、平成30年度14.5%

○インターネットで資料の検索・予約に関する認知度[P44]

令和3年度76.1%、令和2年度73.8%、平成30年度60.1%

○図書館に望むサービス(電子書籍の充実) [P46]

令和3年度13.4%、令和2年度18.1%、平成30年度8.5%

○主な意見

・図書館によって、書籍の数・種類がことなる印象があります。図書館ごとの特徴をインターネット等で示してもらえると良いと思います。[P85]

・趣味、芸術の分野において、図書館ごとに特徴を持たせて、その情報を適時周知してもらいたい。[P85]

・インターネットを利用しての図書館の資料検索機能を充実させていただきたい。たとえば、新刊の情報を月一ペースで希望者に情報配信し、アクセスできるようにするとか。[P78]

・電子書籍が多くなるのですが、紙の文化も大事なので今まで通りの本は、絶やさないでほしい。[P75]

・電子書籍の蔵書数がもう少し増える事を期待します。読みたい電子書籍は予約が入っている事が多く、まだ、一度も利用した事はありません。しかしながら、紙の蔵書数が充実しているので、事足りており満足しています。[P75]

《図書館運営協議会からの意見・提案》

②世田谷の魅力を広く伝える

・世田谷の魅力を発信するならば、図書館の職員がほかのイベント会場に行って、その発信と一緒に支援するという形を取らないとこの施策は実現できないのではないかな。

・世田谷の魅力を広く伝えるのは、発信の回数を増やすか、媒体を増やすかだと思うが、例えばLINEなど新しいツールの活用を検討しても良いのではないかな。

・郷土資料館や文学館など世田谷の文化資源を持っているところと連携し、横断して検索できるコンテンツサービスの充実を図ることで、大人の学びを豊かにすることにもつながるのではないかな。

《自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取組みの方向性》

①世田谷の地域活動の情報を集める

・地域活動の情報を広く収集、発信するため、各地域のまちづくりセンターとの連携や、活動体験記等の展示コーナーの設置、地域のボランティア団体の活動を紹介するなどの取組みを行っていく。

②世田谷の魅力を広く伝える

・中央図書館や地域図書館が実施している事業や取組みについて、広報紙やホームページでの積極的な情報発信のほか、区全体のDXの動きも踏まえ、広報活動の充実を図っていく。

・地域資料の蔵書数や貸出数を増やし、各図書館での地域資料の充実に向けて取組んでいく。

③新しいメディアでの資料収集・公開を進める

・電子書籍のサービスにあたっては、今後も魅力あるコンテンツの充実に向けて取組んでいくとともに、地域資料の電子化を推進し、郷土資料館や文学館などが持っている地域の文化資源との連携を進めていく。

《基本方針》

基本方針5 図書館ネットワークの構築

《施策の方向性及び主な取組みについて（第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記）》

①図書館ネットワークを整備する
・平成27年に二子玉川及び三軒茶屋に、資料の予約や貸出・返却を中心としたサービスを行う図書館カウンターを開設しました。今後は、これらの利用状況等を検証しながら、多くの利用者が想定される乗換駅周辺の公共的な施設等、利便性の高い施設への設置を検討し、新規設置を目指して取り組みます。 ・必要な改築・改修を進めるとともに、その際、交流スペース・閲覧席の確保や居心地のよさの向上、館内案内サインの整備に努めます。
②中央図書館の機能を拡充する
現施設からの教育センター機能の移転（平成33年度予定）を踏まえ、施設全体を活用して中央図書館の機能を拡充するため「中央図書館機能拡充基本構想報告書」を平成29年にとりまとめました。今後は基本構想報告書をもとにとりまとめた機能拡充の方向性を踏まえ、具体的な事業や施設活用等について検討します。
③世田谷の教育・文化機関と連携する
区内の教育機関や文化施設等との連携を深め、それぞれの活動や事業に関する情報を提供・発信しあうとともに、連携した事業のあり方についても検討します。区立図書館において関係機関が保有する資料の情報の収集・公開に努めます。

《評価指標及び自己評価》

指標			R2年度実績	R3年度実績	対R2年度比	《参考》 H30年度実績	令和3年度自己評価	
①	図書館ネットワークを整備する							
	図書館間 相互協力	借入数	国立国会図書館	124冊	98冊	79.0%	174冊	・図書館間相互協力について、アンケートでは「区外の資料取寄せ」の認知状況および主な意見を踏まえ、相互協力の認知度の低さが課題である。今後、更なる周知を行っていくことが必要である。 ・図書館カウンターの登録者数・貸出数・予約数が、R2に比べて増加しており、令和4年3月には下北沢カウンターが開設されるなど、図書館ネットワークの整備を進めることができた。
			都立図書館	930冊	1,028冊	110.5%	1,053冊	
			23区	10,816冊	12,498冊	115.6%	12,728冊	
			他市町村	587冊	787冊	134.1%	731冊	
		貸出数	23区	6,143冊	6,745冊	110.0%	7,564冊	
			他市町村	542冊	605冊	111.6%	674冊	
	図書館カ ウンター	二子 玉川カ ウンター	新規登録者数	638名	737名	115.5%	974名	
			現登録者数	4,712名	4,799名	101.8%	5,757名	
			貸出数	163,157名	189,788名	116.3%	193,522名	
			予約数	148,421件	170,742件	115.0%	163,560件	
		三軒 茶屋カ ウンター	新規登録者数	639名	645名	100.9%	799名	
			現登録者数	3,704名	3,798名	102.5%	3,505名	
			貸出数	184,423冊	209,959冊	113.8%	201,913冊	
			予約数	159,063件	177,385件	111.5%	170,899件	
	中央図書館の機能を拡充する							
	②	「中央図書館機能拡充基本構想報告書」をもとにとりまとめた機能拡充の方向性を踏まえた検討・拡充					教育センター機能移転を見据え、大規模改修工事を伴う中央図書館の機能拡充の検討を進めてきたが、区役所本庁舎整備に伴う仮執務室の確保や、不登校特例校の設置などのため本格的な機能拡充については、令和9年度以降に延期となった。	
	世田谷の教育・文化機関と連携する							
	③	世田谷の教育・文化機関と連携	○令和3年度各館の主な実績 ・（粕谷図書館）「大学公開講座情報」のチラシ・広報誌等を配架する専用ラックを設置し、利用者へ生涯学習講座情報を提供した。 ・（経堂図書館）東京農業大学アメリカザリガニ研究紹介展示や、大宅壮一文庫、商店街と連携した展示を実施した。 ・（中央図書館）駒澤大学経済学部松本ゼミ生によるおはなし会を実施した。（月1回開催）（参考資料添付）				コロナ禍の影響によるイベント中止等の経験を踏まえ、感染防止策を実施したうえで、おはなし会や展示等、教育・文化機関と連携した取り組みを実施することができた。今後も更なる拡充に向けて、取組みを行っていく。	

《各館の具体的な取組み事例》

①図書館ネットワークを整備する
・下北沢カウンターを令和4年3月30日に開設した。
・梅丘図書館の改築工事については、コロナ禍に伴う全庁的な緊急見直しにより工事が先送りとなっていたが、設計見直し等に向けた検討を行った。(令和5年度着工、令和7年度竣工予定) (参考資料添付)

《基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋》 ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋

○図書館カウンターの認知状況 [P44]
令和3年度52.0%、令和2年度56.5%、平成30年度44.5%

○区外の資料取り寄せの認知状況 [P45]
令和3年度25.6%、令和2年度30.1%、平成30年度25.3%

○主な意見
・二子玉川カウンターがあることにより、図書館を利用するようになり、読みたいと思っている本をほぼ借りられることにとても満足しています。ありがとうございます。本を読む頻度が格段に高くなりました。[P84]
・図書館カウンターを頻繁に利用させていただいており、とても便利で有難く思っております。今後も是非続けていただきたいと願っております。[P89]
・他の区の本を取り寄せることができるのは知らなかったです。そういったサービスがあるなら、もうちょっと分かりやすく案内して頂きたいです。[P85]

《図書館運営協議会からの意見・提案》

①図書館ネットワークを整備する
・図書館間相互協力について、区外からの資料取寄せに関する認知度が低いのは、図書館職員が案内しているかといった、職員の対応による場合もあり、基本方針6の施策の方向性にある「職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る」と関係してくるのではないかと。

《自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取組みの方向性》

①図書館ネットワークを整備する
・図書館間相互協力に関するサービスについて、他の公立図書館や大学図書館等と連携し、資料の提供を行っていくとともに、連携先や対象コンテンツの拡充のほか、図書館職員が利用者へ幅広い利用方法の案内ができるよう専門知識の向上にも取り組んでいく。
・今後も、図書館カウンターの利用状況等の検証や、梅丘図書館の改築を推進するなど、図書館機能の充実を図り、図書館ネットワークの整備に向けて取り組んでいく。

②中央図書館の機能を拡充する
・大規模改修工事における機能拡充については区役所本庁舎整備などにより延期となっているが、中央図書館のマネジメント機能の強化などソフト面における機能の拡充に取り組んでいく。

③世田谷の教育・文化機関と連携する
・区内の資料館等の文化施設や大学等の教育機関との連携を深め、一部の館だけでなく、より多くの館で展示や事業を実施できるように検討していく。

＜＜基本方針＞＞

基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制の構築

＜＜施策の方向性及び主な取組みについて（第2次世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画から一部転記）＞＞

①民間活力を計画的に導入する
多様化する区民ニーズを的確に捉え、図書館サービスをより効率的に充実するため、地域図書館等の民間活力の活用による運営体制づくりを進めていきます。民間活用の導入にあたっては、各施設の立地等の周辺環境や改修・改築等のスケジュール、区民ニーズ等を勘案しながら、本計画期間内に5施設の地域図書館等の新規活用・更新を進めます。活用形態等については、図書館の公共性・専門性と効率性が両立できるよう多角的に検討・検証していく必要があります。現在導入している民間事業者への業務委託や平成29年度から始まった指定管理者による管理などの活用形態の評価・検証、その他の活用形態等を含め、施設ごとに検討を進めていきます。
②職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る
職員個々のスキルや専門性の向上はもとより、中央図書館においては全体統括のためのマネジメント能力を高める必要があります。また地域図書館等への民間活力の活用の推進に伴い、図書館の公共性・専門性を担保するため、区職員の専門性の維持・向上を図るための仕組みを構築し実施します。
③事業・運営の指針・目標を示す
・図書館の公共性を捉え、区民のニーズに応えるサービスや事業、運営を進め、日々向上を図るためには、明確な評価指標を定め、PDCAサイクルを確立させることが必要です。図書館を適切に評価することのできる指標を定め、定期的な調査を通してその指標に対する達成度を図り、その結果に応じてさらなる指標設定を行うことで、よりよい図書館に向けた対策を取るよう努めます。 ・利用者アンケートなどを通じて利用者の動向やニーズを把握するとともに、日々寄せられた要望を精査することを通して、区民の視点を取り込んだ評価を実施します。

＜＜評価指標及び自己評価＞＞

指標		R2年度実績	R3年度実績	対R2年度比	《参考》 H30年度実績	令和3年度自己評価	
①	民間活力を計画的に導入する						
	経堂図書館（更新）、下馬図書館、烏山図書館の指定管理者制度の導入 ※経堂図書館は平成29年4月から、下馬図書館・烏山図書館は令和4年4月から指定管理者による運営開始					令和2年度にとりまとめられた「世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会」報告書を踏まえ、政策決定し、経堂図書館の更新に加え、下馬図書館、烏山図書館の指定管理者制度導入に向けた手続きを進めた。	
②	職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る						
	職員向け研修 （外部研修を除く）	実施回数	18回	14回	77.8%	—	コロナ禍の影響により、研修の縮小が余儀なくされたが、図書館業務に必要な知識や技術の習得・向上を目指した実務研修を行い、利用者へのサービス向上に向けた取組みを実施することができた。今後は、オンラインによる手法の検討や、外部研修への積極的な参加など、研修の充実に取り組んでいく必要がある。
		参加者数	175名	110名	62.9%	—	
	司書（司書補含む）資格 ※嘱託員は会計年度任用職員を指す ※（ ）内の割合は、総数に対しての比率	職員 有資格者数（指定管理館を除く） ※認定司書1名含む	53名 （30.5%）	59名 （34.5%） ※認定司書1名含む	111.3%	—	
		職員総数	174名	171名	98.3%	—	
		嘱託員 有資格者数（指定管理館を除く）	80名 （33.5%）	84名 （35%）	105%	—	
		嘱託員総数	239名	240名	100.4%	—	
		指定管理館（経堂図書館）有資格者数/職員数	14名/30名 （46.7%）	14名/31名 （45.2%）	—	—	
事業・運営の指針・目標を示す							
③ アンケート調査	配布数（紙）	4,921枚	4,919枚	99.9%	10,746枚	コロナ禍を踏まえ、令和2年度からWebでの回答を可能にし、令和3年度はWeb回答のチラシを別途配布するなど、調査・回答方法を工夫して実施することができた。	
	回収数（紙）	2,303枚	2,529枚	109.8%	7,135枚		
	回収率（紙）	54.2%	54.6%	100.7%	66.1%		
	Web回答数	365件	2,061件	564.7%	—		

＜各館の具体的な取組み事例＞ ①民間活力を計画的に導入する ○令和3年度経堂図書館の主な取組み ・東京農業大学との連携事業 展示紹介として、「アメリカザリガニでできること」をテーマに、東京農業大学制作のザリガニ絵本や研究内容の紹介、調べ学習ができるレポート用紙やブックリストを配布した。 ・大宅壮一文庫との連携事業 区内に所在する雑誌の図書館「大宅壮一文庫」と連携し、経堂地域の名跡を雑誌記事から紹介する「経堂ヒストリー」コーナーなど、世田谷区の知られざる魅力を紹介した。 ・経堂農大通り商店街連携事業 経堂農大通り商店街の「店主のおすすめ本」展示を実施した。また、世田谷デジタルコレクションにある商店街の昔の写真や周辺地域の歴史を紹介し、利用者に身近な世田谷の魅力を発信した。 ②職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る ○職員向け研修 ・(全館)レファレンス(初級・中級)研修、子どもサービス担当者研修、窓口応対力向上研修、製本補修実習等を実施した。 ・外部研修への参加(令和3年度)：文科省主催 図書館司書専門講座(3名参加)、文科省・国立大学法人筑波大学主催 新任図書館長研修(4名参加) 文化庁主催 著作権実務研修(1名参加) など

＜基本方針に関連したアンケート調査結果抜粋＞ ※「令和3年度世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果」から抜粋 ○指定管理者制度が導入された場合、どのようなことを期待するか(上位3つ) [P50] ・民間事業者のノウハウを活用した図書館サービスの向上(42.7%) ・開館日・開館時間が拡大する(42.3%) ・民間事業者の創意工夫による館独自の新たなサービス(36.3%) ○指定管理者制度が導入された場合、どのようなことに不安を感じるか(上位3つ) [P51] ・利益重視になり必要な図書館サービスが低下する(44.7%) ・図書館(事業者)によりサービス内容・種類に差が生じる(38.5%) ・図書館の公共性や個人情報保護が心配(36.3%) ○図書館職員の接遇についての満足度(満足・やや満足合算) [P42] 令和3年度:63.2%、令和2年度:67.9%、平成30年度:64.4% ○主な意見 ・図書館の職員の対応にとっても満足しています。その場所が好きになるかどうかは人で決まるように思います。借りる人の立場になって、知識を持った人が対応にあたって下さる。また訪れたいと思う図書館作りを願います。[P81] ・図書館員のレファレンス能力が低いと感じます。他館では司書をやっていますが、途中で交替して回答したくなるが多々あります。職員の研修などはあるのですか？ぜひ研鑽を積んでがんばっていただきたいです。[P81] ・司書を専門職として育成することが、長い目で見ると図書館の質の向上につながると思う。[P82]
--

＜図書館運営協議会からの意見・提案＞ ①民間活力を計画的に導入する ・指定管理に関して、導入した効果は出ていると思うが、この協議会で評価・検証するならば、別で指定管理の評価委員会を行っていると思うので、そこで使っている資料などをこの協議会に活用することもできるのではないかな。 ②職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る ・例えば返却期限が過ぎた際、速やかに督促業務を行い、次の利用者に早く本を貸し出すなど、日々の業務の品質に関する指標が必要ではないかな。 ・職員の必要なスキルに関して、研修を受けた職員が図書館職員としてどれだけ長く勤務しているかで、レファレンスの対応なども変わってくると思うので、これまで培ったスキルを生かせるような職員の配置も必要ではないかな。

＜自己評価及び意見・提案を踏まえた今後の取組みの方向性＞ ①民間活力を計画的に導入する ・指定管理者制度を導入している図書館の評価・検証の実施や、図書館運営協議会の意見・提案などを踏まえ、世田谷の図書館にふさわしい運営体制を検討する。 ②職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る ・今後も、利用者サービスの向上に向けて、職員の専門知識等の習得のための外部研修や実務研修など、職員研修の充実を図っていくとともに、司書資格取得のための支援や、館長のマネジメント力を高める取組みなどを進めていく。 ③事業・運営の指針・目標を示す ・アンケート調査について、今後も継続して実施していくとともに、区民のニーズや利用者の動向を把握し、必要に応じて質問項目や選択肢の内容を見直すなど、アンケート調査結果を十分に参考にしながら、より良い図書館サービスの実現をめざしていく。

**令和5年度 世田谷区立図書館運営協議会
各館取組みシート**

1 中央図書館（住所：世田谷区弦巻3-16-8 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

①「障害者サービスの充実」

②「子どもの悩みに寄り添う図書館」

※中央図書館は、区の中央館及び地域図書館としての両面の機能・役割を持つ

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「障害者サービスの充実」

課題 区立図書館として、新型コロナウイルス感染症対策のため2年度および3年度、対面朗読がほとんど実施できていないこと。障害者サービスの利用者に対する周知や要望に対する配慮が不十分であり、障害者サービスの対象が個人に限定されていること。

目標・障害者サービスの根拠規定を整備し、サービス内容の利用者への周知方法を改善するとともに、対面朗読を本格的に再開する。

- ・音訳図書に加え点字資料の新規製作など、利用者が特性に応じて利用できるよう多様な方法で資料を提供するとともに、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の利用を支援する。
- ・個人のみとしていた障害者サービスの対象を学校や社会福祉施設などの団体に拡大する。

※視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」はスマホやパソコンによりデータ化された録音図書や点字図書などを利用することができるインターネット上の図書館。各図書館で利用希望を受付し、その後中央図書館が視覚障害者等用資料のダウンロードや現物の取り寄せ、サピエ個人利用登録に係る手続きの代行を一括して行っている。

②「子どもの悩みに寄り添う図書館」

課題 虐待、性被害、いじめ、不登校、貧困、保護者の疾患・闘病など子どもたちを取り囲む様々な困難・課題に対し、図書館としてそれらの解決の一助になる資料等をこれまで意識して提供してこなかった。また、日本語を母語としないことや、ディスレクシアなどの理由で読むことに困難を抱えている子どもに対しても、資料の提供が不十分であった。

目標・子どもたちの様々な悩みを解決し困難さを乗り越えるヒントになる本やリーフレットを充実させ、それらを手に取りやすい形で提供するとともに、関連NPOや子ども食堂など連携し資料利用促進の啓発イベント等を実施する。

- ・読むことに困難を抱えている子どもたちのために、点字資料やLLブックなどを充実させる。
- ・日本語以外の資料を充実させ、日本語を母語としない子どもたちにも読書の楽しさを知ってもらうとともに、お互いの文化を理解するためのイベントを実施する。

令和4年度取組みの実施状況 ①「障害者サービスの充実」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
障害者サービス資料数 録音図書(点字図書)	4,263 点(4,813 冊)	4,844 点(4,877 冊)	113%(101%)
障害者サービス貸出数 録音図書(点字図書)	730 点(18 冊)	833 点(24 冊)	114%(133%)
対面朗読 延べ利用者数(時間)	2 人(4 時間)	27 人(79 時間)	1,350%(1,975%)
障害者サービス登録者数	474 人	465 人	98%
探していた情報や知識を得ることができた (来館者アンケートより)	72.7% (満足・やや満足合算)	86.3% (満足・やや満足合算)	118.7%

※録音図書 テープ、デージー及びマルチメディアデージー

- ・「サピエ」を利用する際に必要な個人登録を代行して行った。(年間12件)
- ・笹原小学校の弱視児童通級教室に録音図書などの貸出を開始し、学校が発行した学級通信で「『読書のカタチ』を選べるようになります」と紹介された。



令和4年度取組みの実施状況 ②「子どもの悩みに寄り添う図書館」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
SOS コーナー～悩んだとき 不安なとき 相談したいときの本～所蔵数	設置検討	124 冊	—%
りんごの棚～配慮を要する子ども向けの本～所蔵数	116 冊	141 冊	122%
日本語以外で書かれた児童書の所蔵数	976 冊	1,130 冊	116%
子ども向け多文化理解イベントの実施回数	3 回	6 回	200%
子ども向け多文化理解イベントの参加人数	37 人	85 人	230%

- ・りんごの棚では、子ども向け点字図書、さわる絵本、LLブックなどを所蔵。
- ・子ども向け多文化理解イベントとして「世界のことで読み聞かせ」（写真）を奇数月の第2日曜日に開催。



令和4年度の取組みに対する自己評価

①「障害者サービスの充実」

障害者サービスの根拠規定となる障害者サービス要綱を制定するとともに、障害者サービスの利用案内の改訂や点字版の発行など、情報の提供方法を改善した。感染対策に配慮したうえで、対面朗読を再開するとともに、利用者の要望による点字図書の製作や「サピエ」の個人登録代行を行うなど、利用者の要望に応えられるようサービスの充実を図った。また、個人から団体に対象を広げたことで、弱視児童通級教室の子どもたちに多様な読書の機会を提供することができた。

②「子どもの悩みに寄り添う図書館」

- ・SOS コーナーでは、子どもたちの様々な悩みを解決し困難さを乗り越えるヒントになる本やリーフレットを充実させることができた。また、4年度には性暴力被害者への支援を行っているNPOと協同で「SOSおはなし会 デジタル性暴力とは何か？」を開催したが参加者が少なかった。今後はこのような取り組みを行う際の効果的な広報のあり方について検討する必要がある。
- ・読むことに困難を抱えている子どもたちのための資料は着実に増加しているため、利用の促進につなげていきたい。
- ・日本語以外の資料については、絵本だけでなく、4年度には小学生相当年齢向けの英語の図鑑や統計書などを購入し、蔵書の幅を広げることができた。

図書館運営協議会からの意見・提案

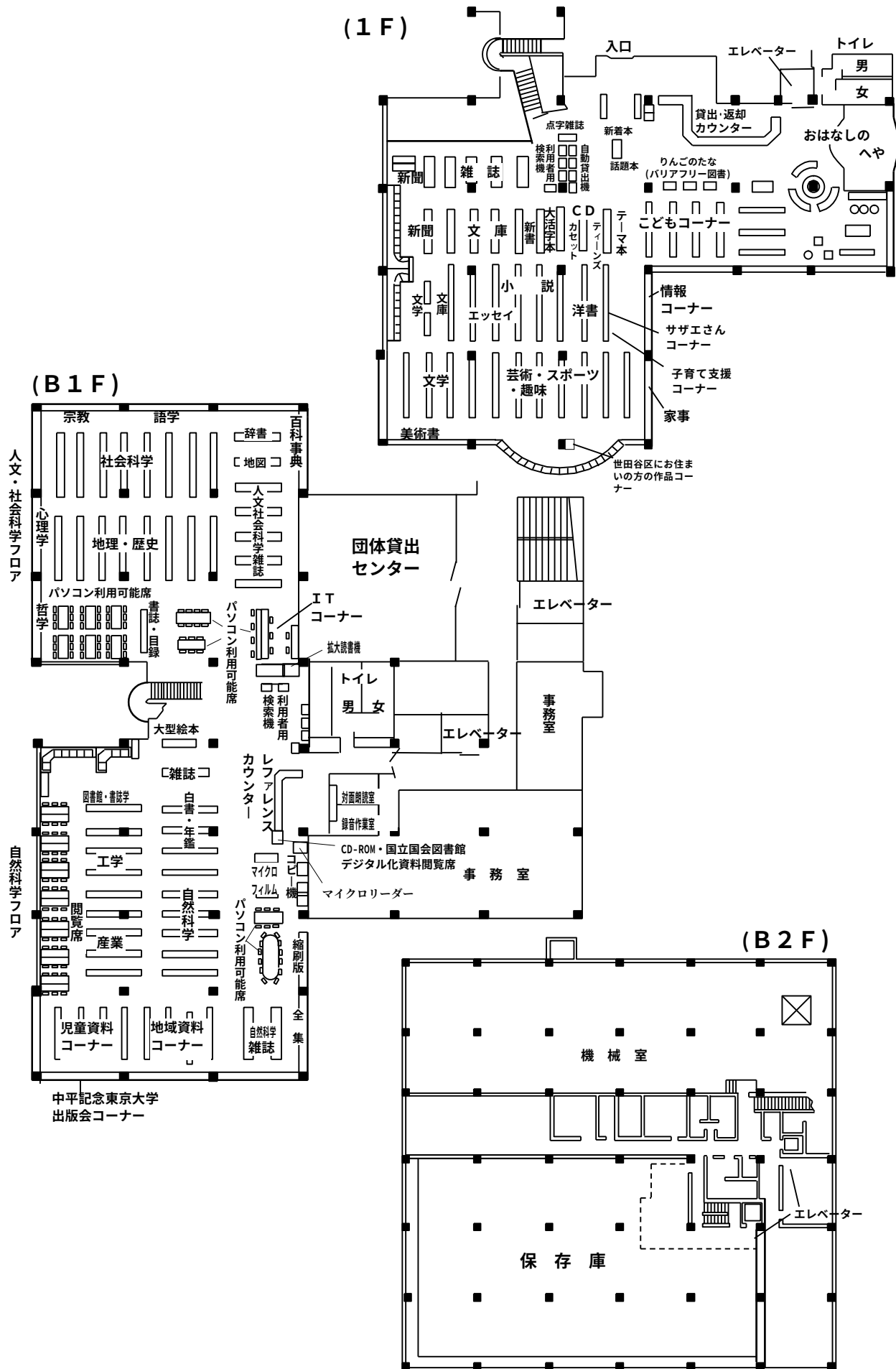
- ・本施設の入口前ロビーの広いスペースを使って、世田谷にゆかりのある様々な文学者の展示を行う案もあって良いのではないかな。
- ・「子どもの悩みに寄り添う図書館」という運営方針はとても良い。また、障害者サービスも同様で、困っている方は中央図書館の周りだけでなく色々な場所にいるので、ぜひ、中央図書館が拠点となって、同じようにサービスを区全体で受けられるようにしてほしい。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率 ※雑誌・タ イトル数 は、保存庫 分は含めな い	総記	16,508	3.9%	16,603	3.8%	16,650	3.9%	95	47
	哲学	17,620	4.1%	18,021	4.2%	18,306	4.3%	401	285
	歴史	39,600	9.2%	39,684	9.2%	39,312	9.3%	84	-372
	社会科学	78,932	18.4%	79,985	18.5%	75,128	17.8%	1,053	-4,857
	自然科学	35,323	8.2%	35,808	8.3%	35,617	8.4%	485	-191
	工学	33,121	7.7%	33,308	7.7%	32,590	7.7%	187	-718
	産業	18,869	4.4%	18,974	4.4%	17,670	4.2%	105	-1,304
	芸術	37,346	8.7%	37,975	8.8%	36,998	8.8%	629	-977
	語学	7,617	1.8%	7,790	1.8%	7,885	1.9%	173	95
	文学	113,068	26.4%	113,501	26.2%	110,956	26.3%	433	-2,545
	地域資料	24,686	5.8%	25,508	5.9%	26,206	6.2%	822	698
	その他	5,483	1.3%	5,606	1.3%	5,156	1.2%	123	-450
	一般図書 計	428,173		432,763		422,474		4,590	-10,289
	児童図書	61,539 (12.1%)		61,036 (11.9%)		63,821 (12.6%)		-503	2,785
	大活字本	1,477		1,440		1,361		-37	-79
	デジタル資料	893		923		1,014		30	91
	音響資料	9,261		9,234		8,925		-27	-309
	障サ資料	9,032		9,076		9,721		44	645
	所蔵数合計	510,375		514,472		507,316		4,097	-7,156
	雑誌・タイトル数	815		818		777		3	-41
図書資料 貸出数	一般図書	351,656		390,815		392,921		39,159	2,106
	児童資料	229,927		272,614		269,031		42,687	-3,583
	大活字本	2,049		2,112		1,717		63	-395
	デジタル資料	19		12		12		-7	0
	雑誌	36,052		39,260		38,982		3,208	-278
	音響資料	17,430		18,010		17,255		580	-755
	障サ資料	680		679		1,198		-1	519
	貸出数合計	637,813		723,502		721,116		85,689	-2,386
登録者数	一般	31,943		30,800		30,163		-1,143	-637
	児童	4,838		4,731		4,686		-107	-45
来館者数		338,377		384,492		403,459		46,115	18,967
予約数		194,098		206,503		190,820		12,405	-15,683
コピー枚数		70,476		80,962		80,318		10,486	-644
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		64.6		65.0		74.0		0.4	9.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (中央図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和 6 3 年 7 月 2 6 日
所在地	弦巻 3 - 1 6 - 8 複合施設名称 『世田谷区教育会館』
構 造	鉄筋コンクリート地上 3 階地下 2 階建 図書館は地上 1 階、地下 1・2 階の一部
床面積	5, 8 0 7 . 7 m ² (地階 団体貸出センター部分 1 8 0 . 4 m ² を含む)
対面朗読室	1 室
閲覧席	1 0 7 席 (パソコン利用可能席：全席、コンセント口数：1 2)
資料数	図書資料 4 8 8, 6 7 0 (書架 284,432 保存庫 204,238) 音響資料 8, 9 2 5 (C D、カセットテープ) 障サ資料 9, 7 2 1 (録音図書、点字本、デージー図書) 合 計 5 0 7, 3 1 6 (団体貸出センター) 8 2, 1 7 5



2 梅丘図書館（住所：松原6-41-8（仮事務所） 運営体制：一部業務委託）**令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」
 ②「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

課題・昭和43年に開設されたが、施設の老朽化に伴い、改築工事までの間、図書館の安全管理を徹底する必要がある。

- ・利用者にとって快適で居心地の良い空間となるよう、改築後を見据えた図書館づくりを行っていく必要がある。

目標・老朽化した施設（設備）の修繕、安全管理を行うとともに、災害（地震・風水害等）、システムトラブルなど不測の事態に適切に対応できるようにする。

- ・快適な利用につながるよう、利用者目線で日々の運営状況をチェックし、事務改善に努める。また、改築後の梅丘図書館が、居心地の良い図書館となるよう新たなサービスの取組みを検討する。

②「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

課題「福祉のまち 梅丘」地域における魅力ある図書館づくりのために、関係機関等と連携して地域特性を活かした事業等の実施を図っていく必要がある。

目標 区民活動団体や関係機関・地域資源との連携を密にし、改築後も魅力を感じてもらえる図書館を目指す。

令和4年度取組みの実施状況 ①「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

取組みに関する指標	R3	R4	前年度比
図書館内の居心地に関する満足度 （来館者アンケートより）	38.8% （満足・やや満足）	39.4% （満足・やや満足）	101.5%
落ち着いて読書や勉強、考え事ができた（来館者アンケートより）	53.5% （感じる・やや感じる）	53.4% （感じる・やや感じる）	99.8%
図書館職員の接遇について （来館者アンケートより）	67.3% （満足・やや満足）	67.3% （満足・やや満足）	100%
開館日に関する満足度 （来館者アンケートより）	75.8% （満足・やや満足）	84.7% （満足・やや満足）	111.7%
開館時間に関する満足度 （来館者アンケートより）	76.7% （満足・やや満足）	83.2% （満足・やや満足）	108.5%
全体的な満足度 （来館者アンケートより）	69.8% （満足・やや満足）	71.6% （満足・やや満足）	102.6%

- ・多発する雨漏りの応急対策等を行うとともに、職員、委託事業者とは危機管理の意識を日々共有した。
- ・委託事業者とは業務報告定例会を月に1回実施しており、利用者対応の報告や事務処理方法等の改善について共有し、日々の業務にフィードバックして取り組んでいる。
- ・元年度からの一部業務委託による運営方法の変更に伴い、利用者の利便性向上に向けたサービスを展開し、満足度の向上につながっている。（運営方法変更前 H30 来館者アンケート 開館日に関する満足度 53.2%、開館時間に関する満足度 53.3%、全体的な満足度 59.7%）

令和4年度取組みの実施状況 ②「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
乳児向けおはなし会	実施回数	9回	45回	500%
	参加者数	90名 (大人43名、子ども47名)	348名 (大人173名、子ども175名)	386.7%
出張おはなし会 (小学校対象)	実施回数	実施なし	4回	—
	参加者数	実施なし	137名	—
布絵本実績	所蔵数	59冊	62冊	105.1%
	貸出数	162回	236回	145.7%

- ・来館者アンケートでは、「読み聞かせの活動がとてもよく、子どものころよく聞きに行かせていただいた。」とのご意見があった。
- ・布絵本制作ボランティアグループが作成する布絵本は毎年、新しい作品が作成されると、すぐに貸出される状況であり、利用者からは大変好評である。



令和4年度の取組みに対する自己評価

①「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

- ・5年度から改築工事に着手するが、利用者からはレトロな雰囲気が良い。小さい時から勉強のために閲覧席を利用していた。といった声もいただき、歴史ある図書館として多くの利用者から親しまれてきたと感じている。また、来館者アンケートの「落ち着いて読書や勉強、考え事ができた」の項目では、前年比は微減しているが、区内の図書館としては高い数値である。これは開館日・開館時間が延長されたことや、閲覧席数が地域図書館として最多であり、中高生世代から大人まで様々な用途で利用していただいていることが考えられる。改築後についても、現状と同程度またはそれ以上の閲覧席数を維持するとともに、飲食できる空間の確保や、近隣の大学等と連携して中高生世代を対象とした学習支援等の交流イベントを検討するなど、これまで利用していただいている方も含め、多世代で滞在・交流できる居心地の良い図書館づくりに取り組んでいく。

②「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

- ・地域特性である「福祉のまち 梅丘」を踏まえ、子育て家庭を対象とした乳児向けおはなし会を、地域図書館としては回数も多く実施することができた。一方で、新型コロナウイルスによる影響や、職員数の減、改築工事に向けた準備等により、障害者や高齢者等の大人向けの事業の実施が不十分であった。改築後は、保健医療福祉の拠点である「うめとぴあ」や羽根木公園内にあるプレーパークなどの地域資源を活かして、様々な地域連携事業や資料の収集を展開していくことが、図書館の利用にもつながり魅力ある図書館になっていくと考える。

図書館運営協議会からの意見・提案

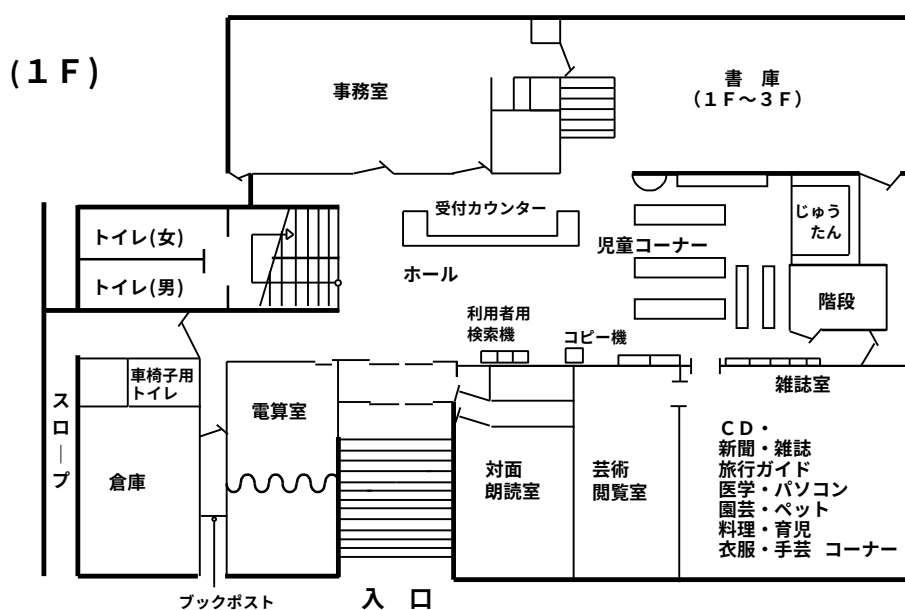
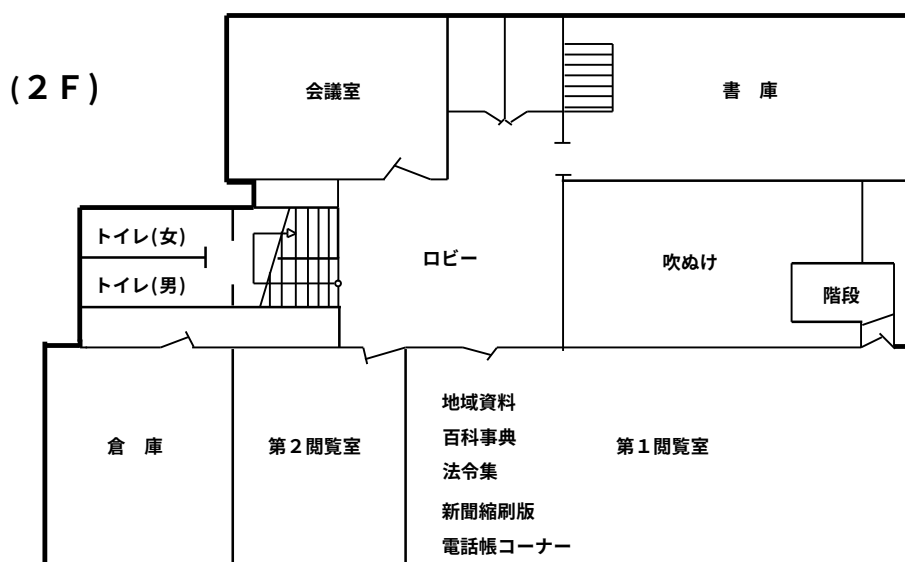
- ・梅丘図書館は、歴史があり公園の中に位置した趣のある単独施設の図書館として、その魅力をアピールしていただくと良い。
- ・子ども向けの事業は、評価指標も示されており、充実しているようだが、子ども向けだけでなく、地域と連携したテーマも入っていると良い。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	2,154	3.4%	2,205	3.3%	2,268	3.3%	51	63
	哲学	2,276	3.6%	2,385	3.6%	2,458	3.6%	109	73
	歴史	6,874	10.8%	7,039	10.7%	7,239	10.6%	165	200
	社会科学	7,750	12.2%	8,281	12.6%	8,735	12.8%	531	454
	自然科学	4,597	7.2%	4,852	7.4%	5,160	7.6%	255	308
	工学	4,774	7.5%	4,772	7.2%	4,879	7.2%	-2	107
	産業	1,704	2.7%	1,758	2.7%	1,826	2.7%	54	68
	芸術	5,388	8.5%	5,485	8.3%	5,626	8.3%	97	141
	語学	1,293	2.0%	1,359	2.1%	1,395	2.0%	66	36
	文学	23,776	37.4%	24,670	37.4%	25,346	37.2%	894	676
	地域資料	2,427	3.8%	2,584	3.9%	2,677	3.9%	157	93
	その他	506	0.8%	530	0.8%	567	0.8%	24	37
	一般図書 計	63,519		65,920		68,176		2,401	2,256
	児童図書	21,072 (24.2%)		21,558 (23.9%)		22,330 (24.0%)		486	772
	大活字本	858		839		769		-19	-70
	デジタル資料	16		16		16		0	0
	音響資料	1,783		1,849		1,908		66	59
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	87,248		90,182		93,199		2,934	3,017
	雑誌・タイトル数	180		179		186		-1	7
図書資料 貸出数	一般図書	144,592		168,438		168,760		23,846	322
	児童資料	78,677		96,371		91,370		17,694	-5,001
	大活字本	685		794		641		109	-153
	デジタル資料	6		2		7		-4	5
	雑誌	12,410		13,066		12,403		656	-663
	音響資料	8,922		9,371		8,447		449	-924
	障サ資料	0		0		3		0	3
	貸出数合計	245,292		288,042		281,631		42,750	-6,411
登録者数	一般	11,821		11,370		11,080		-451	-290
	児童	1,554		1,496		1,486		-58	-10
来館者数		—		—		—		—	—
予約数		96,718		107,200		94,328		10,482	-12,872
コピー枚数		9,379		10,257		18,405		878	8,148
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		18.0		18.0		18.6		0.0	0.6

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (梅丘図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和43年4月10日
所在地	代田4-38-10 (単独施設)
構 造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建
床面積	1,545.9㎡
対面朗読室	1室
閲覧席	116席 (パソコン利用可能席: 12席、コンセント口数: 0)
資料数	図書資料 88,333
	音響資料 1,849
	合 計 90,182



3 世田谷図書館（住所：若林4-22-13 世田谷合同庁舎内 運営体制：一部業務委託）**令和4年度 運営方針（こういった図書館づくりを実施していくか）**

＊留意点 新型コロナウイルス感染症の動向が十分見えない中、衛生面の制約下での設定・取組みとなった。

- ① 「魅力的な環境づくり」
② 「地域や他機関と連携した図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

① 「魅力的な環境づくり」

課題 玄関から細長く延びるワンフロアのため、館内全体の見通しがよくなく、特に奥まった場所の一般書の書架群や企画展示などがわかりにくい。合同庁舎内で目立たない。

目標 一般書の企画展示を工夫して配置・演出する。

メリハリのある玄関・館内の装飾・表示などを施し、より立ち入りやすい雰囲気をつくる。

② 「地域や他機関と連携した図書館づくり」

課題 乳児健診会場と隣接している立地をより生かした行事運営。地元商店街等との地域連携。

目標 乳幼児向け行事への参加促進。コロナ明けの地域行事への参加復帰。

令和4年度取組みの実施状況 ① 「魅力的な環境づくり」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書企画展示コーナーの設定頻度（一般書）	14 回	20 回 （うち継続1）	143%
装飾・表示の改善	—	・玄関看板の設置 ・行事の立看板新設 ・児童コーナーの装飾アップなど	—

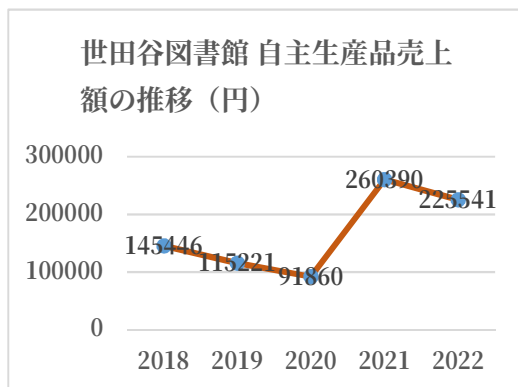
- ・毎月の図書企画展示に加え、時宜に適したテーマ展示も随時に行い、ウクライナ侵攻への区声明等を踏まえた4年2月「国際紛争」コーナーは反響があり、4年度を経て現在まで継続展示（受付カウンター正面）。併置のパスファインダー「世田谷区の空襲」（当館主体で編集）は当館のみで異例の500部超の配布実績。
- ・他官公署の合意を得て合同庁舎ホールに、図書館表示や行事案内の立て看板を設置。児童コーナーは遠目にも目をひくよう、壁面に彩色・工作を施し、子ども連れの入館誘導の効果を実感できている。
- ・その他、細かい禁止規定の連なる掲示類を一掃し、シンプルな意匠によるマナー表示に切り替えたところ、騒ぎなどへの苦情が減少するなど相互マナーと美観の向上に役立っている。

**令和4年度取組みの実施状況 ② 「地域や他機関と連携した図書館づくり」**

＊行事の数値変動については3年度の休止期間を考慮する必要がある。

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
乳幼児向け行事 への参加促進	赤ちゃんお話し会（月1回）	44 名※	194 名	440%
	はじめての絵本（月3回）	160 名※	248 名	155%
自主生産品（福祉作業所等）の販売促進		260,390 円	225,541 円	87%
幕末維新まつり参加		（中止） 館内展示のみ	（中止） 館内展示と講座	—

- ・乳幼児向けに実施している「はじめての絵本」は3年度から行事形式から自由参観形式に切り替えて継続維持。4年度の「赤ちゃんお話し会」は参加順調で、定員超のため急遽2回公演も2度あった。ともに館員の積極的な声かけが功を奏しており、今後の潜在的な需要への対応を検討している。
- ・自主生産品販売は、受託事業者事業（収益はすべて生産者／障害者就労施設へ）。4年度は生産事情で入荷停滞し、本来は3年度越えの収益も見込めた実績。フロア奥の売り場を受付カウンター横に移設し、キャンペーン企画などで販売促進。団体自体の紹介PR展示を行い、新規の大量受注も喚起。区障害福祉部からコロナ禍の福祉就労では異例の伸長だとして見学・聴取を受けた。



地域社会との繋がりの表現ともなった。

- ・地元商店街主催の幕末維新まつり自体は4年度も中止となったが、館内展示と区立郷土資料館の学芸員によるミニ歴史講座(10名参加)を開催して地域特性事業を継続。大学関係等の地域連携を調査検討する年度にもあてた。その結果、5年度は郷土資料館とも実務連携を保ち、商店街まつりの参加も再興、国士舘大学総務課と文学部教育学科と連携・協力を得て2つの企画実施に至る。

令和4年度の実施に対する自己評価

いずれも多様化する利用者の態様とニーズをとらえた方策を、中期的な観点から講ずる必要がある。

①「魅力的な環境づくり」

- ・一定の前進を見ることができたが、「利用者の目線にたった」環境づくりの改善においてはセルフプランニングだけでは限界もある。今後は他館の好事例をより研究し、利用者や学識経験者からの意見を仰ぐなどして、利用者参加型を視野に入れながら改善をはかる。

②「地域や他機関と連携した図書館づくり」

- ・地域の各チャンネルとのパートナーシップ形成においては力不足を認めない。各企画については発展性の薄い単発物のみに頼らず、経年ごとに参加の輪が広がる成熟過程を伴うプランニングが特に求められる。
- ・その他、他機関との連携として、行政連携の一環で特別支援教育に関する行政レファレンスを当館で受けている。4年度後半から特別支援教育に関する資料収集に努め、利用者の反応が非常に高く、利用者のニーズが分かるきっかけにもなり、所蔵の充実にもつながった。
- ・幕末維新などの蔵書を改めて検証し、購入だけでなく、他館で所蔵するそれらに類する資料を当館で集約して展示を行うなど、所蔵資料の収集・構成にもテーマ性をより反映させていきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

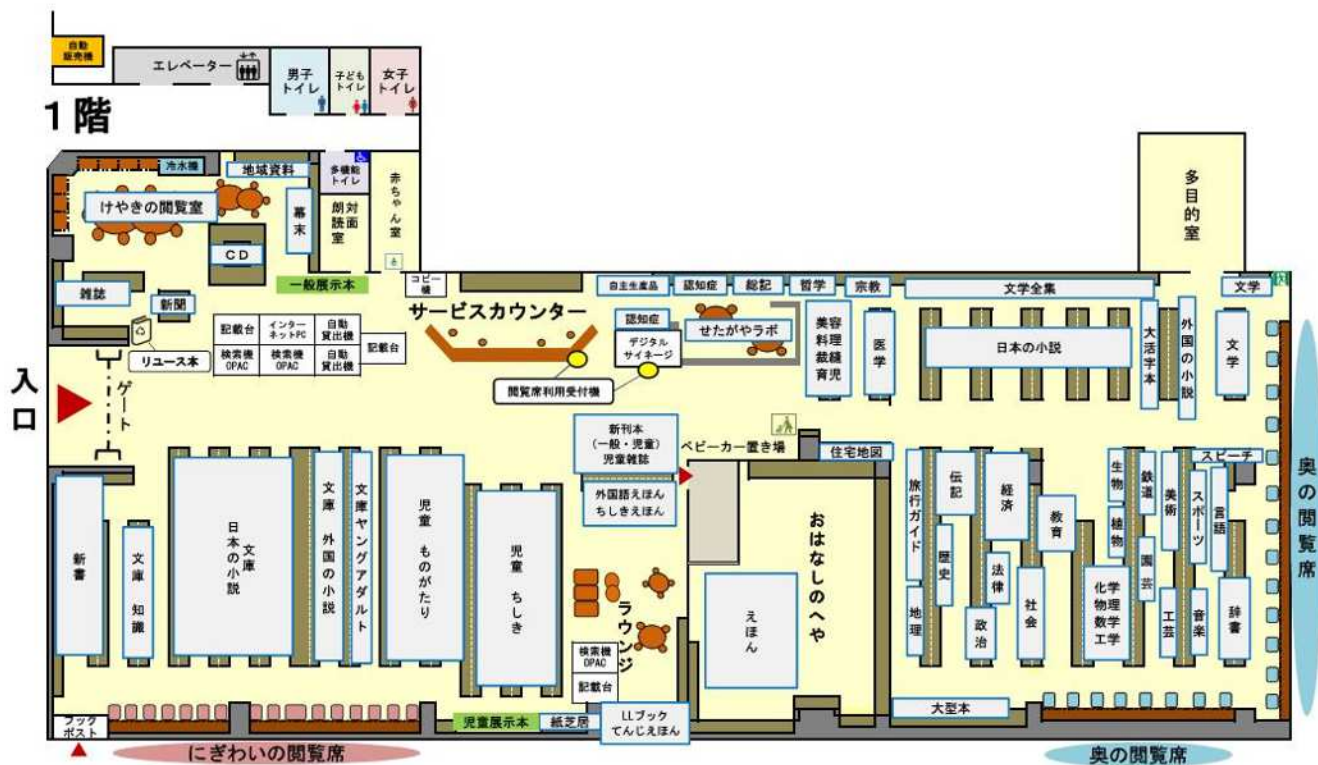
- ・「地域や他機関と連携した図書館づくり」に記載の指標は、乳幼児向けの行事のほかにも自主生産品、幕末維新まつりの参加などバラエティーがあり、バランスも取れている。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,850	2.4%	1,802	2.3%	1,838	2.3%	-48	36
	哲学	2,436	3.2%	2,492	3.2%	2,572	3.2%	56	80
	歴史	6,057	7.9%	5,995	7.6%	6,284	7.8%	-62	289
	社会科学	8,985	11.7%	9,234	11.7%	9,540	11.8%	249	306
	自然科学	4,608	6.0%	4,834	6.1%	5,110	6.3%	226	276
	工学	5,387	7.0%	5,558	7.1%	5,738	7.1%	171	180
	産業	1,774	2.3%	1,833	2.3%	1,904	2.4%	59	71
	芸術	5,373	7.0%	5,464	6.9%	5,574	6.9%	91	110
	語学	1,074	1.4%	1,111	1.4%	1,163	1.4%	37	52
	文学	36,185	47.2%	37,223	47.3%	37,629	46.7%	1,038	406
	地域資料	1,899	2.5%	1,946	2.5%	2,033	2.5%	47	87
	その他	1,108	1.4%	1,133	1.4%	1,187	1.5%	25	54
	一般図書 計	76,736		78,625		80,572		1,889	1,947
	児童図書	23,368 (22.6%)		24,235 (22.8%)		25,210 (23.1%)		867	975
	大活字本	377		377		372		0	-5
	デジタル資料	15		15		15		0	0
	音響資料	2,826		2,917		3,008		91	91
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	103,322		106,169		109,177		2,847	3,008
	雑誌・タイトル数	179		182		183		3	1
図書資料 貸出数	一般図書	190,791		219,648		229,766		28,857	10,118
	児童資料	128,678		153,928		156,340		25,250	2,412
	大活字本	621		721		544		100	-177
	デジタル資料	2		4		0		2	-4
	雑誌	11,983		13,240		13,305		1,257	65
	音響資料	8,560		9,441		9,318		881	-123
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	340,635		396,982		409,273		56,347	12,291
登録者数	一般	13,953		13,604		13,967		-349	363
	児童	2,315		2,358		2,443		43	85
来館者数		258,727		275,647		316,077		16,920	40,430
予約数		96,939		107,096		99,286		10,157	-7,810
コピー枚数		14,237		14,699		17,160		462	2,461
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		17.8		18.9		20.1		1.1	1.2

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (世田谷図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和 2 5 年 1 0 月 1 日（平成 2 8 年 9 月 1 日新館開館）
所在地	若林 4－2 2－1 3 複合施設名称『世田谷合同庁舎』
構 造	鉄筋コンクリート地上 6 階地下 1 階建 （図書館は地上 1 階部分の一部）
床面積	9 6 5．6 4 m ² （図書館部分）
対面朗読室	1 室
閲覧席	5 1 席（パソコン利用可能席：5 1 席、コンセント口数：3 7）
資料数	図書資料 1 0 6，1 6 9 音響資料 3，0 0 8 合 計 1 0 9，1 7 7



4 砧図書館（住所：世田谷区祖師谷 3-10-4 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- ① 「図書館利用の利便性の向上」
- ② 「安全・快適な図書館づくり」
- ③ 「立地特性を生かした地域連携の強化と事業の実施」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

① 「図書館利用の利便性の向上」

課題 地域特性や地域の図書館であることを踏まえた資料の収集を行う。

読書バリアフリー法等の趣旨を踏まえた適切な利用者対応を心掛ける。

目標 新型コロナウイルス感染症の影響により購入を見送っていた旅行ガイド等を充実させ、これまで蓄積された蔵書を見直しつつ、図書館の基本となる蔵書構築を目指す。

図書館利用に不自由がある方を始め、利用者に応じた適切な接遇を行う。

② 「安全・快適な図書館づくり」

課題 建物の老朽により空調機能不具合や雨漏り等躯体に問題が生じている。

新型コロナウイルス感染症の影響により席間にゆとりを持たせたことで席数が減少した。

目標 数年をかけて必要な修繕を順次行いながら、利用者が不快に感じない環境づくりを行う。

座席数新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら段階的に復旧させる。

③ 「立地特性を生かした地域等との連携強化と事業の実施」

課題 新型コロナウイルス感染症の影響により縮小されていた事業の実施や地域との連携をコロナ禍以前に戻していく必要がある。

目標 出張お話し会をはじめとした学校関係の事業や定期的なお話し会の実施と子ども事業を再開するとともに、縮小実施していた「きぬたとしょかんまつり」をコロナ禍以前の規模に戻す。

令和4年度取組みの実施状況 ①「図書館利用の利便性の向上」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
蔵書数 一般図書（大活字本含む）	78,272 冊	80,732 冊	103.1%
〃 児童図書	29,951 冊	30,579 冊	102.0%
〃 C D	3,138 点	3,038 点	96.8%
貸出数	653,830 点	657,862 点	100.6%
予約受付数	251,212 件	237,372 件	94.4%
全体的な満足度 （来館者アンケートより）	68.8% （満足・やや満足合算）	74.5% （満足・やや満足合算）	108.2%
図書館員の接遇 （来館者アンケートより）	63.8% （満足・やや満足合算）	71.1% （満足・やや満足合算）	111.4%

- ・蔵書については、要望の多い実用書や旅行ガイドの充実、新刊本紹介コーナー、特集本（おすすめ本）の案内表示を工夫し、見栄えをよくして手に取りやすい書架にした。また、地元作家の蔵書充実要望があり、「横溝正史生誕 120 年」を特集として実施。現在もよく貸出されている。
- ・児童書については、季節や時期に応じた装飾、展示本の展示、独自の新刊紹介の掲示等により、親しみやすいレイアウトとした。
- ・障害者サービスの案内を適切に行い、そのほか、車椅子やバギーでの利用、妊婦の方や高齢者、ヘルプマーク着用者等各々の状況に合わせ臨機応変な対応を行った。

令和4年度取組みの実施状況 ②「安全・快適な図書館づくり」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館の施設や設備 (来館者アンケートより)	46.5% (満足・やや満足合算)	54.5% (満足・やや満足合算)	117.2%
図書館内の居心地 (来館者アンケートより)	47.0% (満足・やや満足合算)	53.9% (満足・やや満足合算)	114.6%

- ・要望が多かった、洋式トイレ便座を暖房便座に交換し、とても喜ばれた。
- ・閲覧席は、人との距離が確保できることを念頭に、ひとまず4人席を3人座れるように整備した。
- ・書架戻しの際や、夕方、夜間など書架整理の回数を増やし、書架を整然と保つとともに、掲示物を整理して、館内美化を推進した。

令和4年度取組みの実施状況 ③「立地特性を生かした地域等との連携強化と事業の実施」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
出張おはなし会	実施回数	実施なし	13回	—
	参加者数		397名	
調べ学習支援貸出実績	件数	31件	33件	106.4%
	冊数	1,123冊	1,065冊	94.8%
子ども向け講座	実施回数	5回	9回	180%
	参加者数	100名	158名	158%

- ・きぬたとしょかんまつりは、展示と密集しない参加型のイベント、参加人数を抑制した講演会を実施し、次年度への布石とした。
- ・地域連携としては、砧・大蔵地区の予約制乗り合いワゴンのバス停設置に協力、砧図書館の乗降が一番多いと報告を受けている。また、成城大学より留学生の図書館利用の相談を受け了承した。

令和4年度の取組みに対する自己評価**①「図書館利用の利便性の向上」**

- ・貸出数、予約数等、利用の多い館で利用者懇談会もあり、利用者アンケートの回答数からも図書館利用に対する関心の高さが伺える。事業をこなし、回答数に対する図書利用の満足度は評価できる。

②「安全・快適な図書館づくり」

- ・砧図書館の利用に関して、館内の安全と保全に細心の注意を払うとともに、利用者アンケートや寄せられる声に寄り添い、できる限りの改善を図った。

③「立地特性を生かした地域連携の強化と事業の実施」

- ・近隣の学校や公的機関との関係を良好に保ち、気軽に相談し合えるような協力態勢が築けた。
- ・きぬたとしょかんまつりについて、利用者懇談会の実行委員の理解を得て、一部縮小しながらの開催となったが、参加型のイベントができて次年度につながる内容となった。
- ・駅間に位置しバス停がありベンチも設置していて、ちょっと休む、トイレを使う、道案内等、図書利用を伴わない立ち寄り利用が多い。誰もが利用できる公共施設としてできる限りの協力をした。

図書館運営協議会からの意見・提案

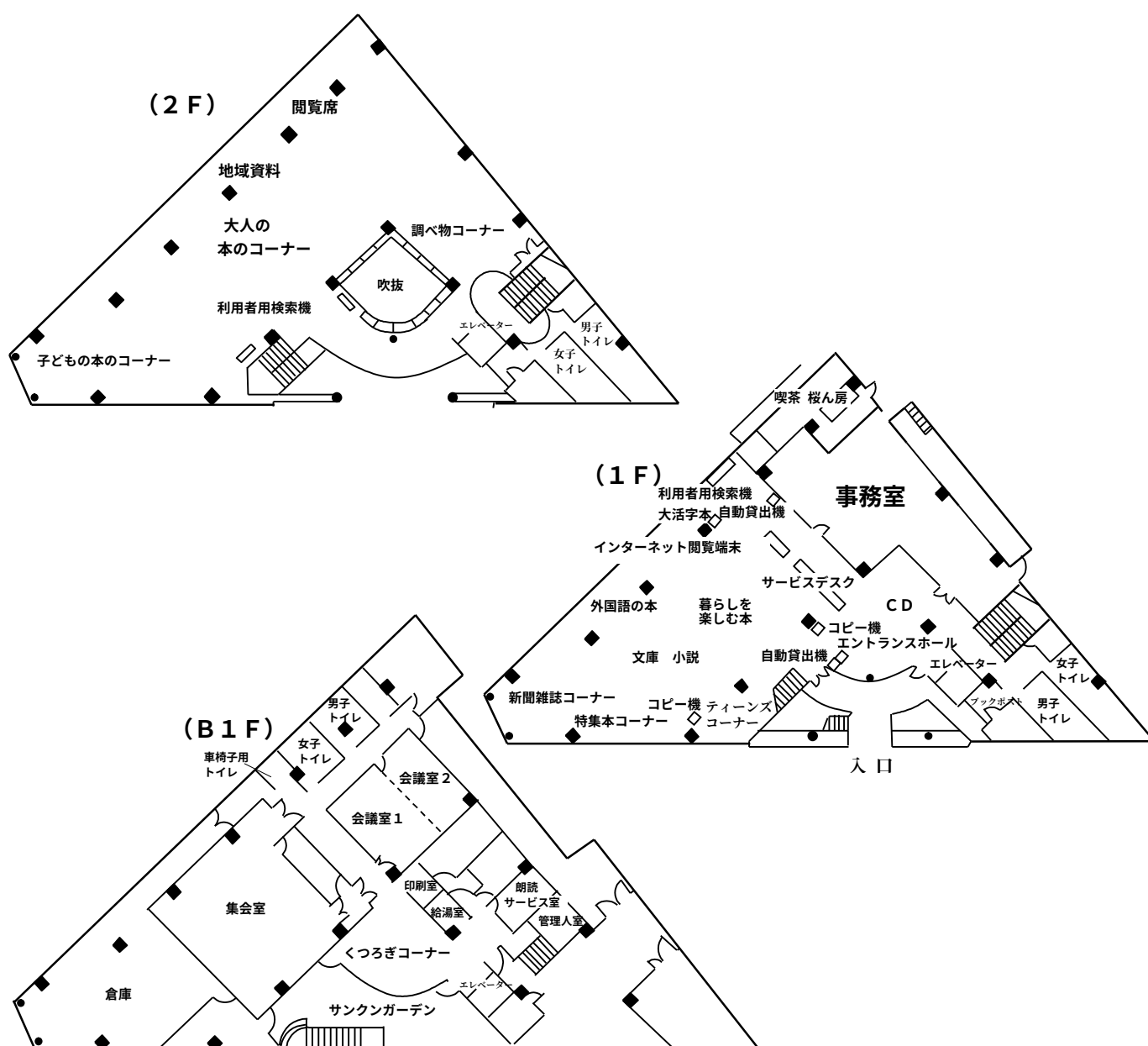
- ・立地が駅のそばではなく、また単独館であるが、蔵書の数に比べて貸出数が非常に多い。取組みシートには、利用者からの要望というワードが随所に記載されており、利用者のニーズをつかむよう非常に努力しているという様子がうかがわれる。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,700	2.2%	1,750	2.3%	1,797	2.2%	50	47
	哲学	3,206	4.1%	3,316	4.3%	3,433	4.3%	110	117
	歴史	7,866	10.1%	8,109	10.4%	8,342	10.4%	243	233
	社会科学	9,417	12.2%	9,874	12.7%	10,301	12.8%	457	427
	自然科学	5,367	6.9%	5,517	7.1%	5,751	7.2%	150	234
	工学	6,858	8.8%	6,820	8.8%	7,033	8.8%	-38	213
	産業	2,276	2.9%	2,335	3.0%	2,361	2.9%	59	26
	芸術	7,222	9.3%	7,348	9.4%	7,439	9.3%	126	91
	語学	1,595	2.1%	1,630	2.1%	1,651	2.1%	35	21
	文学	29,100	37.5%	28,571	36.7%	29,614	36.9%	-529	1,043
	地域資料	1,831	2.4%	1,974	2.5%	1,981	2.5%	143	7
	その他	1,062	1.4%	532	0.7%	539	0.7%	-530	7
	一般図書 計	77,500		77,776		80,242		276	2,466
	児童図書	29,439 (26.6%)		29,951 (26.9%)		30,579 (26.7%)		512	628
	大活字本	524		496		490		-28	-6
	デジタル資料	25		26		26		1	0
	音響資料	3,070		3,138		3,038		68	-100
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	110,558		111,387		114,375		829	2,988
	雑誌・タイトル数	201		314		316		113	2
図書資料 貸出数	一般図書	316,565		359,122		363,591		42,557	4,469
	児童資料	200,676		244,060		246,773		43,384	2,713
	大活字本	1,368		1,260		900		-108	-360
	デジタル資料	25		40		10		15	-30
	雑誌	26,150		27,586		27,303		1,436	-283
	音響資料	18,401		21,762		19,285		3,361	-2,477
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	563,185		653,830		657,862		90,645	4,032
登録者数	一般	20,889		20,278		19,947		-611	-331
	児童	4,444		4,391		4,383		-53	-8
来館者数		326,649		337,049		359,258		10,400	22,209
予約数		226,124		251,212		237,372		25,088	-13,840
コピー枚数		23,416		28,173		31,300		4,757	3,127
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		24.8		24.8		25.2		0.0	0.4

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (砧図書館) 「世田谷のとしょかん(世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和41年11月1日(平成6年5月12日現在地へ移転)
所在地	祖師谷3-10-4(単独施設)
構 造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建
床面積	2,298.85㎡
対面朗読室	1室
閲覧席	58席(パソコン利用可能席:16席、コンセント口数:16)
資料数	図書資料 111,337
	音響資料 3,038
	合 計 114,375



5 奥沢図書館（住所：世田谷区奥沢3-47-8 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（こういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「地域住民に親しまれる図書館運営」
 ②「誰もが安心して利用できる図書館運営」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「地域住民に親しまれる図書館運営」

課題 地域連携により実施してきた事業が、新型コロナウイルス感染症の影響により一部実施できなかった。今後の実施にあたっては、感染症対策を踏まえて内容を検討する必要がある。

目標 小学校や区民センター運営協議会・児童館等と連携して、出張おはなし会や地域の生涯学習事業に取り組むとともに、新春奥沢地区まつりの参加・協力など、地域連携・地域貢献等を進めていき、地域住民に親しまれる図書館運営を目指す。

②「誰もが安心して利用できる図書館運営」

課題 これまでにも利用者の立場になって図書館サービスの向上に取り組んできたが、来館者アンケートの結果では、奥沢図書館に対する満足度は各項目において全体よりも低い傾向となっている。職員がこれらの状況を共通認識し、改善に取り組んでいく必要がある。

目標 図書資料等の充実やテーマ展示の設置などによる読書活動の促進、接遇の際は分かりやすく丁寧な説明を心がけるなど、来館者が安心して気持ちよく利用できる図書館運営を目指す。

令和4年度取組みの実施状況 ①「地域住民に親しまれる図書館運営」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
こわいおはなし会（7月実施）	参加者数	実施なし	17名	—
人形劇（2月実施）	参加者数	実施なし	23名	—
出張おはなし会 （区立小学校、子育て児童広場）	回数	10回	23回	230.0%
	参加者数	107名	313名	292.5%

- ・奥沢区民センターで10月に開催される文化祭に、図書館PRコーナーとして参加し、パスファインダーの紹介、リユース本の配布、図書館全体の基本方針・アンケート結果の掲示を行った。リユース本は来場者からも好評で、約400冊を配布出来た。
- ・地域団体と連携して館内に展示コーナーを設け、「古地図で巡る奥沢の歴史」や「奥沢神社の歴史と大蛇お練りの行事」など3か月ごとにテーマを変えて歴史資料や写真等を展示し、地域情報の発信を行った。
- ・地区の大きなイベントである新春奥沢地区まつりが3年ぶりに開催され、図書館PRコーナーとして準備会議から地域と連携して実施し、「弟や妹のおみやげにする」との子どももいて、用意したリユース本をすべて配布した。

奥沢区民センター文化祭
図書館PRコーナー館内展示コーナー
奥沢の歴史

令和4年度取組みの実施状況 ②「誰もが安心して利用できる図書館運営」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館内の居心地に対する満足度 (来館者アンケートより)	32.4% (満足・やや満足合算)	35.0% (満足・やや満足合算)	108.0%
図書館職員の接遇に対する満足度 (来館者アンケートより)	57.4% (満足・やや満足合算)	60.0% (満足・やや満足合算)	104.5%
図書館を利用した感想「探していた 情報や知識を得ることができた」 (来館者アンケートより)	63.9% (そう感じる・やや感じる 合算)	75.0% (そう感じる・やや感じる 合算)	117.4%

- ・図書資料については、幅広い分野から、且つ各年代に対応をしていくことを基本に収集を行った。
- ・テーマ展示は、コロナ禍での余暇を有意義に過ごすための、楽器・絵画・料理等の多様な趣味の本を展示するなど、テーマや飾り付けは職員で意見を出し合って取り組んだ。
- ・来館者に安心して気持ちよく利用していただけるよう館内美化・整理整頓に努めるとともに、「区民の声」で寄せられる接遇改善に関するご意見等については職員で共有し、接遇向上に取り組んだ。

令和4年度取組みに対する自己評価

①「地域住民に親しまれる図書館運営」

- ・コロナ禍で中止していた、こわいおはなし会や人形劇は、参加者にもご協力をいただき、人数制限して感染症対策を講じたうえで開催することができた。一部中止していた出張おはなし会も再開し、また、3年ぶりに開催された新春奥沢地区まつりにも参加することができ、地域との連携によって事業を進めることができた。

②「誰もが安心して利用できる図書館運営」

- ・子どもから大人まで、安心して気持ちよく利用していただけるよう、図書館サービスの向上に取り組んだ。来館者アンケートの結果による満足度の数値の改善はわずかであったものの、職員が課題を認識して日常業務に取り組んでいき、図書館サービスの向上につなげていきたいと考える。
また、5年4月からは施設の耐震工事のため、代替施設として仮事務所での業務がスタートし、利用者のニーズを踏まえ、随時、運営内容について検討、見直しをおこなっていく必要がある。

図書館運営協議会からの意見・提案

- ・奥沢図書館に対する満足度が全体よりも低い傾向と記載があるが、施設面が影響しているのではないかと。例えば外壁などが明るいと、図書館のイメージも良くなる。複合施設なので、図書館職員だけの努力では全体のイメージを変えることは難しいが、印象を良くするために、施設面に関しても考えると良い。
- ・過去に館独自の経営方針を設け、掲示していたはずだが、現在、経営方針が引き継がれていないということであれば、ぜひ共有していただき、今後に生かしてもらいたい。

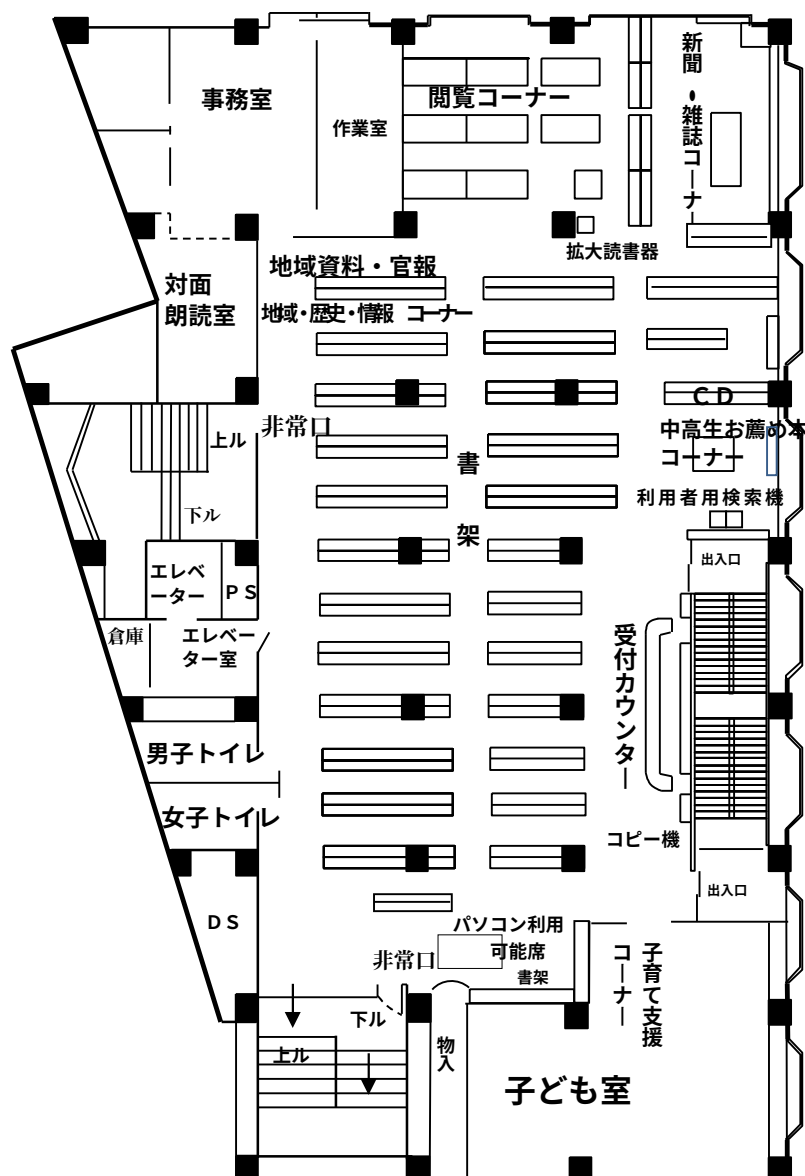
項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,194	2.4%	1,196	2.4%	1,238	2.4%	2	42
	哲学	1,014	2.0%	1,042	2.1%	1,091	2.1%	28	49
	歴史	4,481	8.9%	4,426	8.8%	4,623	8.9%	-55	197
	社会科学	7,225	14.3%	6,853	13.6%	6,850	13.2%	-372	-3
	自然科学	3,512	7.0%	3,450	6.9%	3,521	6.8%	-62	71
	工学	3,740	7.4%	3,726	7.4%	3,932	7.6%	-14	206
	産業	1,561	3.1%	1,535	3.0%	1,557	3.0%	-26	22
	芸術	4,865	9.6%	4,835	9.6%	4,915	9.5%	-30	80
	語学	1,088	2.2%	1,094	2.2%	1,075	2.1%	6	-19
	文学	19,558	38.8%	19,963	39.7%	20,837	40.1%	405	874
	地域資料	1,573	3.1%	1,546	3.1%	1,564	3.0%	-27	18
	その他	618	1.2%	672	1.3%	718	1.4%	54	46
	一般図書 計	50,429		50,338		51,921		-91	1,583
	児童図書	17,880 (25.0%)		18,126 (25.2%)		18,835 (25.5%)		246	709
	大活字本	698		679		630		-19	-49
	デジタル資料	11		11		10		0	-1
	音響資料	2,634		2,651		2,553		17	-98
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	71,652		71,805		73,949		153	2,144
	雑誌・タイトル数	313		174		178		-139	4
図書資料 貸出数	一般図書	108,719		118,136		120,972		9,417	2,836
	児童資料	67,899		66,464		66,839		-1,435	375
	大活字本	608		861		800		253	-61
	デジタル資料	7		4		4		-3	0
	雑誌	12,148		12,585		12,648		437	63
	音響資料	7,711		8,173		7,234		462	-939
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	197,092		206,223		208,497		9,131	2,274
登録者数	一般	9,084		8,514		8,148		-570	-366
	児童	1,525		1,384		1,397		-141	13
来館者数		—		—		—		—	—
予約数		95,626		104,898		91,063		9,272	-13,835
コピー枚数		9,995		10,110		14,666		115	4,556
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		14.6		14.2		13.6		-0.4	-0.6

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (奥沢図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和 4 8 年 3 月 1 日
所在地	奥沢 3 - 4 7 - 8
構 造	複合施設名称 『奥沢区民センター』 鉄筋コンクリート地上 1 0 階地下 2 階建 (図書館は地上 3 階部分)
床面積	9 4 4 . 3 7 m ² (図書館部分)
対面朗読室	1 室
閲覧席	5 4 席 (パソコン利用可能席 : 5 4 席、コンセント口数 : 0)
資料数	図書資料 6 9 , 1 5 4 音響資料 2 , 6 5 1 合 計 7 1 , 8 0 5

(3 F)



6 玉川台図書館（住所：玉川台1-6-15 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（こういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「大人の学びを豊かにする図書館」
 ②「地域に根差した魅力あふれる図書館」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「大人の学びを豊かにする図書館」

課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベントや朗読会など、開催・集客の難しさがあった。

・テーマ本の設定など、普段陽の目を見ない資料に光を当てるような工夫が必要。

目標 ・大人を対象にした朗読会・講演会などの事業をできる限り実施する。
 ・様々な分野をテーマとした本の展示を充実させ、利用者のその分野に興味を持ってもらうように取り組む。

②「地域に根差した魅力あふれる図書館」

課題 来年開設50周年を迎えるにあたり、地域に根差した図書館として地域資料の充実や地域との連携を推進していく必要がある。

目標 地域資料の充実に努めるほか、新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となっていた地域と連携した事業の実施など、地域に根差した魅力ある図書館を目指す。

令和4年度取組みの実施状況 ①「大人の学びを豊かにする図書館」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
美術講演会（年1回開催）	募集人数	40名	40名	100%
	参加者数	24名	20名	83%
大人の朗読会（隔月1回）	実施回数	4回	6回	150%
	参加者数	28名	94名	335%
テーマ本展示	展示回数	6回	7回	116%

- ・美術講演会について、世田谷美術館の元副館長 勅使河原純氏に講演を依頼。美術館のパンフレット配布など美術館のPRと、図書館の世田谷美術館コーナーのPRも行う。参加した方からは「感性が磨かれる気がした」「見たことのある絵や造形も次回は知識を覚えて眺めたい」といった声をいただいた。
- ・朗読を楽しむ会「言の葉」による大人のための朗読会について、子どものおはなし会との違いを明確にするために、昨年までの「大人のおはなし会」という名称を「大人の朗読会」変更。
参加者がより参加しやすくなるように、開催時間を午前から午後へ変更した。
- ・テーマ本展示については、「日本エッセイスト・クラブ賞」や「都内の史跡めぐり」、「ちょっとガンについて考えてみる」など、様々な分野のテーマを設定して本の展示を行った。



美術講演会の様子

令和4年度取組みの実施状況 ②「地域に根差した魅力あふれる図書館」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
地域資料蔵書数		2,444 点	2,484 点	101.6%
芸術祭・コミュニティまつり	リユース本 提供数	なし	111 冊	—
健康貯金スタンプラリー	開催期間	なし	4 1 日	—
	参加者数		180 名	
お正月あそべあそべまつり	リユース本 提供数	なし	187 冊	—

- ・芸術祭・コミュニティまつりは、玉川台区民センター主催で、例年、芸術祭と別々に実施しているが、新型コロナウイルスの影響により4年度は同時に実施した。図書館はリユース本の提供を行った。
- ・用賀あんしんすこやかセンター主催の健康貯金スタンプラリーのステーションとして協力した。普段、図書館利用のない方にも、立ち寄っていただける機会を広げた。
- ・玉川台区民センターと児童館が共催でお正月あそべあそべまつりを行っている。4年度は、図書館としても協力して、主に児童本を中心としたリユース本を提供した。



健康貯金スタンプラリーのステーションとして協力

令和4年度取組みに対する自己評価**①「大人の学びを豊かにする図書館」 ②「地域に根差した魅力あふれる図書館」**

玉川台図書館は1階区民センター、2階児童館という複合施設であり、センターの運営協議会も加わった中で、全体のイベントなどが行われている。その他、其々のイベントでも、地域との関わりを広げるべく、努力している。

地域に根差した図書館ということで、近隣地域の資料収集、特に世田谷美術館とは、事業運営に関する協定を平成23年から結んでおり、展覧会の図録などを多数寄贈いただいている。今後の課題としては、出版数の少ない近隣地域資料を、どのように充実させていくかということと、限られた書架で特性を出し、維持していくための工夫が必要となっているということが考えられる。この2点を中心に、従来の図書館サービスをしっかりと行なっていくことが重要と考えている。

図書館運営協議会からの意見・提案

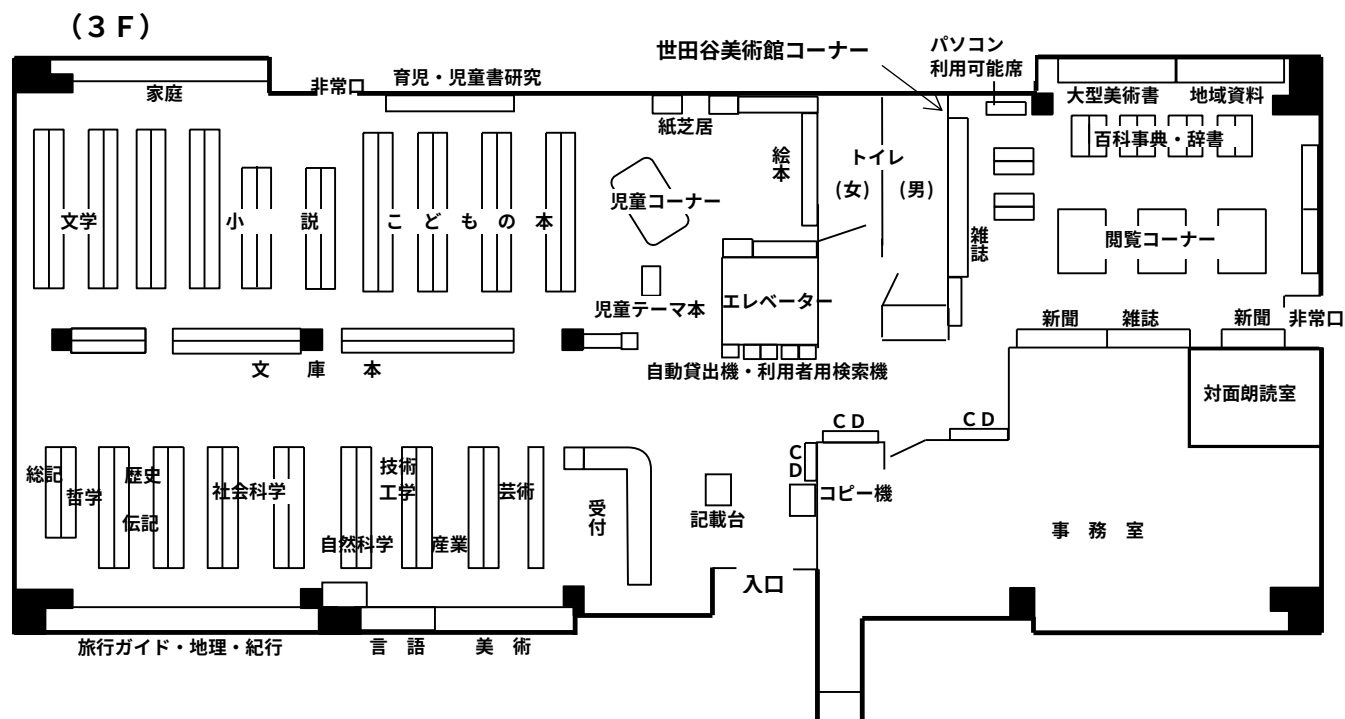
- ・玉川台図書館に行くと、子どもたちの読書リーダーのポップがあり、その他にも職員のお勧め本などを紹介しており図書館職員の生の声が伝わって非常に良い。一方で、ファイルに綴ってあったが少しわかりづらいので、利用者に手にとってもらえるような展示の工夫がなされると良い。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,310	1.9%	1,258	1.9%	1,224	1.9%	-52	-34
	哲学	2,378	3.5%	2,332	3.6%	2,331	3.5%	-46	-1
	歴史	6,386	9.4%	6,004	9.2%	6,113	9.2%	-382	109
	社会科学	7,677	11.3%	7,120	10.9%	7,259	11.0%	-557	139
	自然科学	3,687	5.4%	3,464	5.3%	3,556	5.4%	-223	92
	工学	6,087	9.0%	5,603	8.6%	5,662	8.6%	-484	59
	産業	1,799	2.7%	1,690	2.6%	1,666	2.5%	-109	-24
	芸術	6,237	9.2%	5,975	9.2%	6,039	9.1%	-262	64
	語学	1,199	1.8%	1,198	1.8%	1,222	1.8%	-1	24
	文学	27,740	41.0%	27,646	42.4%	28,031	42.4%	-94	385
	地域資料	2,655	3.9%	2,444	3.7%	2,484	3.8%	-211	40
	その他	531	0.8%	495	0.8%	534	0.8%	-36	39
	一般図書 計	67,686		65,229		66,121		-2,457	892
	児童図書	25,906 (26.5%)		26,061 (27.4%)		24,874 (26.2%)		155	-1,187
	大活字本	274		260		268		-14	8
	デジタル資料	25		25		25		0	0
	音響資料	3,865		3,538		3,535		-327	-3
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	97,756		95,113		94,823		-2,643	-290
	雑誌・タイトル数	171		136		137		-35	1
図書資料 貸出数	一般図書	161,289		191,760		190,749		30,471	-1,011
	児童資料	135,383		178,626		172,525		43,243	-6,101
	大活字本	395		552		392		157	-160
	デジタル資料	24		6		2		-18	-4
	雑誌	16,946		20,349		20,026		3,403	-323
	音響資料	9,172		10,123		9,830		951	-293
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	323,209		401,416		393,524		78,207	-7,892
登録者数	一般	8,819		8,561		8,530		-258	-31
	児童	2,925		2,920		2,818		-5	-102
来館者数		—		161,790		166,686		—	4,896
予約数		118,458		135,735		128,997		17,277	-6,738
コピー枚数		7,937		8,414		8,733		477	319
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.6		15.2		14.8		-0.4	-0.4

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (玉川台図書館) 「世田谷のとしょかん(世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設 昭和48年6月1日
所在地 玉川台1-6-15
複合施設名称 『玉川台区民センター』
構 造 鉄筋コンクリート地上3階地下1階建
(図書館は地上3階部分)
床面積 689㎡(図書館部分)
対面朗読室 1室
閲覧席 20席(パソコン利用可能席:2席、コンセント口数:0)
資料数 図書資料 91,288
音響資料 3,535
合 計 94,823



7 代田図書館（住所：世田谷区代田 6-34-13 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（こういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「地域・学校との連携・支援の強化」
 ②「利用しやすく安全な図書館の運営推進」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

①「地域・学校との連携・支援の強化」

課題 地域連携によるイベントや小中学校・児童館等との連携事業について、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により十分に実施できなかった。

目標 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったイベントの再開、子どもが本に出会う機会をつくるきっかけとして、小中学校や児童館等との連携を積極的に図る。

②「利用しやすく安全な図書館の運営推進」

課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度から閲覧席の縮小を行っており、利用者が快適に図書館を利用できる環境が十分ではない。

目標 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら座席数の復旧などを行い、館内の美化と、より安全な図書館運営の具体的内容を検討し、実施する。

令和4年度取組みの実施状況 ①「地域・学校との連携・支援の強化」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
地域連携によるイベント	実施回数	実施なし	1回	—
	参加者数		20名	
小中学校への調べ学習支援 貸出実績	件数	28件	31件	110.7%
	冊数	1,046冊	1,228冊	117.4%
小学校図書館見学受入実績	回数	1回	2回	200%
	人数	58名	117名	201.7%
子育て講座	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	37名	42名	113.5%
出張おはなし会	回数	0回	0名	—
	人数	0名	0名	

- ・地域連携によるイベントについて、「代田区民センター祭り」に参加し、昨年度中止した地域講演会「昔の代田～代田と下北沢」を開催した（世田谷文学館企画「萩原朔太郎展」と連携）。地元に住み続ける区民2名を講師に招き、代田と下北沢のまちがどう変化してきたかをトーク形式で実施した。聴講者からは、かつて地域に茶畑があったことなど、地域の歴史に関心を持ったとの声があった。
- ・出張おはなし会については実施することはできなかったが、小中学校への調べ学習の支援や、小学校の図書館見学の受け入れ、子育て講座（親子で笑おう！親子で楽しもう！おとぎの村のおはなし会）を代田児童館で実施し、地域の小中学校および児童館との連携を日頃より図ることができた。

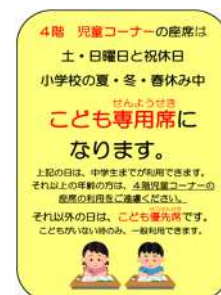


地域講演会の様子

令和4年度取組みの実施状況 ②「利用しやすく安全な図書館の運営推進」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館内の居心地に対する満足度 (来館者アンケートより)	52.7% (満足・やや満足合算)	59.5% (満足・やや満足合算)	112.9%
図書館を利用した感想「落ち着いて読書や勉強、考え事ができた」 (来館者アンケートより)	27% (そう感じる・やや感じる合算)	43.1% (そう感じる・やや感じる合算)	159.6%
児童コーナー座席数	6 席	8 席	133.3%

- ・座席数の不足から時折大人の利用がみられた児童コーナーの座席を、「こども専用席」(*)として明確にした。(※平日昼など、時期・時刻により「優先席」としている。)大人からは、座席がもともと少ないので仕方なく児童コーナーの座席に座っていると声があった一方、落ち着いて勉強や読書ができるとの小学生の声があった。
- ・衛生および美化の観点から開館前の全閲覧席の机椅子の清拭を継続し実施している。また、カウンター周りの装飾、記載台のワンポイント装飾、区民センター入口の図書館ディスプレイなどで季節感、話題性を取り入れて変化を持たせながら装飾・美化活動に取り組んでいる。利用者からは、手作りの館内装飾について「どなたが作っているのですか。」など、お褒めの言葉をいただいた。



掲示ポスター



カウンター周りの装飾

令和4年度取組みに対する自己評価

①「地域・学校地域との連携・支援の強化」

- ・昨年度実施できなかった地域連携のイベントとして、地域講演会を実施することができた。今後、代田区民センターが開催する各種区民参加行事に対し、関連資料の展示をはじめ図書館として可能な協力を行うなど、地域連携の強化に努めていく。
- ・調べ学習の支援、子育て講座等を通じて、学校や児童館との連携を図ることができたが、出張おはなし会などの地域ボランティアとの協働について新型コロナウイルス感染症拡大以降実施することができなかった。現状、ボランティア活動が縮小していることから、協働に向けて今後の手法等を検討する。

②「利用しやすく安全な図書館の運営推進」

- ・思い描いた形での運営が厳しい状況もあったが、児童コーナーの「こども専用席」設置など、安全で快適な図書館環境をある程度達成できたと考える。
- ・館内美化に関する取組みについて、前述したとおり利用者からお褒めの言葉をいただくなど、利用者とのコミュニケーションへとつながっている。

図書館運営協議会からの意見・提案

- ・アンケート結果では、4年度に満足度がかなり改善している。特に「落ち着いて読書や勉強、考え事ができた」について前年比で 159.6%にもなっている。他館でも代田図書館が行った取組みを参考にいただき、取り入れられるような点は、導入を検討してもらうと良い。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,473	2.5%	1,551	2.6%	1,608	2.6%	78	57
	哲学	2,595	4.4%	2,642	4.4%	2,693	4.4%	47	51
	歴史	5,227	8.8%	5,278	8.7%	5,604	9.1%	51	326
	社会科学	7,236	12.1%	7,400	12.2%	7,623	12.4%	164	223
	自然科学	4,118	6.9%	4,218	7.0%	4,328	7.0%	100	110
	工学	5,682	9.5%	5,739	9.5%	5,788	9.4%	57	49
	産業	2,051	3.4%	2,140	3.5%	2,223	3.6%	89	83
	芸術	5,798	9.7%	5,866	9.7%	5,878	9.5%	68	12
	語学	1,086	1.8%	1,083	1.8%	1,093	1.8%	-3	10
	文学	22,895	38.4%	23,099	38.2%	23,160	37.6%	204	61
	地域資料	1,244	2.1%	1,289	2.1%	1,398	2.3%	45	109
	その他	231	0.4%	234	0.4%	279	0.5%	3	45
	一般図書 計	59,636		60,539		61,675		903	1,136
	児童図書	18,482 (22.7%)		18,961 (22.9%)		19,676 (23.2%)		479	715
	大活字本	372		378		366		6	-12
	デジタル資料	25		25		25		0	0
	音響資料	2,858		2,946		3,024		88	78
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	81,373		82,849		84,766		1,476	1,917
	雑誌・タイトル数	155		180		183		25	3
図書資料 貸出数	一般図書	157,931		175,646		144,479		17,715	-31,167
	児童資料	86,225		107,822		97,986		21,597	-9,836
	大活字本	491		494		645		3	151
	デジタル資料	1		3		4		2	1
	雑誌	12,063		12,820		10,948		757	-1,872
	音響資料	11,943		12,166		9,323		223	-2,843
	障々資料	5		0		0		-5	0
	貸出数合計	268,659		308,951		263,385		40,292	-45,566
登録者数	一般	10,371		10,092		9,817		-279	-275
	児童	1,954		1,929		1,924		-25	-5
来館者数		—		179,594		171,005		—	-8,589
予約数		104,549		115,571		79,385		11,022	-36,186
コピー枚数		5,735		6,577		6,970		842	393
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		20.6		20.6		21.8		0.0	1.2

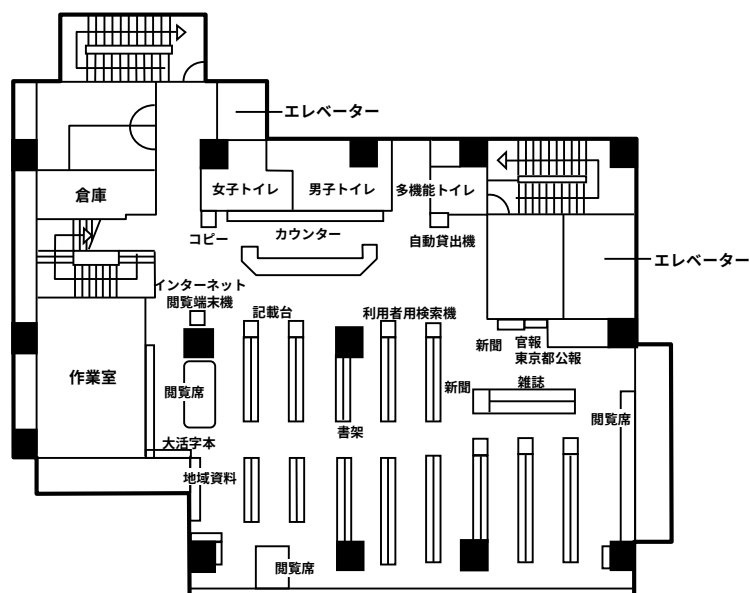
※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (代田図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和 5 0 年 1 月 2 4 日 (平成 2 6 年 4 月 7 日新館開館)
所在地	代田 6 - 3 4 - 1 3
	複合施設名称『代田区民センター』
構 造	鉄骨鉄筋地上 6 階地下 2 階建 (図書館は地上 3 階 4 階部分)
床面積	7 9 1 . 6 4 m ² (図書館部分)
対面朗読室	1 室
閲覧席	2 3 席 (パソコン利用可能席: 2 3 席、コンセント口数: 1 5)
資料数	図書資料 8 1 , 7 4 2 音響資料 3 , 0 2 4 合 計 8 4 , 7 6 6

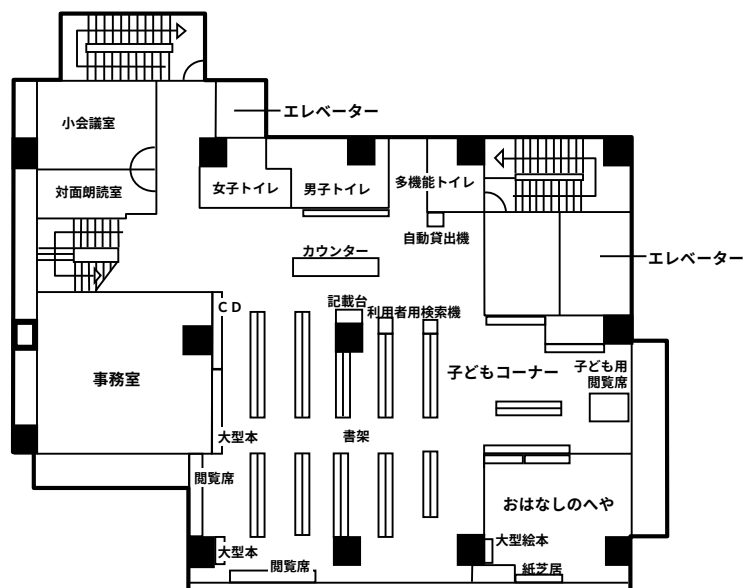
(3 F)

「読み物と調べ物のフロア」



(4 F)

「趣味と生活と子どものフロア」



8 烏山図書館（住所：南烏山6-2-19 烏山区民センター4階 運営体制：指定管理）**令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「図書館利用の機会を創出する事業の実施」
 ②「図書館の利便性を高める環境づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

課題 地域に根ざした身近な図書館として感じられるよう、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、利用者の課題解決や図書館利用につながる事業を実施していく必要がある。

目標 これまでに未実施だった新たな事業に取り組むなど、図書館利用につながる企画等を展開する。

②「図書館の利便性を高める環境づくり」

課題 好立地で利用も多く、利用者のニーズに応えるため図書館の利便性を高める取組みが必要である。

目標 指定管理者制度導入に伴い、開館時間の延長を行うほか、コロナ禍でも安心して利用できる環境を整備し、図書館の利便性を高める取組みを行う。

令和4年度取組みの実施状況 ①「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

取組みに関する指標		R3	R4		前年比
主な講座・イベント					
からすのなぞときおはなしかい（蘆花まつりとの連携事業）	蘆花まつり開催時に、烏山区民センター前広場でクイズやおはなし会を実施	未実施	参加者 38 名		—
はじめてのタブレット PC 講習会	タブレット型 PC を使用し基本操作や図書館 HP の利用方法を紹介	未実施	募集（定員）数 10 名	参加者 8 名	—
楽しいプログラミング教室 みんなで Viscuit	小学生を対象にプログラミングツール V i s c u i t を使い、プログラミング体験を実施	未実施	募集（定員）数 20 名程度	参加者 19 名	—
本の世界に入ってみよう	合成撮影技術（クロマキー）を使用し、本の世界に入ったような体験を提供	未実施	募集（定員）数 24 名程度	参加者 23 名	—
一般向け企画展示	回数	6 回	15 回		250%
子ども向け企画展示	回数	11 回	14 回		127%
デジタルサイネージ		未設置	新たに設置		—



からすのなぞときおはなしかい



本の世界に入ってみよう



2022年10月展示

- ・コロナ禍の状況に注意しながら、新規の自主事業を積極的に実施した。上記以外にも、「ボードゲームで認知機能を活性化しよう!」、「わくわく本の福袋」「烏山図書館出前寄席」などの新たな取り組みを多く行った。事業ごとのアンケートでは概ね高評価をいただき、利用者からの期待を感じられた。
- ・烏山図書館の「顔」ともいえるエレベーター前のガラススペースでの展示を隔月での入替から毎月へと変更し強化した。飾り付けにも工夫を凝らして利用者の目を惹き、関心を持てていた。
- ・広報活動として、図書館だよりを発行、オンラインプラットフォーム note を開設し、積極的な情報発信に努めた。
- ・図書館の出入口にデジタルサイネージを設置し、企画展示やイベントについてなど図書館の情報に加えて、区のお知らせや近隣の公共機関からの依頼による地域の情報も発信している。

令和4年度取組みの実施状況 ②「図書館の利便性を高める環境づくり」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
開館日に対する満足度 (来館者アンケートより)	64.7% (満足・やや満足合算)	78.1% (満足・やや満足合算)	120.7%
開館時間に対する満足度 (来館者アンケートより)	60.7% (満足・やや満足合算)	75.1% (満足・やや満足合算)	123.7%
図書館除菌機	—	利用回数：8,253 回	—
区内障害者施設自主生産品の販売	—	販売額：63,900 円	—

- ・4年度から開始した開館時間の延長に関しては大きな混乱はなく、滞在型の利用が多く見受けられる。

※火～土曜日：午前9時～午後9時、日・月曜日、祝・休日：午前9時～午後8時（3年度以前：火～日曜日は午後7時まで、月曜日、祝・休日は午後5時まで）

- ・新型コロナウイルス感染症対策としてソーシャルディスタンスを周知する館内掲示や、図書館利用にあたってピクトグラムを用いたサイン表示を行った。



図書除菌機

ピクトグラムを用いたサイン表示

令和4年度の取組みに対する自己評価**①「図書館利用の機会を創出する事業の実施」**

- ・実施した取組みは児童向けを中心たいへん好評で「次回も開催を」とのご要望が多かった。地域の連携に関しては、お声がけをいただいたものととどまったことを反省している。今後は、もっと地域に溶け込み、図書館側が主体的に企画したものを、地域の皆様と取組んでいきたい。

②「図書館の利便性を高める環境づくり」

- ・アンケート結果だけでなく、利用者から直接時間延長に対してお礼の言葉もカウンターなどで頂戴し、成果があったと捉えている。図書除菌機は、絵本を借りる方によくご利用いただいている傾向にあり、徐々に利用する方が増えている。その他、障害者施設自主生産品の取組みやサイン表示を工夫するなど、図書館の利便性の高い図書館として認知していただくよう努力している。
- ・デジタルサイネージは館内でのブラウジングを楽しむきっかけづくりを担っている。利用者の多くはエレベーターの待ち時間にご覧になられている様子である。

図書館運営協議会からの意見・提案

- ・図書館利用の機会を創出する事業として、タブレット PC 講習会やプログラミング教室などを実施されており大変魅力的である。一方で、それらの事業によって今まで図書館に関心なかった人が、これを機会に図書館に行ってみようという人がいたのかを検証する必要があるのではないか。
- ・図書館利用の機会を創出するために、発信・告知の方法は従来のやり方を超えていく必要があり、また、指定管理ならではの発信方法を検討し、改善につなげていくことも考えられる。そのうえで新たな利用者を開拓したのであれば、そのことを逆にアピールするくらいで良いだろう。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,754	2.5%	1,781	2.6%	1,770	2.6%	27	-11
	哲学	3,251	4.7%	3,315	4.9%	3,332	4.9%	64	17
	歴史	6,197	9.0%	6,022	8.8%	6,146	9.0%	-175	124
	社会科学	9,592	13.9%	9,750	14.3%	9,861	14.4%	158	111
	自然科学	4,275	6.2%	4,410	6.5%	4,478	6.6%	135	68
	工学	5,305	7.7%	5,219	7.7%	5,363	7.8%	-86	144
	産業	1,780	2.6%	1,799	2.6%	1,881	2.8%	19	82
	芸術	5,680	8.2%	5,751	8.4%	5,895	8.6%	71	144
	語学	1,473	2.1%	1,500	2.2%	1,506	2.2%	27	6
	文学	27,179	39.4%	26,000	38.2%	25,478	37.3%	-1,179	-522
	地域資料	2,087	3.0%	2,126	3.1%	2,193	3.2%	39	67
	その他	436	0.6%	441	0.6%	435	0.6%	5	-6
	一般図書 計	69,009		68,114		68,338		-895	224
	児童図書	27,043 (27.0%)		27,080 (27.2%)		26,847 (27.1%)		37	-233
	大活字本	445		467		440		22	-27
	デジタル資料	12		12		11		0	-1
	音響資料	3,733		3,776		3,605		43	-171
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	100,242		99,449		99,241		-793	-208
	雑誌・タイトル数	180		182		188		2	6
図書資料 貸出数	一般図書	250,715		273,649		290,960		22,934	17,311
	児童資料	121,072		144,876		155,695		23,804	10,819
	大活字本	542		648		956		106	308
	デジタル資料	12		4		9		-8	5
	雑誌	16,804		19,033		18,134		2,229	-899
	音響資料	15,325		17,198		16,040		1,873	-1,158
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	404,470		455,408		481,794		50,938	26,386
登録者数	一般	19,360		18,353		17,885		-1,007	-468
	児童	2,756		2,682		2,575		-74	-107
来館者数		—		—		383,287		—	—
予約数		176,226		194,004		189,107		17,778	-4,897
コピー枚数		18,850		17,198		22,374		-1,652	5,176
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		21.2		21.2		19.5		0.0	-1.7

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考

開設

所在地

複合施設名称 『烏山区民センター』

構造

(図書館は地上4階部分)

床面積

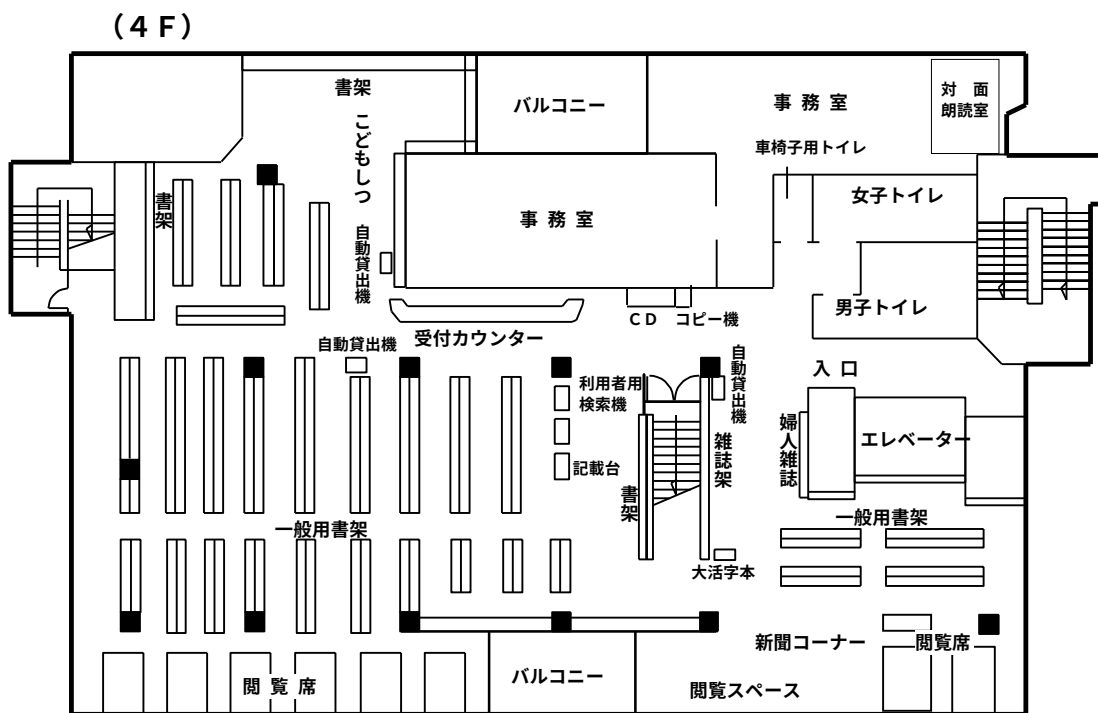
対面朗読室

閱覽席

資料数

音響資料

合計



9 下馬図書館（住所：下馬 2-32-1 運営体制：指定管理）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

指定管理初年度として、「親しみやすい魅力ある“特色ある新しい下馬図書館像”への取組み」を運営方針の土台に据えた。

- ①「地域特性を活かした連携と交流を育む」
- ②「地域情報の発信、親しみの持てる図書館像の確立」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

- ①「地域特性を活かした連携と交流を育む」

課題 新型コロナウイルス感染症対応の中で事業の実施が停滞し、地域の各種機関と連携した事業機会の獲得が進まなかった。

目標 近隣の文化行政施設、町会や商店会と連携した事業や、それらと協働した読書推進と結びつけた参加・体験型の事業を実施していく。また、学校の読書活動への支援を積極的に進める。

- ②「地域情報の発信、親しみの持てる図書館像の確立」

課題 地域に関する資料・情報の収集は進んでいたが、それを利用者に提供（展示）するための環境構築が十分ではない。

目標 開館時間数増による利便性向上を前提に、地域に関する資料の配架場所の再整備、展示方法の新たな工夫や開発等から利用者の日常的、また潜在的な関心に応え、図書館利用の新たな価値を提示していく。

令和4年度取組みの実施状況 ①「地域特性を活かした連携と交流を育む」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
地域連携によるイベント	子ども向け	1回	5回	—
	中高生向け		1回	
	一般向け		1回	
出張おはなし会	回数	—	14回	—
	人数		442人	
職場体験・ボランティア等受け入れ	回数	1回	3回	300%
	人数	4人	6人	150%

- ・世田谷公園で開催の「三宿あおぞら図書館」に、三宿四二〇商店会、昭和女子大学、国土館大学と連携しながら、除籍済み図書多数を供出、学生による読み聞かせのサポート等をした。光や風を受けながら普段とは違う読書体験を味わってもらうことができた。
- ・夏休みには昭和女子大学との連携で、子どもたちに向けた「本の病院」、YA世代以上に向けた児童作家講演会を開催した。講演会参加者からは、「直接質問ができ、著書を手にとることができてとてもよかった。図書館を利用しようという気持ちになった」「オンラインの併用で自宅から安心して参加することができた。また参加したい」等の声があった。
- ・学校への読書支援等については、コロナ禍以前の支援状況に戻していくよう、出張おはなし会の実施や中学生・高校生の職場体験を受け入れた。



令和4年度取組みの実施状況 ②「地域情報の発信、親しみの持てる図書館像の確立」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
貸出数（個人）	248,162 点	258,682 点	104.2%
開館日に対する満足度 （来館者アンケートより）	53.8% （満足・やや満足の合算）	81.1% （満足・やや満足の合算）	150.7%
図書館職員の接遇に対する満足度 （来館者アンケートより）	62.8% （満足・やや満足の合算）	72% （満足・やや満足の合算）	114.6%

- ・開館日数の増加及び開館時間延長については「来館者アンケート」の満足度数値に反映されているとともに、貸出数増加との相関が見られる。
- ・所蔵する特色ある地域の資料（「源頼朝」関連本ほか）を来館者（特に近隣居住者）に効果的に提示する地域資料展示コーナーを新設し、資料を通して地域への関心を訴求した。
- ・地域資料展示の新たな方法として、『三軒茶屋の発展と玉電』をテーマとした写真パネル展示を階段ポスター掲示スペースに展開した。昔の三軒茶屋の風景写真を数多く展示し、事業から図書館の役割を身近なものと感じてもらう機会にすることができた。



階段ポスター掲示スペース
を活用した写真パネル展示

令和4年度の取組みに対する自己評価

① 「地域特性を活かした連携と交流を育む」

- ・4年度は周辺の公共施設、大学や町会・商店会との交流と連携を順次進めていき、定例の事業（おはなし会等）以外に充実した事業サービスを提供できた。特に地域連携を進める端緒として昭和女子大学と複数の事業連携を行い、子どもとその保護者を対象とした事業（「本の病院」「クリスマスのスペシャルイベント」）、YA世代以上を対象とした事業（児童作家の講演会）を新たに実施した。今後はさらに多様な連携先を増やすことで、重点利用者である子ども、子育て層、高齢者を意識した新たな事業の実施、及び新たな図書館利用者層の獲得に取り組んでいく。

② 「地域情報の発信、親しみの持てる図書館像の確立」

- ・4年度は「東急100年」という機会を活用し、東急電鉄所蔵の写真及び「世田谷WEB写真館」のデータを借用してパネルを制作・展示、当時の玉電の姿や近代～現代の三軒茶屋の変遷を時系列で閲覧して頂いた。アンケートでは「懐かしい」「もっと街の歴史を見たい」等の感想があり、「本」だけでない視覚的な資料展示への期待を確認できた。
- ・年間を通じて、地域資料や地域資料コーナーを充実させるための環境整備を進めてきた。利用者に向けた地域資料の展示・紹介については、今後も蔵書を充実させながら多様な手法を用いて積極的に行っていく。

図書館運営協議会からの意見・提案

- ・指定管理になり、サービスレベルは上がったと感じている。下馬図書館の前の公園では盆踊りを行っているほか、近隣の福祉施設ではお祭りを行っているので、地域連携の拡充についてぜひ検討していただきたい。
- ・取組みシートには記載がないが、三軒茶屋の茶沢通りが歩行者天国のときに、下馬図書館から除籍本を提供してもらい、そこで本を読む姿というのが広がっている。それが今、日常化してきているので、地域連携の取組みについて、ぜひ評価していただくとよろしいのではないか。

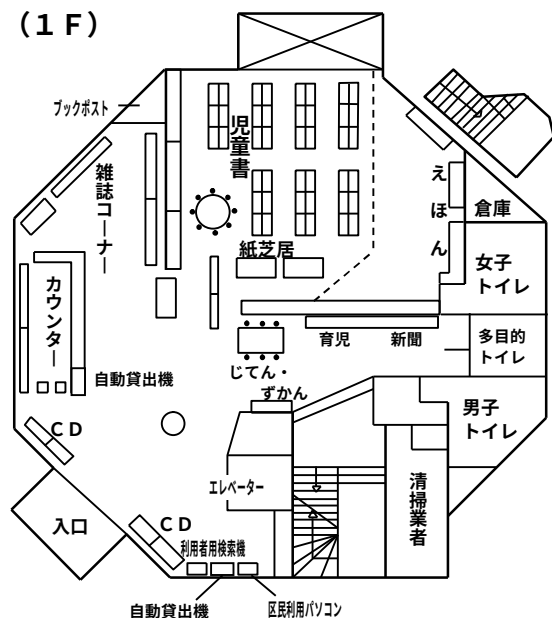
項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,219	2.1%	1,184	2.0%	1,206	2.1%	-35	22
	哲学	2,173	3.7%	2,190	3.8%	2,197	3.8%	17	7
	歴史	5,599	9.4%	5,461	9.4%	5,484	9.5%	-138	23
	社会科学	7,285	12.3%	7,117	12.2%	7,153	12.4%	-168	36
	自然科学	4,418	7.5%	4,417	7.6%	4,401	7.6%	-1	-16
	工学	5,061	8.5%	4,942	8.5%	5,012	8.7%	-119	70
	産業	1,604	2.7%	1,585	2.7%	1,648	2.9%	-19	63
	芸術	6,216	10.5%	6,299	10.8%	5,947	10.3%	83	-352
	語学	1,128	1.9%	1,108	1.9%	1,122	1.9%	-20	14
	文学	21,910	37.0%	21,153	36.3%	20,389	35.4%	-757	-764
	地域資料	2,175	3.7%	2,341	4.0%	2,462	4.3%	166	121
	その他	503	0.8%	518	0.9%	539	0.9%	15	21
	一般図書 計	59,291		58,315		57,560		-976	-755
	児童図書	21,923 (25.1%)		22,252 (25.7%)		22,795 (26.4%)		329	543
	大活字本	835		755		695		-80	-60
	デジタル資料	25		24		24		-1	0
	音響資料	5,260		5,321		5,176		61	-145
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	87,334		86,667		86,250		-667	-417
	雑誌・タイトル数	182		185		186		3	1
図書資料 貸出数	一般図書	92,426		109,018		116,189		16,592	7,171
	児童資料	95,115		117,099		119,941		21,984	2,842
	大活字本	340		572		943		232	371
	デジタル資料	5		11		4		6	-7
	雑誌	11,886		12,602		13,948		716	1,346
	音響資料	8,338		8,860		7,657		522	-1,203
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	208,110		248,162		258,682		40,052	10,520
登録者数	一般	10,751		10,201		10,043		-550	-158
	児童	2,763		2,716		2,655		-47	-61
来館者数		—		158,681		190,298		—	31,617
予約数		80,990		88,041		80,605		7,051	-7,436
コピー枚数		5,402		9,969		9,304		4,567	-665
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.2		15.2		17.6		0.0	2.4

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

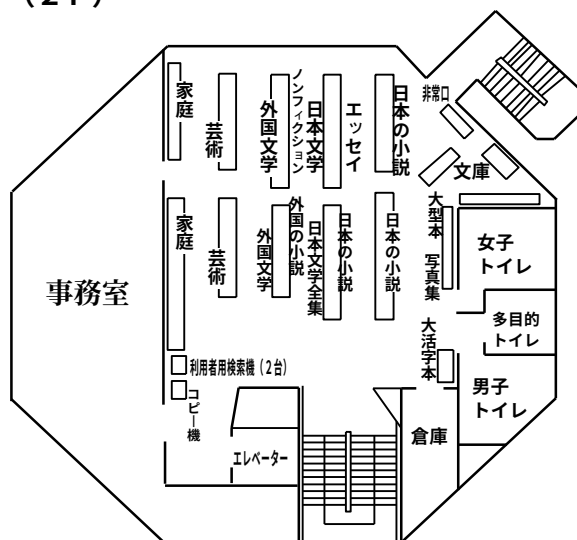
参考（下馬図書館）「世田谷のとしょかん（世田谷区立図書館事業概要）」より抜粋

開 設	昭和55年5月24日
所在地	下馬2-32-1（単独施設）
構 造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建
床面積	1,092.05㎡
対面朗読室	1室
閲覧席	54席（パソコン利用可能席：6席、コンセント口数：0）
資料数	図書資料 81,074
	音響資料 5,176
	合 計 86,250

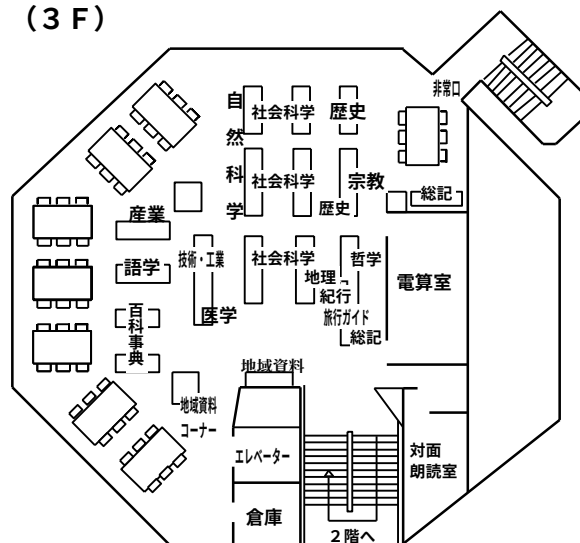
（1 F）



（2 F）



（3 F）



10 深沢図書館（住所：深沢4-33-11 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「地域に根ざした図書館づくり」
 ②「利用者ニーズに応える図書館運営」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「地域に根ざした図書館づくり」

課題 駅から離れており、利用が近隣の住民に固定しがちだが、地域の方々と連携し、学校や児童館と協力して、幅広い層に働きかけ、地域の活性化の拠点となることが求められている。

目標 区民センターや児童館との共催イベントを通じて、図書館をアピールし、利用者層の拡大を図る。また、出張おはなし会や、図書館見学・職場体験の受入など学校との連携を強化する。

②「利用者ニーズに応える図書館運営」

課題 社会全体の活字離れが進むなか、図書館の魅力を発信し、利用者ニーズに応える蔵書を収集することで、読書文化を守り、利用者に情報や知識を届け、より豊かな生活を手に入れられる図書館をつくっていくことが求められている。

目標 展示コーナーにおいて図書館の特色を生かした魅力を発信するとともに、障がい者・高齢者・多文化サービスの充実を図る。さらに利用者のニーズを反映した資料収集を行う。

令和4年度取組みの実施状況 ①「地域に根ざした図書館づくり」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
おはなし会	実施回数	15回	56回	373%
	参加人数	107名	563名	526%
図書館見学	実施回数	アンケートのみ	1校	—
	参加人数		108名	
区民センター・児童館との共催行事	実施回数	休止	4回	—
	参加人数		281名	
出張おはなし会	実施回数	休止	2校6公演	—
	参加人数		231名	
区立小・中学校への調べ学習支援貸出実績	貸出回数	18件	18件	100%
	貸出冊数	690冊	684冊	99.1%

- ・区民センター・児童館との共催行事は、敬老の日記念(近所のデイホームに渡すプレゼントを区民と作成)・クリスマス会(会場運営等)・新年子どもまつりと深沢文化祭(リユース本の配布コーナー)を行った。
- ・子ども読書リーダー(小学生3名)を受入れし、継続的に図書館業務に参加してもらった。また、中学生の職場体験として、2名を受け入れた。
- ・建物内にある深沢児童館にスタンプカードを配布してもらい、図書館に持ってきた子どもたちにリユース本や工作などの入った福袋をプレゼントした(夏のふかふかキャンペーン)。(201袋)

令和4年度取組みの実施状況 ②「利用者ニーズに応える図書館運営」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
一般・児童資料 貸出数	一般	140,892 冊	143,305 冊	101.7%
	児童	143,065 冊	147,536 冊	103.1%
本の種類や数についての満足度 (来館者アンケートより)		76.1% (満足・やや満足・普通合算)	83.6% (満足・やや満足・普通合算)	109.8%

- ・児童文学作家で名誉区民に顕彰された中川李枝子氏の著書を幅広く収集している(「ぐりとぐらコーナー」200冊程度)。また、子どもたちが書いたお手紙を中川李枝子氏に送ったところ、インタビューが実現し、中央図書館発行の広報紙で特集され特別な記念となった。
- ・書架には近隣の東京学芸大学附属世田谷中学校の生徒たちが書いたおすすめ本のPOPを飾った。また、LLブック(記号や表現を工夫したわかりやすく読みやすい本)のコーナーを新設し、さわれる絵本や点字の本もあり、配慮が必要な方への理解を広めることができた。
- ・選書は偏らないよう複数人で行い、特に、自館の予約が多いものやレファレンスに役立つものを積極的に受入している。また、除籍のときは、貸出回数や、本の内容などを考慮するようにしている。



ぐりとぐらコーナー



LLブックコーナーの表示

令和4年度の取組みに対する自己評価

①「地域に根ざした図書館づくり」

- ・コロナ禍で休止していたイベントを、規模を縮小しながら再開した。制限のあるなかで、地域の活気を取り戻しはじめることができた。図書館見学後に、子どもたちが個別に遊びにきたので、図書館に興味を持ってくれた様子だった。行事を通じて、多くの子どもたちに、本の楽しさや読み聞かせの面白さを伝えることができた。また、調べ学習等を通じて、教育支援に貢献することができた。

②「利用者ニーズに応える図書館運営」

- ・職員のアイデアで、中川李枝子氏への手紙や LL ブックコーナーの新設などさまざまな企画を実施し、図書館独自の魅力については、利用者に伝えることができた。企画に参加してもらうことで、利用者「自分の図書館」として親しみを感じてもらえた。
- ・資料収集については、特に、深沢図書館の児童書に関しては、一般書の貸出数を上回り、充実している。また、4年度利用者アンケートの「本の種類や数に対する満足度」については、規模の小さい館の中では、「満足」・「不満」どちらも少なく、中程度の評価が多いことから、偏りなく収集はできていると考えるが、今後、利用者のニーズをとらえ、「満足」の評価が増えるよう、バランスをとりながら厳選したものを収集していきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

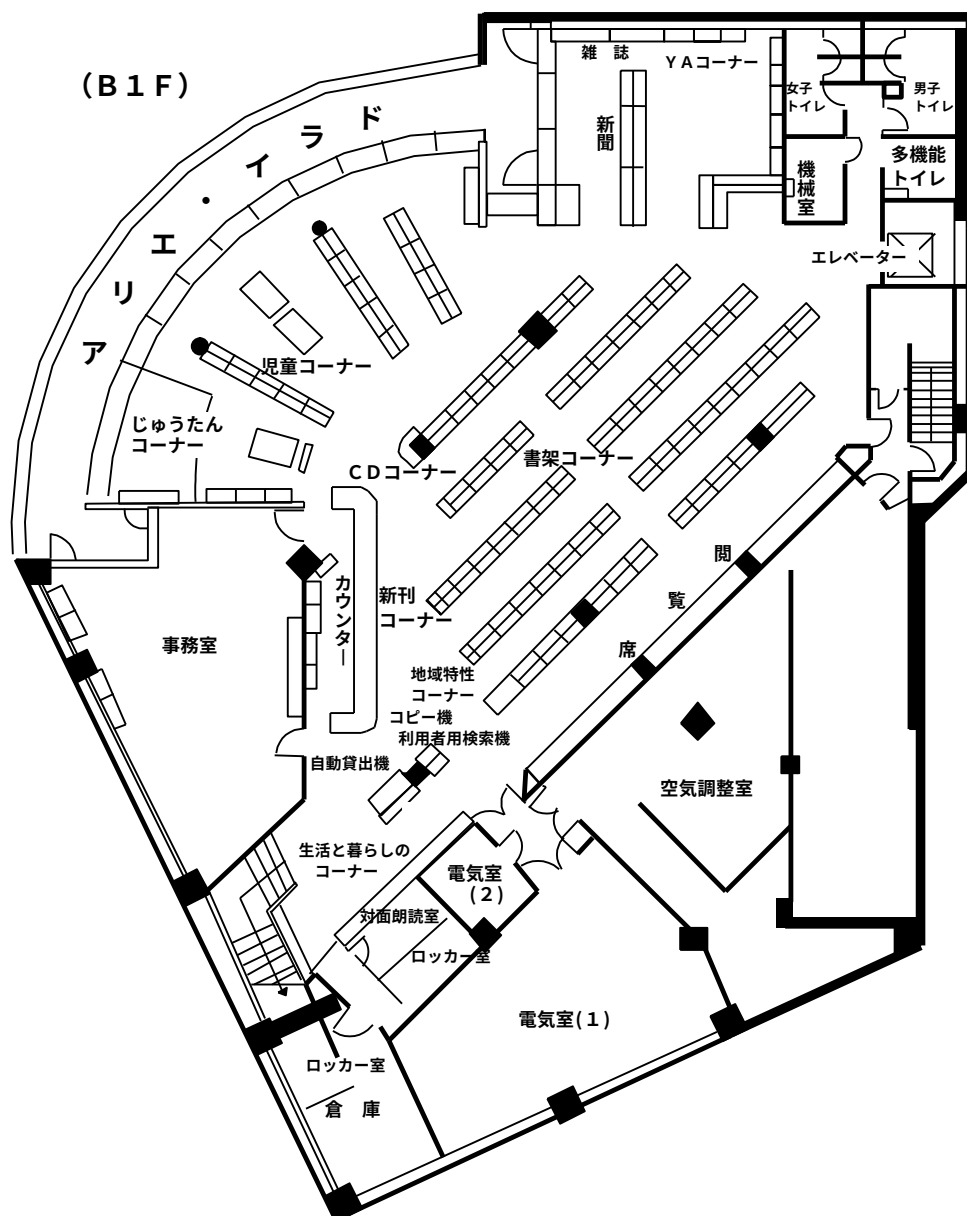
- ・深沢図書館は図書館部分が狭く、居場所がほとんどないので、滞在できるスペースをつくってもらえると良い。また、滞在スペースをつくる際に、資料数が少なくなる場合には、一つの図書館で完結する必要はなく、近隣の図書館でバランスを取って蔵書構成ができると良いのではないかな。
- ・施設が狭いということだが、来館者アンケートでは深沢図書館の全体的な満足度が大きく上昇しており、資料の満足度も上がっているなので、数値の変動にも触れられると良い。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,103	2.1%	1,106	2.1%	1,058	2.0%	3	-48
	哲学	1,716	3.2%	1,800	3.3%	1,688	3.2%	84	-112
	歴史	4,397	8.2%	4,274	7.9%	4,245	8.0%	-123	-29
	社会科学	6,314	11.8%	6,325	11.8%	6,122	11.6%	11	-203
	自然科学	3,347	6.2%	3,390	6.3%	3,348	6.3%	43	-42
	工学	5,632	10.5%	5,756	10.7%	5,686	10.8%	124	-70
	産業	1,487	2.8%	1,499	2.8%	1,438	2.7%	12	-61
	芸術	4,712	8.8%	4,784	8.9%	4,690	8.9%	72	-94
	語学	1,179	2.2%	1,179	2.2%	1,156	2.2%	0	-23
	文学	21,377	39.9%	21,364	39.7%	21,234	40.2%	-13	-130
	地域資料	1,784	3.3%	1,824	3.4%	1,598	3.0%	40	-226
	その他	506	0.9%	509	0.9%	527	1.0%	3	18
	一般図書 計	53,554		53,810		52,790		256	-1,020
	児童図書	25,916 (31.3%)		25,463 (30.9%)		26,045 (31.8%)		-453	582
	大活字本	551		533		511		-18	-22
	デジタル資料	14		14		10		0	-4
	音響資料	2,822		2,598		2,638		-224	40
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	82,857		82,418		81,994		-439	-424
	雑誌・タイトル数	184		180		183		-4	3
図書資料 貸出数	一般図書	121,131		140,892		143,305		19,761	2,413
	児童資料	117,892		143,065		147,536		25,173	4,471
	大活字本	400		369		530		-31	161
	デジタル資料	1		7		7		6	0
	雑誌	11,295		12,959		12,308		1,664	-651
	音響資料	6,857		8,118		6,909		1,261	-1,209
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	257,576		305,410		310,595		47,834	5,185
登録者数	一般	7,532		7,394		7,328		-138	-66
	児童	2,315		2,348		2,320		33	-28
来館者数		—		186,597		197,099		—	10,502
予約数		89,317		97,951		92,408		8,634	-5,543
コピー枚数		7,594		8,932		12,596		1,338	3,664
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		12.6		13.2		14.0		0.6	0.8

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (深沢図書館) 「世田谷のとしょかん(世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和56年7月19日
所在地	深沢4-33-11
複合施設名称	『深沢区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	622㎡(図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	12席(パソコン利用可能席:4席、コンセント口数:0)
資料数	図書資料 79,356 音響資料 2,638 合 計 81,994



1.1 桜丘図書館（住所：桜丘5-14-1 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- ① 「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」
- ② 「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

- ① 「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

課題 幅広い年齢層の方に利用していただいているが、主な利用者層のニーズを把握するとともに、地域特性等も踏まえた蔵書構成を図っていく必要がある。

目標 主な利用者層や幅広い年齢層のニーズを意識した選書を行う。また、近隣の小中学校との連携を図り、地域に要望のある蔵書構成を図っていく。

- ② 「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

課題 新型コロナウイルス感染症対策により、マスクなどの着用により表情が伝わりにくく、利用者との接し方に難しさを感じることがあった。

目標 利用者に不快感のないよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも考慮し、親切で丁寧な接客を行う。

令和4年度取組みの実施状況 ①「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
認知症講演会（認知症当事者による絵本の紹介や読み聞かせの実施）	—	参加者 56名	—
地域資料蔵書数	1,393点	1,439点	103.3%
本の種類や数についての満足度（来館者アンケートより）	56.3% （満足・やや満足）	70.7% （満足・やや満足）	125.6%
探していた情報や地域を得ることができた（来館者アンケートより）	79.1% （そう感じる・やや感じる）	80.4% （そう感じる・やや感じる）	101.6%

- ・認知症講演会（図書館での課題解決事業でもある）では、公益社団法人認知症の人と家族の会から出ている推薦図書のリストをもとに、区内に所蔵のない認知症関連の図書を購入した。
- ・地域資料として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を収集した。
- ・主な利用者である高齢者を対象とした蔵書のほか、児童本や文学等の幅広い層を対象とした蔵書の収集を図った。



森繁久彌コーナー

令和4年度取組みの実施状況 ②「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館職員の接遇の満足度 (来館者アンケートより)	60.9% (満足・やや満足)	76.1% (満足・やや満足)	125%
大声で騒いだり、館内を走り回るなど不適正な利用者への職員対応の満足度 (来館者アンケートより)	33.2% (満足・やや満足)	41.3% (満足・やや満足)	124.4%
図書館内の居心地についての満足度 (来館者アンケートより)	41.4% (満足・やや満足)	56.5% (満足・やや満足)	136.5%

- ・職員の接遇について、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、利用者に不快感を与えないよう丁寧な接遇を心掛けた。
- ・レファレンスやクレームとなった事例を職員内で共有し、今後の対応について検討を行った。
- ・図書館内の居心地の良さを保つために、受付前の閲覧席の状況に気を配り、不適正な利用者への対応に努めた。

令和4年度の取組みに対する自己評価

①「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

- ・スペース的に専用のコーナーを設ける余裕はないが、図書館が入っている区民センターの運営協議会で、認知症講演会の要望があがっていたので、引き続き認知症関連図書の購入は積極的に行っていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館での事業が行えない中、近隣の小中学校との連携について担当地区の船橋希望中学校・桜丘中学校の図書委員会の担当教諭から申し出があり、4年度は実現できなかったが、来年度以降 YA 図書のポップ作成（単発で実績あり）を行うことを考えている。今後の連携の中で、YA を含む児童図書の選書についてヒントをいただき、中学生・高校生の利用増に繋がれる蔵書構築になればと思う。
- ・都内に9ヶ所しかない「目の教室」（弱視通級指導学級）が近隣の笹原小学校にあるが、コロナ禍ということで交流がなく、担当者も変わって職員が誰も存在を知らない状態となっていたところ、小学校から申し出があり、改めて資料の貸出やおはなし会を行うこととなった。今後、大活字の児童書等、弱視の子ども達が利用できる資料の選書を図書館として意識して増やしていく。

②「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

- ・来館者アンケートでは、職員の接遇等に関する満足度は向上しており、職員が常に新設かつ丁寧な対応を意識した結果につながっていると考えている。
- ・住宅地にある図書館であるため、利用者がほぼ近隣の住民で常連の方も多いため、職員に気の緩みが生じるところがあり、アンケートで受付での私語が目立つとの指摘があった。利用者に不快な思いをさせないということも引き続き心がけていきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

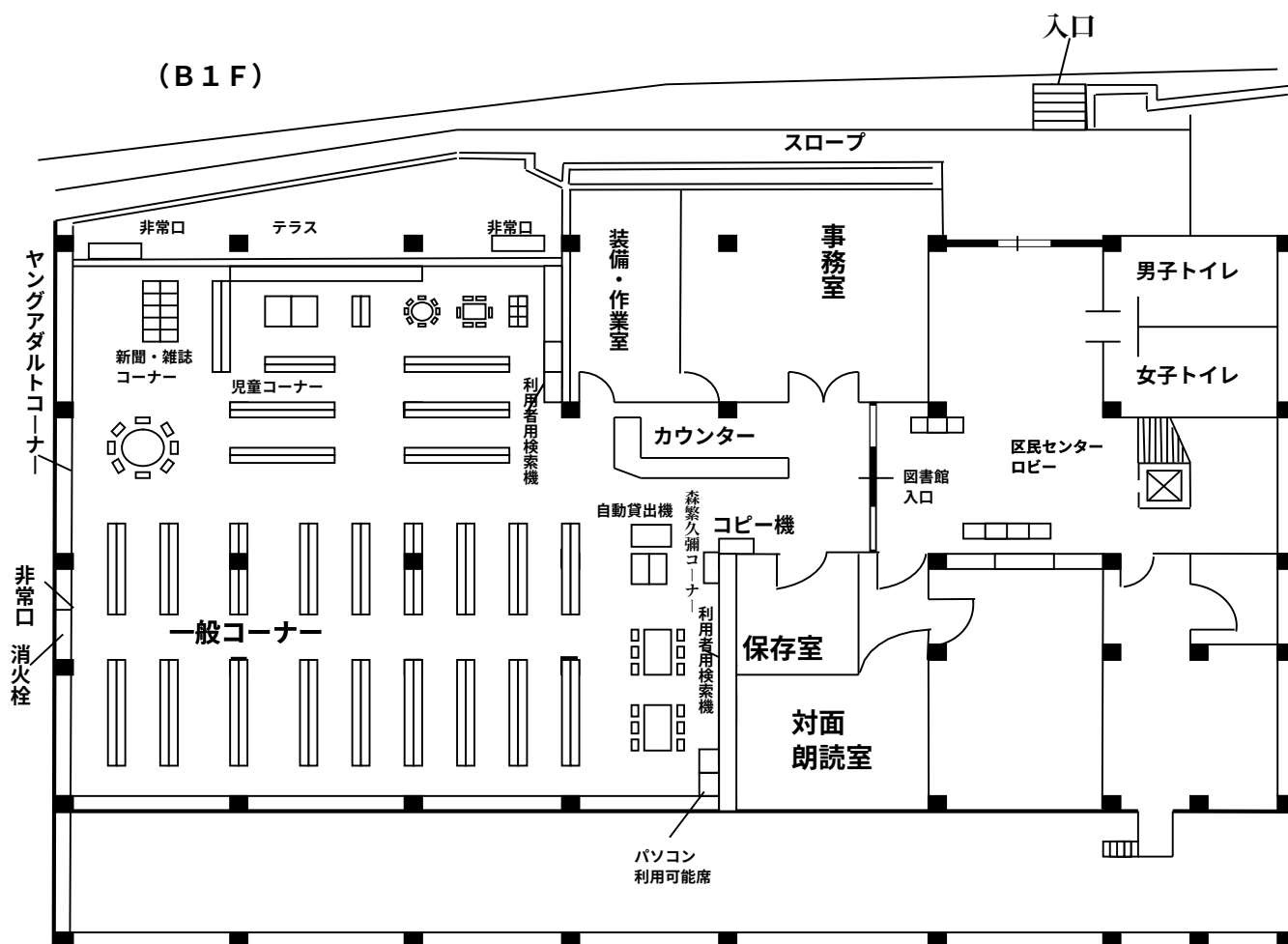
- ・蔵書構成に関する運営方針を掲げている点について評価したい。
- ・蔵書構成を一つの利用者層に絞る必要はなく多様で良い。バランスを取りながら、地域特徴と利用者層に特化した事業、新たな顧客をどう開拓するかなど、幅広く情報を入手して探っていただくと良いのではないかな。
- ・「②常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」の指標が大きく上昇している。これだけの成果が出ているので、桜丘図書館のノウハウみたいなものを他館にも反映させていただけると良い。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,317	2.1%	1,357	2.2%	1,307	2.1%	40	-50
	哲学	2,436	3.9%	2,467	3.9%	2,482	3.9%	31	15
	歴史	6,685	10.7%	6,809	10.8%	6,805	10.8%	124	-4
	社会科学	8,408	13.4%	8,468	13.4%	8,635	13.7%	60	167
	自然科学	4,323	6.9%	4,437	7.0%	4,537	7.2%	114	100
	工学	5,638	9.0%	5,814	9.2%	5,990	9.5%	176	176
	産業	1,617	2.6%	1,634	2.6%	1,678	2.7%	17	44
	芸術	6,250	10.0%	6,266	9.9%	6,085	9.7%	16	-181
	語学	1,209	1.9%	1,250	2.0%	1,175	1.9%	41	-75
	文学	23,061	36.8%	22,758	36.1%	22,448	35.6%	-303	-310
	地域資料	1,380	2.2%	1,393	2.2%	1,439	2.3%	13	46
	その他	375	0.6%	394	0.6%	390	0.6%	19	-4
	一般図書 計	62,699		63,047		62,971		348	-76
	児童図書	23,968 (26.5%)		24,516 (27.0%)		25,977 (28.2%)		548	1,461
	大活字本	932		834		751		-98	-83
	デジタル資料	17		17		17		0	0
	音響資料	2,864		2,475		2,460		-389	-15
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	90,480		90,889		92,176		409	1,287
	雑誌・タイトル数	177		161		166		-16	5
図書資料 貸出数	一般図書	147,696		172,199		172,669		24,503	470
	児童資料	112,450		138,980		129,641		26,530	-9,339
	大活字本	873		1,030		878		157	-152
	デジタル資料	17		9		4		-8	-5
	雑誌	14,482		17,489		16,256		3,007	-1,233
	音響資料	10,718		12,277		11,837		1,559	-440
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	286,236		341,984		331,285		55,748	-10,699
登録者数	一般	9,716		9,274		9,064		-442	-210
	児童	2,428		2,419		2,371		-9	-48
来館者数		—		—		—		—	—
予約数		110,202		124,943		110,276		14,741	-14,667
コピー枚数		7,759		7,461		7,616		-298	155
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.8		15.8		15.8		0.0	0.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考（桜丘図書館）「世田谷のとしょかん（世田谷区立図書館事業概要）」より抜粋

開 設 昭和 5 9 年 1 2 月 1 8 日
所在地 桜丘 5 - 1 4 - 1
複合施設名称 『桜丘区民センター』
構 造 鉄筋コンクリート地上 2 階地下 1 階建
（図書館は地下 1 階部分）
床面積 6 4 0 m²（図書館部分）
対面朗読室 1 室
閲覧席 2 2 席（パソコン利用可能席：2 席、コンセント口数：0）
資料数 図書資料 8 9 , 7 1 6
音響資料 2 , 4 6 0
合 計 9 2 , 1 7 6



12 尾山台図書館（住所：世田谷区等々力2-17-14 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- ①「時勢に応じた蔵書の入れ替えと魅力の発信」
- ②「接遇のさらなる向上」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

- ①「時勢に応じた蔵書の入れ替えと魅力の発信」

課題・選定を行う職員が入れ替え対象となる蔵書分野に詳しい知識を持っていないと、調査や選定に時間を要してしまい、蔵書の入れ替えを十分に行うことができない。

- ・自館が所蔵する蔵書の貸出増に向けて、蔵書の魅力を発信するための取り組みを行っていく必要がある。

目標・法改正があった分野の蔵書など、まずは入れ替え対象と判断しやすい分野に着手する。併せて、今後、他の分野の蔵書入れ替えを進めて行く手法を検討する。

- ・利用者の関心を惹くような様々なテーマで、本の展示を行う。

- ②「接遇のさらなる向上」

課題 接遇については、これまでも取り組んできた課題であり、研修などにより職員も基本的な知識は持っている。その上で、どの程度の向上が望めるか見通しが難しい。

目標 接遇研修の受講を促すと共に、クレームを受けた案件の共有、対応策の検討を繰り返し行い、接遇対応のさらなる向上を図る。

令和4年度取組みの実施状況 ①「時勢に応じた蔵書の入れ替えと魅力の発信」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
探していた情報や知識を得ることができた （来館者アンケートより）	81.4% （そう感じる・やや感じる）	80.2% （そう感じる・やや感じる）	98.5%
学業（仕事）上の成績向上や資格取得に役立った （来館者アンケートより）	36.6% （そう感じる・やや感じる）	39.7% （そう感じる・やや感じる）	108.5%
生活が豊かになった （来館者アンケートより）	73.4% （そう感じる・やや感じる）	71% （そう感じる・やや感じる）	96.7%
今まで知らなかった世界や考え方を知り、関心分野が広がった （来館者アンケートより）	70.3%	74.0%	105.3%
テーマ本展示 実施回数	7回	16回	228.6%
貸出数	330,285点	370,411点	112.1%

- ・実用書のほか、経済関係と法律関係の蔵書について、内容が古くなったものを入れ替え対象として選定した。
- ・テーマ本展示にあたっては、昨年度に引き続き、「図書館職員が発掘した本」をテーマに展示し、利用者からは図書館員が選んだ本という安心感からか、大変好評をいただいた。
- ・そのほかにも、「アメリカ大統領選挙」をテーマとしたものや「かけがえのない大切な絆（3.11）」など、新しい時勢に関するものから風化させてはいけないものまで様々なテーマで展示を行うことができた。



テーマ本展示の様子

令和4年度取組みの実施状況 ②「接遇のさらなる向上」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館員の接遇についての満足度 (来館者アンケートより)	67.1% (満足・やや満足)	64.1% (満足・やや満足)	95.5%
大声で騒いだり、館内を走り回るなど不適 正な利用者への職員対応の満足度(来館者 アンケートより)	33.7% (満足・やや満足)	29.8% (満足・やや満足)	88.4%

- ・迅速、正確な対応を行うため、新たに異動して来た職員の馴化を短期間で行った。
- ・接遇研修を受講させ、職員内で内容の共有を行った。
- ・問題となったケースを係会で共有し、以後の対応について検討を行った。

令和4年度取組みに対する自己評価

①「時勢に応じた蔵書の入れ替えと魅力の発信」

- ・蔵書の入れ替えに際しては、担当職員が知識を持っている分野から行ったが、それでも、古くなった資料に代わる資料を探しきれない事や、利用動向にあわせたレベルの選定に迷う事が多かった。資料の分野、利用頻度、出版年などの情報から、どの職員でも一定のレベルで選定ができる方法を検討する必要を感じた。
- ・来館者アンケートの「探していた情報や知識を得ることができた」の項目では、数値が下がっていることも受けて、利用者に分かりやすい配架や表示物の作成など蔵書の魅力発信の工夫が今後の課題である。
- ・テーマ本展示は、3年度に比べて実施回数を増やすなど、充実した取り組みとなった。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたこともあり、貸出数が伸びていると思われるが、利用者アンケートの「関心分野が広がった」の数値も上がっていることから、テーマ本展示によって利用者の関心も惹くことができたと考えられる。駅から近く、商店街の中に位置する立地特性により、仕事帰りの方や買い物帰りの方など様々な利用者に対して読書の関心が高められるよう、今後も魅力あるテーマ展示を行っていく。

②「接遇のさらなる向上」

- ・接遇についての満足度は前年比で99.5%、不適正な利用者への対応は88.4%と、いずれも低下する結果となった。アンケート調査の結果では、「親切で感じよく、気持ちよく利用させていただいています。」という回答がある一方、「静かにするようにきつい口調で注意された。」との回答もあり、より利用者の立場に立った対応が必要である事を改めて感じた。

図書館運営協議会からの意見・提案

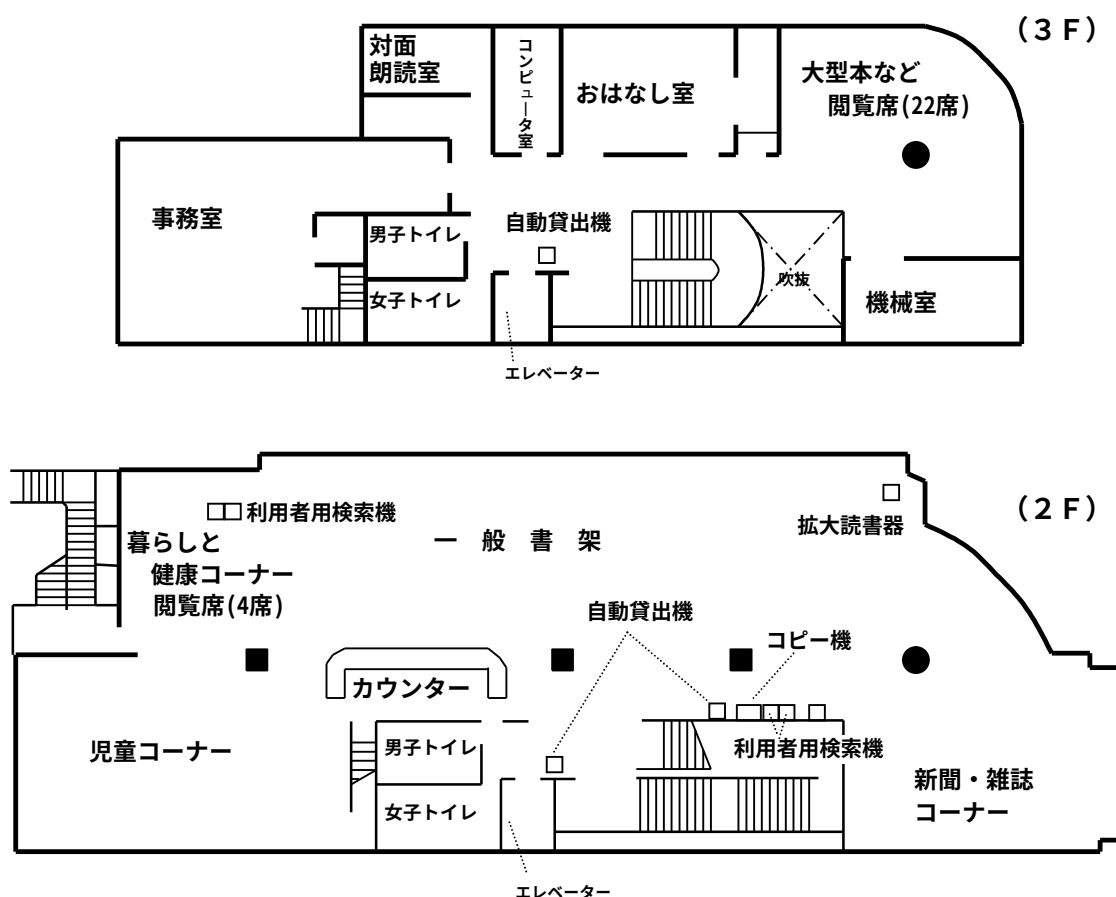
- ・取組みシートには記載がないが、小中学校への調べ学習支援貸出実績が3年度と4年度を比較して増えている。毎年学校に伺って事業説明とあわせて、アピールを強めにしているとのことだが、直営での運営により学校との連携が進めやすいといった側面もあるのではないかと。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,228	1.9%	1,296	2.0%	1,353	2.1%	68	57
	哲学	2,578	4.1%	2,627	4.1%	2,660	4.2%	49	33
	歴史	5,585	8.8%	5,595	8.8%	5,622	8.8%	10	27
	社会科学	7,927	12.5%	7,855	12.3%	7,870	12.4%	-72	15
	自然科学	4,647	7.3%	4,852	7.6%	4,819	7.6%	205	-33
	工学	6,477	10.2%	6,618	10.4%	6,447	10.1%	141	-171
	産業	2,159	3.4%	2,213	3.5%	2,228	3.5%	54	15
	芸術	6,672	10.5%	6,744	10.6%	6,595	10.4%	72	-149
	語学	1,378	2.2%	1,396	2.2%	1,391	2.2%	18	-5
	文学	22,470	35.4%	21,789	34.2%	21,757	34.2%	-681	-32
	地域資料	1,757	2.8%	1,772	2.8%	1,850	2.9%	15	78
	その他	605	1.0%	946	1.5%	1,098	1.7%	341	152
	一般図書 計	63,483		63,703		63,690		220	-13
	児童図書	23,995 (26.0%)		25,133 (27.0%)		25,068 (26.9%)		1,138	-65
	大活字本	591		583		519		-8	-64
	デジタル資料	14		14		14		0	0
	音響資料	4,119		3,779		3,823		-340	44
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	92,202		93,212		93,114		1,010	-98
	雑誌・タイトル数	160		201		207		41	6
図書資料 貸出数	一般図書	173,124		173,976		193,023		852	19,047
	児童資料	130,670		133,045		152,163		2,375	19,118
	大活字本	515		305		334		-210	29
	デジタル資料	5		3		14		-2	11
	雑誌	13,918		13,294		14,407		-624	1,113
	音響資料	11,065		9,593		10,285		-1,472	692
	障々資料	40		69		185		29	116
	貸出数合計	329,337		330,285		370,411		948	40,126
登録者数	一般	13,616		12,864		12,649		-752	-215
	児童	3,042		2,933		2,934		-109	1
来館者数		—		—		273,083		—	—
予約数		133,501		146,888		137,290		13,387	-9,598
コピー枚数		15,278		15,500		20,805		222	5,305
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		19.6		19.6		19.6		0.0	0.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (尾山台図書館) 「世田谷のとしょかん(世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	昭和35年10月(名称 玉川図書館) (昭和63年4月6日現在地へ移転、現在の名称になる)
所在地	等々力2-17-14 複合施設名称 『尾山台地区会館』
構 造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建 (図書館は地上2・3階、地下1階の一部)
床面積	957.8㎡(図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	26席(パソコン利用可能席:2席、コンセント口数:0)
資料数	図書資料 89,291 音響資料 3,823 合 計 93,114



13 上北沢図書館（住所：上北沢3-8-9 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）**

- ①「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」
- ②「多様な活動等を支援する図書館」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

①「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

課題 新型コロナウイルス感染症による社会情勢を注視しながら、第2次図書館ビジョンに掲げる基本理念「知と学びと文化の情報拠点」の実現に向けて、子どもが本に親しむための取組みや読書・地域文化の情報発信を積極的に実施していく必要がある。

目標 ・上北沢図書館圏内にある小中学校及び児童・乳幼児施設等の機関と連携し、相互支援する。
・一般書・児童書のテーマ本の展示・地域在住者の作品展示（影絵、紙芝居）等をとおして、利用者が本にふれあえる機会となるようなネットワークづくりの取組みを実施していく。

②「多様な活動等を支援する図書館」

課題 図書館活動への区民参画の促進や図書館外でも本に触れ合う機会を創出するため、地域で活動する関係機関との連携や、ボランティアへの支援等を行っていく必要がある。

目標 ・地域の生涯学習活動を支援するため、区民センター運営協議会及び児童館などと連携した事業を積極的に展開する。
・地域で活動するボランティアの育成及び図書館での活動を支援する。

令和4年度取組みの実施状況 ①「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
職員による出張おはなし会実施実績（区立小学校）	実施回数	3回	14回	466.7%
	参加児童数	43名	434名	100.9%
職員による出張おはなし会実施実績（児童養護施設）	実施回数	6回	11回	183.3%
	参加人数	55名	76名	138.1%
調べ学習支援貸出実績	件数	14件	16件	114.3%
	冊数	382冊	426冊	111.5%
図書館見学	実施回数	1回	2回	200%
	受入人数	5名	113名	2260%

- ・子ども読書活動の推進として、児童養護施設への出張おはなし会を毎月1回実施した。また、小学校や中学校とは図書館見学の受入れや調べ学習支援の貸出しを実施した。
- ・テーマ本の展示については、一般書は毎月、児童書は2か月ごとに、時季にあったテーマを設定した。地域在住者制作の影絵作品を借用し、児童書コーナーに展示した。

令和4年度取組みの実施状況 ②「多様な活動等を支援する図書館」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
ボランティアとの協働によるおはなし会（幼児から小学生低学年向け）	実施回数	25 回	46 回	184%
	参加人数	127 名	224 名	176.3%
	ボランティア数	16 名	29 名	181.2%
サラダ勉強会（学校おはなし会ボランティア入門講座修了生のスキルアップを図って設立された勉強会）	実施回数	2 回	8 回	400%
	出席者	10 名	44 名	440%
サラダ勉強会との協働によるおはなし会	実施回数	1 回	2 回	200%
	参加人数	10 名	9 名	90%
	ボランティア数	5 名	9 名	180%

- ・ボランティアの図書館活動を支援するために、おはなし会及び勉強会などを協働して実施した。
- ・地域の生涯学習活動支援として、11月の「上北沢区民センター文化祭」ではリユース本配布、2月の「ひなまつり子どもフェスティバル」ではおはなし会（48名参加）を開催、他機関事業（かるた大会）への協力をするなど、連携を深めるとともに図書館のPRに努めた。
- ・「サラダ勉強会」の活動はメンバーが自発的に行っており、サークルの周知や活動場所の提供等を行った。

※「サラダ」という名前は、上北沢図書館のキャラクターが5種類の野菜であることにちなんで命名されたといわれている。



令和4年度の取組みに対する自己評価

①「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

出張おはなし会や調べ学習支援、図書館見学などを通して、地域の学校や施設とのつながりを再開させることができた。今後も継続して、子ども読書活動推進に向けた協力をしていく。また、テーマ本展示についても、本との出会いを増やす場として継続して実施するとともに、地域住民制作の作品展示を通して地域文化の発信に取り組んでいく。

このような取組みや窓口での通常業務を通して、図書館を身近に感じてもらい、図書館利用向上につながるように努めていく。

②「多様な活動等を支援する図書館」

- ・区民センター運営協議会や他機関事業への協力を行い、活動等の支援を行うことができた。今後も継続していくとともに、図書館の利用にもつながるように図書館のPRもしっかり行っていく。
- ・ボランティアについて、学校おはなし会ボランティア講座修了生との勉強会やおはなし会などを協働して行い、ボランティアの育成と支援に努めた。今後も連携等を密にし、図書館活動への区民参画を促進していく。

図書館運営協議会からの意見・提案

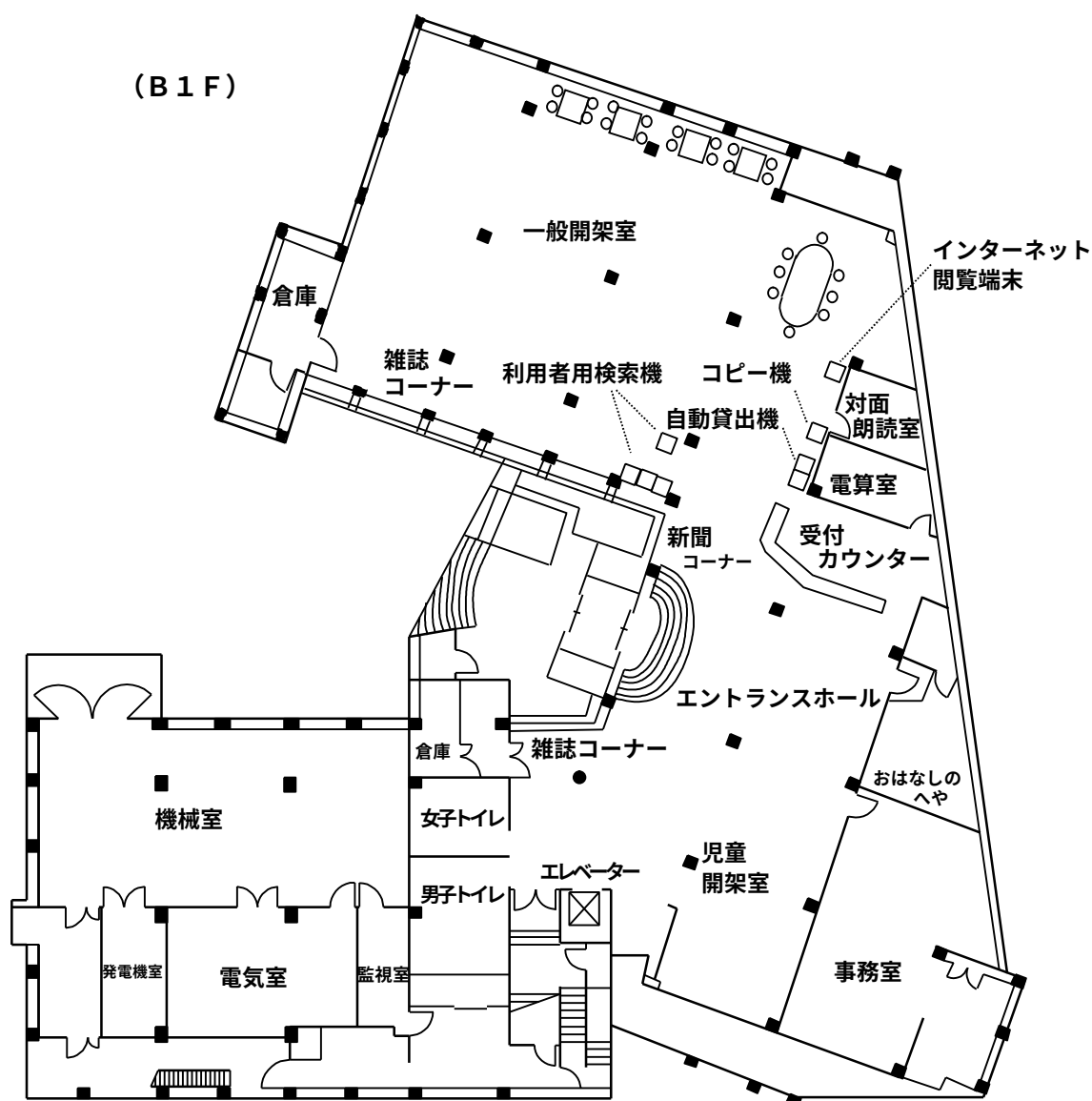
- ・学校おはなし会ボランティア講座が終わった後に、中々活用できないという方もいらっしゃる中で、講座を受けられた方が継続して勉強会を行っているというのはとても良いことである。別の図書館でも、ボランティア活動をそれぞれの館で支えていただきたい。
- ・地域のボランティアや区民センターとの連携などを通して、地域のつながりも兼ねている。それが地域図書館ならではの、地域特性を生かした働きにもつながっていくことになる。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,138	2.0%	1,161	2.0%	1,166	1.9%	23	5
	哲学	1,912	3.4%	1,997	3.4%	2,048	3.4%	85	51
	歴史	4,572	8.0%	4,756	8.1%	4,970	8.2%	184	214
	社会科学	6,262	11.0%	6,614	11.3%	6,965	11.5%	352	351
	自然科学	4,913	8.6%	5,086	8.7%	5,209	8.6%	173	123
	工学	5,525	9.7%	5,670	9.7%	5,928	9.8%	145	258
	産業	1,516	2.7%	1,587	2.7%	1,647	2.7%	71	60
	芸術	5,116	9.0%	5,228	8.9%	5,367	8.9%	112	139
	語学	1,045	1.8%	1,111	1.9%	1,109	1.8%	66	-2
	文学	23,194	40.7%	23,238	39.7%	23,978	39.7%	44	740
	地域資料	1,371	2.4%	1,516	2.6%	1,508	2.5%	145	-8
	その他	491	0.9%	509	0.9%	549	0.9%	18	40
	一般図書 計	57,055		58,473		60,444		1,418	1,971
	児童図書	22,307 (27.0%)		21,242 (25.6%)		20,572 (24.5%)		-1,065	-670
	大活字本	296		312		273		16	-39
	デジタル資料	18		18		18		0	0
	音響資料	3,008		2,999		2,796		-9	-203
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	82,684		83,044		84,103		360	1,059
	雑誌・タイトル数	175		175		175		0	0
図書資料 貸出数	一般図書	124,583		139,755		145,926		15,172	6,171
	児童資料	70,477		82,772		80,086		12,295	-2,686
	大活字本	355		526		309		171	-217
	デジタル資料	3		6		9		3	3
	雑誌	13,204		14,338		13,637		1,134	-701
	音響資料	8,957		8,270		8,845		-687	575
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	217,579		245,667		248,812		28,088	3,145
登録者数	一般	9,248		8,779		8,581		-469	-198
	児童	1,890		1,862		1,819		-28	-43
来館者数		—		—		173,172		—	—
予約数		75,987		83,175		78,836		7,188	-4,339
コピー枚数		10,719		14,094		14,031		3,375	-63
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		17.6		16.8		16.8		-0.8	0.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考（上北沢図書館）「世田谷のとしょかん（世田谷区立図書館事業概要）」より抜粋

開 設	平成元年 7 月 2 1 日
所在地	上北沢 3 - 8 - 9
	複合施設名称 『上北沢区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上 2 階地下 1 階建 (図書館は地下 1 階部分)
床面積	8 9 1 m ² (図書館部分)
対面朗読室	1 室
閲覧席	2 8 席 (パソコン利用可能席 : 8 席、コンセント口数 : 1 6)
資料数	図書資料 8 1 , 3 0 7 音響資料 2 , 7 9 6 合 計 8 4 , 1 0 3



14 粕谷図書館（住所：世田谷区粕谷 4-13-6 運営体制：直営）**令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）**

地域に親しまれる知と学びと文化の図書館づくり

- ①「子どもが本に出会う機会となる図書館づくり」
- ②「区民の悩みや課題の解決を助ける図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

①「子どもが本に出会う機会となる図書館づくり」

課題 3年度は、新型コロナウイルス感染症により、子ども向けの読書の普及活動・イベントが十分に実施できておらず、これを感染拡大防止対策に十分配慮しつつ如何に復活させるか。

目標 新型コロナウイルス感染症により中止していたイベントを、密を避けつつ創意工夫により現環境下でできることを洗い出して徐々にでも再開させる。

②「区民の悩みや課題の解決を助ける図書館づくり」

課題 区民は様々な悩みや課題を抱えているが、知や学びを提供する図書館として、図書の充実・提供だけでなくもっと積極的なアプローチを図る必要がある。

目標 図書館職員は図書館サービスに従事する行政職員であり、行政職のキャリア（住民サービスの経験）を活かして区民の課題解決の支援を図る。

令和4年度取組みの実施状況 ①「子どもが本に出会う機会となる図書館づくり」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
定例おはなし会 (対象：①幼児以上、 ②乳児)	実施回数	①2回 ②3回	①3回 ②実施なし	①50%増
	参加者数	①子ども 27名 大人 17名 ②子ども 29名 大人 25名	①子ども 35名 大人 27名 ②実施なし	①子ども 29.6%増, 大人 58.8%増
出張おはなし会	実施回数	2回	2回	増減なし
	参加者数	子ども 34名	子ども 166名	388.2%増
本の福袋作成・貸出	実施回数	実施なし	3回	—
	貸出冊数		延 260袋 780冊	
粕谷区民センター子どもまつり「人形劇」	実施回数	実施なし	1回	—
	参加者数		子ども 20名 大人 20名	—

- ・新型コロナウイルス感染症対策上、館内でのおはなし会実施が困難だったため、打開策として、併設する区民センターの会議室や児童館のスペースを借用し、おはなし会を実施した。
- ・子どもが本に関心をもつ工夫として、児童書の福袋セットを作成し、貸出を実施した。どんな本かわからないドキドキ感と今まで読んだことのない本と出会えるワクワク感が好評であり、延べ 260 袋 780 冊の貸出となる大ヒットとなった。
- ・区民センターまつり・子どもまつりにおいて、昨年度中止した人形劇を復活した。参加者を完全予約制にした上で席の間隔をあけ、参加者にも手指の消毒に協力を求めて集団感染を起こすことなく無事に実施できた。

令和4年度取組みの実施状況 ②「区民の悩みや課題の解決を助ける図書館づくり」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
図書館活用講座	実施回数	1回	1回	増減なし
	参加者数	11名	14名	27.3%増
課題解決支援講座（各館 担当者からなるPT）	実施回数	実施なし	1回	—
	参加者数		13名	—

- ・当館職員が過去に高齢者福祉部門に従事していた経験から、区民の誰もが直面する重要課題として認知症に着目し、図書館活用講座として世田谷区社会福祉協議会成年後見センターによる「成年後見制度を学ぶ」講座の企画実施、認知症対策に関する本の紹介展示を行った。
- ・劣悪な労働環境のブラック企業が社会問題となっていることから、特に社会経験の乏しい若年層を対象に、自己防衛の知識を身につけるため、現役の社会保険労務士による（区民の）課題解決支援講座「知って役立つ労働法」の企画実施、労働法に関する本の紹介展示を、当館担当を含めたPT（プロジェクトチーム）により実施した。

令和4年度取組みに対する自己評価

- ・区民が図書館に最も望むサービスは、いうまでもなく図書館を開館し本の貸出・返却を行うことである。新型コロナウイルス感染症の影響による図書館職員の欠員等により人的に運営が厳しい状況もあったが、なんとかやりくりして日常業務や各種イベントを実施することができた。

①「子どもが本に出会う機会となる図書館づくり」

- ・収束に向かう新型コロナウイルス感染症を図書館イベントの実施により集団感染を発生させることが何よりも恐ろしかった。一方で、利用者からは子ども向けイベントの復活要望が根強くあり、感染対策とイベント実施の両立は大変神経を使った。結果として集団感染を発生させることなく創意工夫により様々な子ども向けイベントを復活できたことは何よりも大きな成果だったと考える。

②「区民の悩みや課題の解決を助ける図書館づくり」

- ・図書館と利用者のサービスの関係性では、図書館が用意する蔵書を利用者が自主的に探しあてて借りていく構図が一般的と思われる。一方で、情報の洪水の如く蔵書は沢山あり、利用者が抱える課題に対してどのような本が実用的かは実際読んでみないとわからないケースが多い。そこで、行政職員としての経験や人脈を活かし、区民の課題解決を支援する現役プロによる講座と現役プロが推薦する本を紹介展示して、区民自らが勉強できる道筋をつくるべく企画した。参加者からは話が具体的で興味深い、自分で学ぶとともに相談先がわかってよかったと好評であり、取組みは成功したと評価する。

図書館運営協議会からの意見・提案

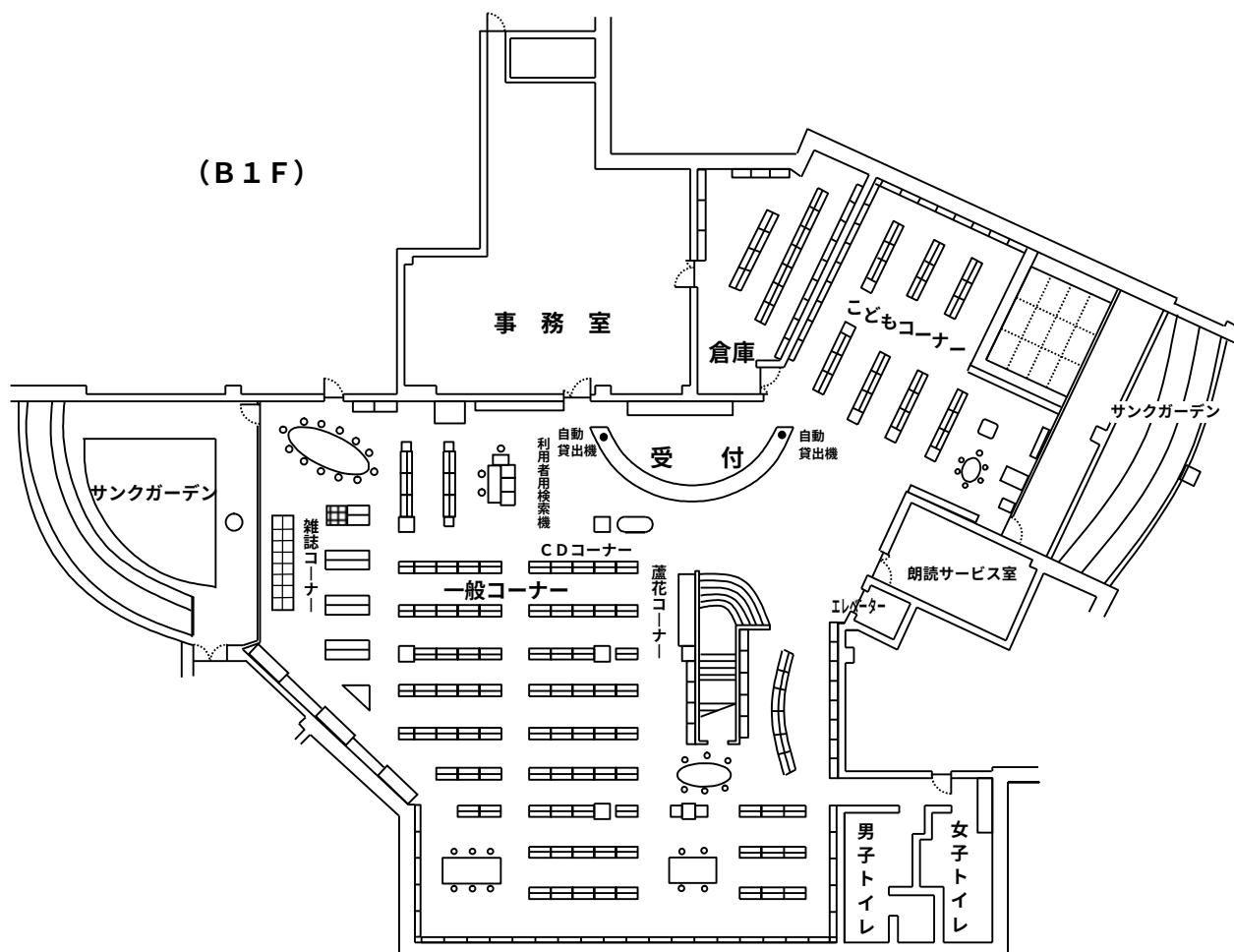
- ・自己評価欄に「行政職員としての経験や人脈を活かし、区民の課題解決を支援する現役プロによる講座と現役プロが推薦する本を紹介」とあり、これは直営ならではの良さではないか。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,685	2.4%	1,674	2.3%	1,715	2.4%	-11	41
	哲学	2,732	3.8%	2,724	3.8%	2,799	3.9%	-8	75
	歴史	6,236	8.8%	6,355	8.8%	6,523	9.0%	119	168
	社会科学	8,812	12.4%	9,031	12.6%	9,104	12.6%	219	73
	自然科学	5,195	7.3%	5,186	7.2%	5,287	7.3%	-9	101
	工学	6,240	8.8%	5,976	8.3%	6,092	8.4%	-264	116
	産業	2,146	3.0%	2,224	3.1%	2,249	3.1%	78	25
	芸術	7,343	10.3%	7,357	10.2%	7,239	10.0%	14	-118
	語学	1,407	2.0%	1,452	2.0%	1,398	1.9%	45	-54
	文学	27,249	38.2%	27,678	38.5%	27,748	38.3%	429	70
	地域資料	1,711	2.4%	1,763	2.5%	1,778	2.5%	52	15
	その他	489	0.7%	522	0.7%	532	0.7%	33	10
	一般図書 計	71,245		71,942		72,464		697	522
	児童図書	23,967 (24.1%)		24,323 (24.2%)		24,624 (24.3%)		356	301
	大活字本	415		423		454		8	31
	デジタル資料	13		13		13		0	0
	音響資料	3,665		3,744		3,775		79	31
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	99,305		100,445		101,330		1,140	885
	雑誌・タイトル数	189		131		132		-58	1
図書資料 貸出数	一般図書	144,106		155,667		170,944		11,561	15,277
	児童資料	108,435		121,016		128,872		12,581	7,856
	大活字本	325		436		350		111	-86
	デジタル資料	0		3		3		3	0
	雑誌	12,347		14,243		13,550		1,896	-693
	音響資料	9,344		9,246		9,206		-98	-40
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	274,557		300,611		322,925		26,054	22,314
登録者数	一般	7,279		6,995		7,006		-284	11
	児童	2,827		2,754		2,732		-73	-22
来館者数		—		153,589		163,157		—	9,568
予約数		94,374		103,937		96,604		9,563	-7,333
コピー枚数		10,910		11,062		9,828		152	-1,234
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.0		14.6		15.4		-0.4	0.8

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考（粕谷図書館）「世田谷のとしょかん（世田谷区立図書館事業概要）」より抜粋

開 設	平成10年5月29日
所在地	粕谷4-13-6
	複合施設名称 『粕谷区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	1,060㎡(図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	21席(パソコン利用可能席:21席、コンセント口数:3)
資料数	図書資料 97,555 音響資料 3,775 合 計 101,330



15 鎌田図書館（住所：鎌田3-35-1 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- ①「利用者満足の高い図書館サービスの実施」
- ②「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

①「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

課題 新型コロナウイルス感染症対策による座席数の減少や間仕切りの設置など、利用者に不便を強いる図書館運営が続いている。

目標 座席数を工夫するほか、整理整頓、館内美化に努めるとともに、来館者には丁寧なサービスを心掛け、満足度の充足を図る。

②「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

課題 図書館がある施設の真横には仙川が流れており、更に図書館自体は鎌田区民センター内の地下1階に位置するため、常に雨水等が侵入するリスクがある。



鎌田図書館と仙川

目標 施設の状態を細かくチェックし利用者を危険に晒すことのないよう、また雨漏りや吹込みによる蔵書等の汚損が生じないように予防する。

令和4年度取組みの実施状況 ①「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
図書館内の居心地に対する満足度 （来館者アンケートより）	51.5% （満足・やや満足合算）	59.3% （満足・やや満足合算）	115.1%
図書館職員の接遇について （来館者アンケートより）	58.4% （満足・やや満足合算）	57.4% （満足・やや満足合算）	98.2%
不適正な利用者への対応について （来館者アンケートより）	33.6% （満足・やや満足合算）	35.2% （満足・やや満足合算）	104.7%

- ・座席数の減少を解消すべく、空きスペースに長机と椅子を配置し臨時的閲覧席として活用したことにより席数に関する不満の声はなかった。
 - ・始業前には利用者が使用するPC、コピー機の清掃、窓口カウンターの清拭等を行うとともに、1日4回の書架整理を実施し、館内美化と整理整頓に努めている。
 - ・大声を上げる等他の利用者の迷惑となる行為については積極的に注意し、こちらの要請に従わない場合は退館を求める等、館内秩序の維持に努めた。
- 一方で、職員の接遇については、職員の挙動に関するクレームにつながってしまった事例があり、効果が及ばない点があった。



館内美化に関する館内の状況①



館内美化に関する館内の状況②

令和4年度取組みの実施状況 ②「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
【再掲】図書館内の居心地に対する満足度(来館者アンケートより)	51.5% (満足・やや満足合算)	59.3% (満足・やや満足合算)	115.1%
図書館の施設や設備について (来館者アンケートより)	50.5% (満足・やや満足合算)	57.4% (満足・やや満足合算)	113.6%

- ・施設の安全面では、点検項目を設けて館内を定期的に巡回し、異常が生じた場合は建物の施設担当者に速やかに連絡し、修繕等の対策を施した。また、児童の単独利用や少人数での利用が多い時間帯の館内巡回を強化した。
- ・職員総出の避難訓練を行い、災害時の避難通路の確保や役割分担を明確にした。
- ・防犯等の視点から、書棚の一部を移動しカウンターから見通せる範囲を広げた。

令和4年度取組みに対する自己評価

①「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

- ・来館者が利用する PC の定期的な清掃や、書架整理を日ごろから行い、利用者からは問題とする指摘はなく、来館者アンケートでも居心地に対する満足度向上の一助となっているのではないかと考える。
- ・来館者アンケートでは閲覧席の増加を望む声が多く、その中で新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、施設の空いているスペースを有効活用して臨時的閲覧席を設けるなど、利用者満足度の維持向上を図ることができた。
- ・館内秩序の維持に努め、来館者アンケートでは不適正な利用者への対応に関する満足度が、3年度に比べて向上することができた。
- ・職員の接遇について、概ね良好であったが、一部職員の業務従事時の挙動が利用者からのクレームにつながる事例があり、来館者の満足度も3年度に比べて減少してしまった。今後は、利用者の視点にたった丁寧な接遇を心掛け、利用者から信頼を得られるように取組んでいく。

②「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

- ・職員が館内を定時、更に必要に応じ随時巡回することにより施設の状態を把握、建付け等の不具合を発見し早めの対処をすることができた。来館者アンケートでも施設や設備に関する満足度が3年度に比べて向上できている。また巡回は不審者等に対する防犯の効果もあったと考えている。
- ・避難訓練の実施などを通して、常日頃から職員の危機管理の意識をもって、職務にあたるができている。今後も利用者が安心して図書館に来館していただける図書館づくりを行っていく。

図書館運営協議会からの意見・提案

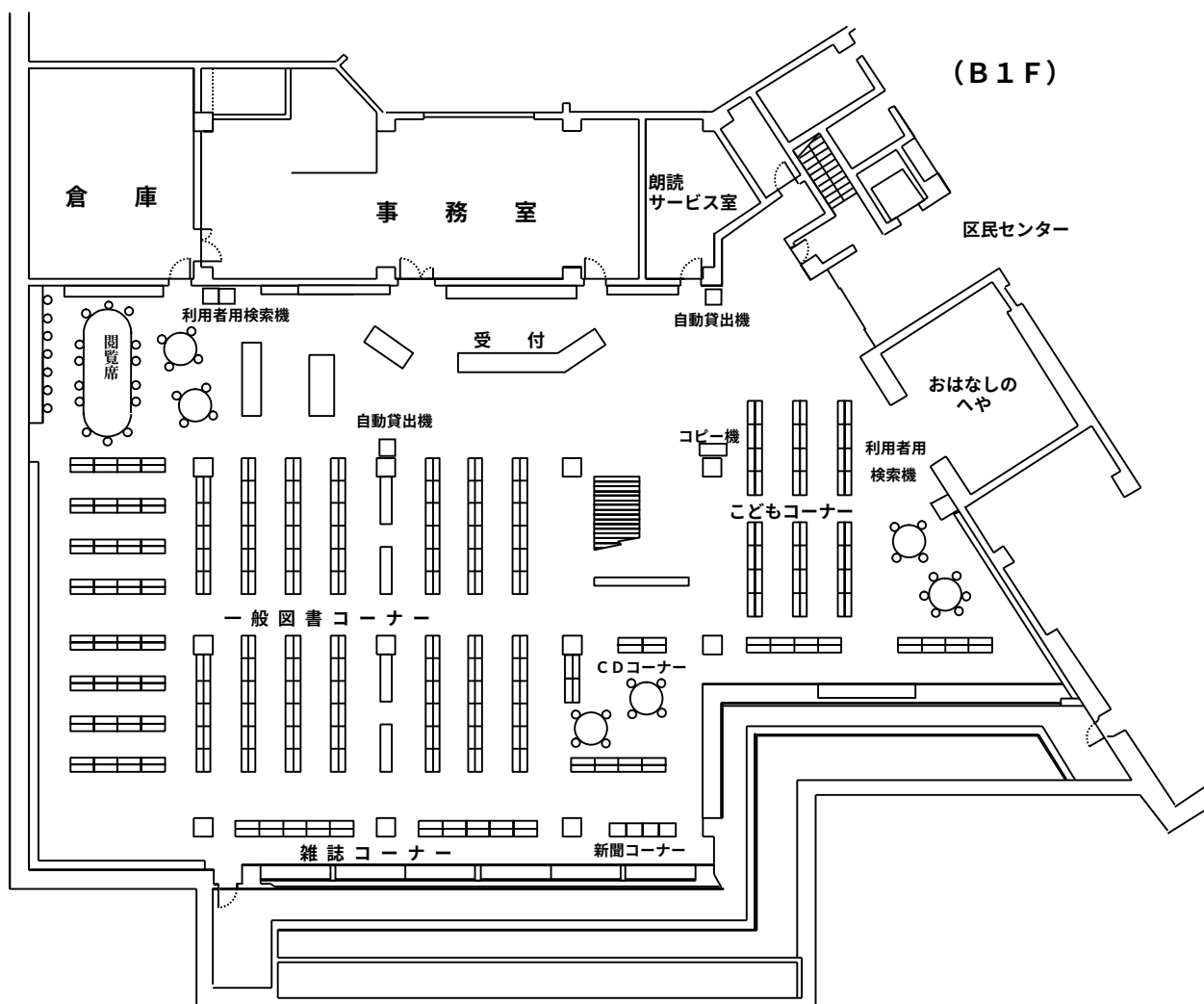
- ・取組みシートには、常に雨水等が侵入するリスクがある。と記載があるが、近年大規模な自然災害が多い中で、図書館単独での対策には限界がある。区の公共施設管理の方針も踏まえ、各部署と連携しながら、区全体で対策を取るようにはしていただきたい。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,261	1.6%	1,240	1.6%	1,277	1.6%	-21	37
	哲学	3,202	4.2%	3,149	4.0%	3,171	4.0%	-53	22
	歴史	7,078	9.2%	7,059	9.1%	7,020	8.8%	-19	-39
	社会科学	10,238	13.3%	10,280	13.2%	10,455	13.1%	42	175
	自然科学	5,653	7.3%	5,600	7.2%	5,659	7.1%	-53	59
	工学	7,444	9.7%	7,335	9.4%	7,458	9.4%	-109	123
	産業	2,429	3.2%	2,331	3.0%	2,360	3.0%	-98	29
	芸術	6,708	8.7%	6,926	8.9%	7,050	8.9%	218	124
	語学	1,377	1.8%	1,410	1.8%	1,458	1.8%	33	48
	文学	29,650	38.5%	30,487	39.1%	31,697	39.8%	837	1,210
	地域資料	1,448	1.9%	1,564	2.0%	1,431	1.8%	116	-133
	その他	526	0.7%	534	0.7%	552	0.7%	8	18
	一般図書 計	77,014		77,915		79,588		901	1,673
	児童図書	24,936 (23.4%)		24,803 (23.1%)		25,935 (23.5%)		-133	1,132
	大活字本	585		582		561		-3	-21
	デジタル資料	18		18		14		0	-4
	音響資料	4,199		4,064		4,031		-135	-33
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	106,752		107,382		110,129		630	2,747
	雑誌・タイトル数	130		189		196		59	7
図書資料 貸出数	一般図書	90,547		65,825		98,002		-24,722	32,177
	児童資料	98,659		65,562		112,906		-33,097	47,344
	大活字本	543		294		275		-249	-19
	デジタル資料	3		0		2		-3	2
	雑誌	10,910		5,091		11,580		-5,819	6,489
	音響資料	5,468		3,490		5,239		-1,978	1,749
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	206,130		140,262		228,004		-65,868	87,742
登録者数	一般	6,148		5,497		5,456		-651	-41
	児童	2,352		2,158		2,182		-194	24
来館者数		—		—		162,835		—	—
予約数		58,156		84,375		57,488		26,219	-26,887
コピー枚数		5,615		572		6,021		-5,043	5,449
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		16.0		13.2		15.2		-2.8	2.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (鎌田図書館) 「世田谷のとしょかん(世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設	平成10年6月7日
所在地	鎌田3-35-1
	複合施設名称 『鎌田区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	1,076㎡(図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	35席(パソコン利用可能席:7席、コンセント口数:8)
資料数	図書資料 106,098 音響資料 4,031 合 計 110,129



16 経堂図書館（住所：世田谷区宮坂 3-1-30 運営体制：指定管理）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- ① 「利用者に親しまれ、利用度・利便性の向上と充実」
- ② 「地元商店街や学校教育、区内施設との連携を強化」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

- ① 「利用者に親しまれ、利用度・利便性の向上と充実」

課題 座席管理システムを導入した受付制ビジネス閲覧席を提供しているが、コロナ対策で座席数を削減したことにより、利用度・利便性の向上を目指した取り組みが困難であった。また、より親しまれる図書館づくりのために、職員の接遇の向上が課題と考えている。

目標 座席数をコロナの状況に応じて回復させ、また新たなサービス「flier（ビジネス本の要約サービス）」を導入することで、ビジネス支援と読書推進を図る。職員の接遇研修で窓口対応等の向上を図り、利用者により満足いただける図書館づくりを目指す。

- ② 「地元商店街や学校教育、区内施設との連携を強化」

課題 コロナによるイベント制限のため中止した事業もあり、特に商店街との連携は地域行事への協力などのアウトリーチによる連携が進まなかった。また、小田急電鉄、経堂コルティなど新たな連携先や学校図書館と繋がりがあったものの、具体的な連携の実現には至らなかった。

目標 中止・延期した事業の開催を中心に、商店街連携は地域行事への参加、店舗との連携など具体的な取り組みを進める。継続している東京農大、大宅壮一文庫との連携はより地域に根差した展開を検討する。

令和4年度取組みの実施状況 ①「利用者に親しまれ、利用度・利便性の向上と充実」

取組みに関する指標	R3	R4	前年比
貸出数（個人）	614,402 点	621,892 点	101.2%
開館時間に対する満足度 （来館者アンケートより）	64.8% （満足・やや満足の合算）	80.5% （満足・やや満足の合算）	124.2%
図書館職員の接遇に対する満足度 （来館者アンケートより）	55% （満足・やや満足の合算）	64% （満足・やや満足の合算）	116.3%
ビジネス閲覧席の利用状況	12,639 回	19,734 回	156.1%

- ・ビジネス閲覧席はコロナの状況に応じて段階的に席数を戻し、4年度には従来の席数に回復したことで利用状況は回復し、利便性も確保した環境を整備できた。
- ・flier サービスは、4年度から導入開始。サービスの周知をより強化するため「flier 活用講座」を開催し、参加者に使い方のコツを学んでもらい利用促進につなげられた。
- ・開館時間の満足度は伸びており、アンケートでも「21時までの開館は便利」という声を多くいただいている。職員の接遇に対する満足度がわずかに向上しており、接遇研修等が日々の業務に反映されてきたことの確認となった。



flier 活用講座の様子

令和4年度取組みの実施状況 ②「地元商店街や学校教育、区内施設との連携を強化」

取組みに関する指標		R3	R4	前年比
地域連携によるイベント	子ども向け	1回	5回	500%
	一般向け	—	4回	—
出張おはなし会	回数	2回	14回	700%
	人数	40人	407人	1017.5%
職場体験・ボランティア等受け入れ	回数	—	4回	—
	人数	—	9人	—
子ども読書リーダー活動	回数	11回	22回	200%
	人数	26人	34人	130.8%

- ・4年度は、商店街連携事業としてナレッジプログラミングスクールと「わくわくプログラミング教室」を開催。また、商店街合同消防訓練会場で「本のリサイクル市」を行い、参加者や地元商店街や町会の方々との連携を深められた。
- ・東京農業大学との連携事業では、「五感で学ぶ！生きもの探検」を開催。また「食と農」の博物館とも連携した「学芸員と巡る図書館員が語る」では、学芸員が展示ツアー、図書館スタッフがブックトークを行い、双方の特色を生かした内容に、参加者からも大変好評をいただいた。
- ・大宅壮一文庫との連携事業では主に高齢者を対象に当時の出来事や流行などをクイズにし、雑誌記事や図書館資料を使って当時を振り返るイベントを行った。参加者からは、また開催して欲しいという声もいただいた。



プログラミング教室



「食と農」の博物館との連携

令和4年度の取組みに対する自己評価

①「利用者に親しまれ、利用度・利便性の向上と充実」

コロナ対策で削減していたビジネス閲覧席の復元により、利用度と利便性が回復し、flierの導入でサービスの充実と新たな利用目的の契機を得た。また、研修を通して日々丁寧な接遇と迅速な対応に努めたことが満足度向上に反映されたと思われる。今後は席数や閲覧席でのサービスの充実、親しまれる利用者対応などによって、より満足度の高いサービスに取り組んでいく。

②「地元商店街や学校教育、区内施設との連携を強化」

中止や延期となった地域連携事業は4年度で開催し、地元商店街などとの地域連携、地域行事への参加等も進めることができた。参加者や連携先から連携を喜ぶ声が多くいただき、地域の課題解決支援の一助となっている手応えもある。以前からの連携先とも新しい事業展開が叶い、今後は小田急電鉄、経堂コルティなど新たな連携を広げ、学校図書館とも具体的な連携を目指していく。

図書館運営協議会からの意見・提案

- ・立地等により来館人数も多いが、線路の下ということもあり施設があまり広くはない。また、区民センターや児童館とは場所が離れている中で、展示やイベントを行うのが難しいが、指定管理事業者の方が一生懸命やっているということを感じた。一方で、商店街も幾つかあるので、それぞれとの連携、学校や小田急とのつながりも持って、地域と連携していけると良い。
- ・本施設の周りには大学や学校があるにも関わらず、図書館に行く学生が多くないと感じる。ビジネスのことに特化しているので、進路に悩んでいる学生にも親和性がある。ぜひ、中高生に向けても色々PRしてもらいたい。

項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,259	2.1%	1,261	2.1%	1,276	2.1%	2	15
	哲学	2,519	4.3%	2,534	4.3%	2,550	4.3%	15	16
	歴史	4,412	7.5%	4,276	7.3%	4,416	7.4%	-136	140
	社会科学	9,453	16.1%	9,558	16.2%	9,567	16.0%	105	9
	自然科学	3,873	6.6%	3,837	6.5%	3,809	6.4%	-36	-28
	工学	5,397	9.2%	5,022	8.5%	5,171	8.6%	-375	149
	産業	1,862	3.2%	1,902	3.2%	1,919	3.2%	40	17
	芸術	4,156	7.1%	4,170	7.1%	4,188	7.0%	14	18
	語学	1,172	2.0%	1,173	2.0%	1,107	1.9%	1	-66
	文学	22,495	38.3%	23,052	39.2%	23,716	39.7%	557	664
	地域資料	1,395	2.4%	1,373	2.3%	1,441	2.4%	-22	68
	その他	672	1.1%	673	1.1%	625	1.0%	1	-48
	一般図書 計	58,665		58,831		59,785		166	954
	児童図書	21,982 (27.2%)		22,445 (27.6%)		23,650 (28.3%)		463	1,205
	大活字本	156		165		145		9	-20
	デジタル資料	13		13		13		0	0
	音響資料	0		0		0		0	0
	障々資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	80,816		81,454		83,593		638	2,139
	雑誌・タイトル数	153		149		146		-4	-3
図書資料 貸出数	一般図書	337,921		378,023		386,092		40,102	8,069
	児童資料	154,423		190,274		189,434		35,851	-840
	大活字本	605		723		595		118	-128
	デジタル資料	20		46		0		26	-46
	雑誌	31,528		33,121		34,601		1,593	1,480
	音響資料	11,113		12,215		11,170		1,102	-1,045
	障々資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	535,610		614,402		621,892		78,792	7,490
登録者数	一般	22,636		22,147		21,883		-489	-264
	児童	2,978		2,902		2,839		-76	-63
来館者数		433,373		498,490		539,804		65,117	41,314
予約数		253,106		277,492		264,012		24,386	-13,480
コピー枚数		22,963		32,941		38,065		9,978	5,124
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		27.9		29.0		26.1		1.1	-2.9

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

参考 (経堂図書館) 「世田谷のとしょかん (世田谷区立図書館事業概要)」より抜粋

開 設 平成18年7月26日

所在地 宮坂3-1-30

構 造 鉄骨造1階建

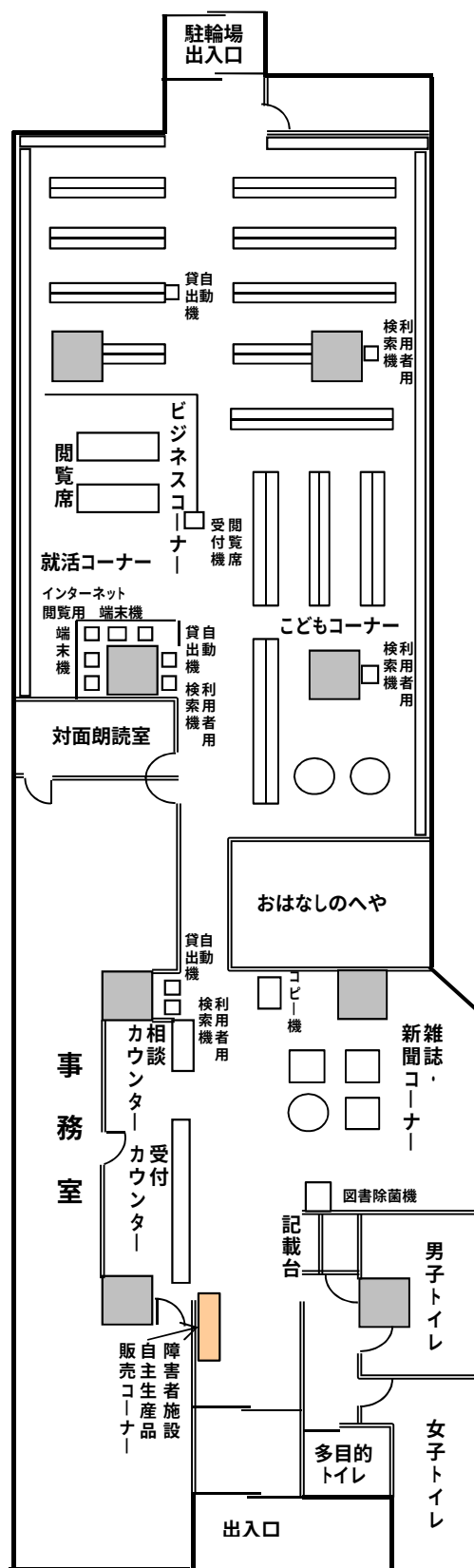
床面積 656.13㎡

対面朗読室 1室

閲覧席 42席
(パソコン利用可能席:12席
コンセント口数 :12)

資料数 図書資料 83,593
音響資料 0

合 計 83,593



項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		2-3年度 増減数	3-4年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	38,734	2.7%	39,046	2.7%	39,380	2.7%	312	334
	哲学	55,210	3.8%	56,203	3.8%	57,007	3.9%	993	804
	歴史	130,387	9.0%	130,219	8.9%	131,890	9.0%	-168	1,671
	社会科学	205,375	14.1%	207,587	14.2%	205,121	14.0%	2,212	-2,466
	自然科学	104,633	7.2%	106,178	7.3%	107,453	7.3%	1,545	1,275
	工学	124,637	8.6%	123,864	8.5%	124,712	8.5%	-773	848
	産業	47,680	3.3%	48,077	3.3%	47,277	3.2%	397	-800
	芸術	127,817	8.8%	129,213	8.9%	128,189	8.8%	1,396	-1,024
	語学	26,949	1.9%	27,480	1.9%	27,532	1.9%	531	52
	文学	523,381	36.1%	524,876	36.0%	525,840	35.9%	1,495	964
	地域資料	52,285	3.6%	53,906	3.7%	54,947	3.8%	1,621	1,041
	その他	14,354	1.0%	13,300	0.9%	14,433	1.0%	-1,054	1,133
	一般図書 計	1,451,442		1,459,949		1,463,781		8,507	3,832
	児童図書	534,403 (25.9%)		539,639 (26.0%)		547,249 (26.2%)		5,236	7,610
	大活字本	9,404		9,215		8,725		-189	-490
	デジタル資料	1,154		1,184		1,265		30	81
	音響資料	55,967		55,029		54,295		-938	-734
	障々資料	9,032		9,076		9,721		44	645
	所蔵数合計	2,061,402		2,074,092		2,085,036		12,690	10,944
	雑誌・タイトル数	4,735		4,722		4,712		-13	-10
図書資料 貸出数	一般図書	3,323,359		3,703,215		3,877,894		379,856	174,679
	児童資料	2,194,961		2,578,660		2,647,264		383,699	68,604
	大活字本	11,711		12,444		11,753		733	-691
	デジタル資料	154		169		100		15	-69
	雑誌	300,390		322,671		326,213		22,281	3,542
	音響資料	192,841		201,724		194,496		8,883	-7,228
	障々資料	725		748		1,386		23	638
	貸出数合計	6,024,141		6,819,631		7,059,106		795,490	239,475
登録者数	一般	227,703		219,245		218,337		-8,458	-908
	児童	45,118		44,164		44,010		-954	-154
来館者数		1,522,191		2,513,403		3,730,337		991,212	1,216,934
予約数		2,486,717		2,756,147		2,645,346		269,430	-110,801
コピー枚数		246,265		276,921		318,192		30,656	41,271
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		378.5		377.4		396.9		-1.1	19.5

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

区立図書館全体に関わる共通意見・提案

- ①所蔵資料の収集・構成に特徴をもたせるなど、各館で行っている特色ある事業や取組みを実施している場合、この取組みシートに記入されるだけでなく、図書館の中に掲示をしたり、世田谷区民にも広くお知らせして知ってもらおうと良い。(令和5年度 第2回協議会意見)
- ②地域で実施している事業を、地域図書館が協力して盛り上げていくことが地域図書館ならではの良さである。世田谷区全体だけでなく、地域図書館を一つ一つ見ていくことによって、地域ならではの図書館の働きが見えてくるところにもこの評価の意義はあるのではないか。(令和5年度 第2回協議会意見)
- ③子どもたちにとって、今図書館に求めているものは居場所ではないか。例えば学校に居たくないなどがあったときの一つの居場所として魅力あるということが、求められている1つの要素ではないか。(令和5年度 第2回協議会意見)
- ④子どもたちが職場体験で図書館に行った後も、例えばその後もボランティアとして、子どもたちによる読み聞かせや、イベントの企画・運営を行うなど、子どもたちが図書館で輝ける、そういう場になっていくと地域とつながる図書館としての魅力は増すのではないか。(令和5年度 第2回協議会意見)
- ⑤閲覧席の記載(世田谷のとしょかんから引用)について、パソコン利用可能席と書かれている。実態は、その席ではなくても、利用者はパソコンを利用している。運用としてパソコン利用席を区別しないのであれば、そうした記載は消してしまっても良いのではないか。(令和5年度 第3回協議会意見)
- ⑥学校との連携について、例えばビブリオバトルや、学校の図書室を利用して仕掛けや音楽を用いた本の紹介など、与えられるものではなくて、子どもたちが関わる催し、そういったものをやっていく中では、学校にいる司書だけでなく、公共図書館のノウハウというものが子どもの読書推進には良い。(令和5年度 第3回協議会意見)
- ⑦団体貸出しについて、私立の学校はあまり利用しているところがないらしく、私立・公立の違いはあるが、私立の学校にも目を向けてもらいたい。(令和5年度 第3回協議会意見)
- ⑧それぞれの図書館の施設の条件、地域特性、駅からの距離、通勤通学客が帰りに立ち寄れるのかどうかといったこともその図書館の利用に大きく違いをもたらしている。そこも含めて色々な評価の在り方・視点があって良いのではないか。(令和5年度 第3回協議会意見)
- ⑨図書館をたまに利用したときに、たまたま接した職員が無表情で対応なのか、もしくは明るく声をかけていただけるかでそのときの印象が大きく違うし、その後の利用にも影響してくるのではないか。多くの図書館で目標への取組として接遇面について取り上げられているというのが、図書館の利用の間口を広げる意味でも有効ではないか。(令和5年度 第3回協議会意見)

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
1	中央図書館	・保存庫と合わせて50万冊の図書と1000タイトルの雑誌を所蔵している。 ・長谷川町子作品及び関係する資料を配架し、関連する展示を行っている。 ・プラネタリウムを併設し、関連した資料の展示やイベントなどを実施している。
2	梅丘図書館	・梅ヶ丘駅徒歩5分、梅まつりやプレーパークで有名な8万㎡を超える羽根木公園内に位置しており、駅前には商店街、近隣には「うめとぴあ」や特別支援学校、児童相談所など医療・福祉関連の施設があり、地域資源が豊富で、自然あふれる立地環境である。 ・「福祉のまち 梅丘」地域にある図書館として、障害者・高齢者・子育て家庭等に関連する健康・医療・子育て情報を発信している。 ・梅丘図書館で活動するボランティア団体が制作する布絵本を、世田谷区内の図書館で唯一所蔵、貸出を行っている。 ・閲覧席数が地域図書館としては最多数であり、多くの利用者が読書や勉強など様々な用途で利用している。 ・建物の老朽化により、令和5年11月から改築工事を実施する予定である（令和8年2月開館予定）。開館までの間は仮事務所で貸出・返却等を行っている。
3	世田谷図書館	・幕末維新ゆかりの地に立地し、名所旧跡や地元商店街活動との関係性を期待できる。（文化） ・古くから地元で親しまれる世田谷線に接する唯一の図書館である。（交通） ・世田谷地域の乳幼児健診会場として図書館的な子育て支援と情報発信をしやすい。（子育て） ・国士館大学に近く、学術的な支援を得ながら、大学の研究実践の場として貢献できる。（学び） ・区役所本庁舎に近く、身近な行政支援・レファレンスなどの連携性を期待できる。（行政） ・地元商店街の店並びが急速に変化し、新たな地域コミュニティ振興の可能性もある。（産業） ・非常に多くの公務員が集約されて勤める官公署エリアでもある。（勤労者）
4	砧図書館	・単独館であること。 3か所のまちづくりセンターや周辺の学校等地域と連携協力体制がとりやすい。 2階に児童書と子どもスペースを設けていることで大人と子どもの住み分けができている。 - 児童書および児童スペースが充実している。 - 読書活動団体が利用できる集会・会議スペースを設けていて、図書館事業もやりやすい。 - 読書活動団体で構成した利用者懇談会を開催し、共催でとしょかんまつりを毎年実施している。 ・1階に配架している実用書はNDCによらない独自の分類をとっていて書店のように探しやすい。 ・ウルトラマン商店街のはずれに位置していることからウルトラマンコーナーを設置している。 ・障害者が働いている福祉喫茶を併設している。
5	奥沢図書館	・世田谷の奥座敷と呼ばれる落ち着いた穏やかな町並みとわがまちを愛する地区活動が盛んな地域 ・地域団体の協力により奥沢地域の歴史資料や写真等の展示コーナーを設けている ・全体のスペースに対して比較的多く閲覧席を設けておりゆっくりと読書ができる
6	玉川台図書館	・瀬田、用賀地域に関わる資料を積極的に収集し、地域コーナーとして常設している。 ・世田谷美術館と事業運営に関する協定を平成23年から結んでいて、世田谷美術館コレクションコーナーを設けている。 ・大人の朗読会に早くから取り組み、現在も継続させている。 ・区民センター、児童館との複合施設故、協力して地域に根差したイベント等に取り組んでいる。 ・図書館カウンター二子玉川の親館としてバックアップしている。 ・図書館アンケートの「図書館職員の接遇について」で地域館のなかで満足度が一番高い。（R3 満足・やや満足 76.7% R4 満足 60.6%）
7	代田図書館	・新代田駅徒歩1分に位置しており、区内で一番駅から近い図書館であるため、利便性が高い。 ・下北沢がすぐ隣にあり、演劇・下北沢・鉄道に関する資料を積極的に収集している。 ・地名の由来となったダイダラボッチの話が伝わっていることから、昔話や民話を集めたコーナーを児童書架に設置している。 ・下北沢駅徒歩3分の「ミカン下北」に立地する「図書館カウンター下北沢」の管理を行っている。

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
8	烏山図書館	- 千歳烏山駅徒歩1分の位置にある利便性と、烏山区民センター前広場で地域のイベントが積極的に開催されるなど年間を通し常に賑わいがあることから、図書館利用者数が非常に多い図書館である。 - 近隣の障害がある方が働く施設で作られた自主生産品の展示・販売を行っている。 - 地域資料架に烏山コーナーを設置し、烏山寺町や甲州街道についての資料を集めている。
9	下馬図書館	- 都営住宅に囲まれた公園の一角に位置しており、立地環境から高齢者と子育て世代の利用が多い。 - 三軒茶屋駅を中心に飲食店・ショップが多数存在し、若年層を中心に賑わう地域と隣接している。 - 近隣には区の公共施設、資料館、シアター、また小中学校、大学等が多数存在しており、多様な文化学習資源に恵まれた地域である。 - 世田谷区立図書館の中では数少ない図書館単独の施設であり、「図書館」としての有用性と独自性の発揮が期待されている。 - 下馬という地名につながる「源頼朝」関連図書を、地域の特色ある資料として収集している。
10	深沢図書館	- 駅から離れた住宅街にあり、地元住民の利用が多い。 - 児童文学作家の中川李枝子氏の著作を集めた「ぐりとぐらコーナー」がある。中川氏は令和4年10月に世田谷区の名誉区民に顕彰された。 - 図書館のある建物に深沢区民センター・深沢児童館があり、共催で行事を開催している。
11	桜丘図書館	- 地域特性として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を集めたコーナーを設置している。定期的に主演映画の上映会や講演会を行っている。 - 経堂地区の認知症希望条例アクションチームに参加しており、「認知症の人にやさしい図書館」の取り組みをすすめていく。 - 希望ヶ丘団地内にある希望丘図書室を管理しており、地域の事業に協力している。
12	尾山台図書館	- ライトノベルのコーナーを設けている。 - 採光が良くステンドグラスが設置されている。通路が広く書架の間を移動し易い。 - 駅徒歩3分で商店街の中という利用し易い立地にある。
13	上北沢図書館	- 駅近（徒歩5分）の閑静な住宅地にある。館内が広く、落ち着いて過ごすことができる。 - 利用者満足度が高い図書館である（令和4年度利用者アンケート 全体的満足度78.7%）。 - 近くに都立松沢病院があることを踏まえ、心と体の健康に関する資料所蔵に重点を置き、入口のすぐそばにコーナーを設けている。 - 賀川豊彦（社会活動家）に関する資料の収集や、地域在住作家の影絵作品の展示などを通して、地域との連携を図っている。
14	粕谷図書館	- 京王線千歳烏山駅から南へ徒歩10分程度にあり、周囲は閑静な住宅地に囲まれた隠れ家的な図書館である。 - 明治・大正期の文豪、徳富蘆花が後半生を過ごした地となる蘆花恒春園と近接しており、同作家の作品を集めた『徳富蘆花コーナー』を設け資料の収集、展示をしている。 - 徳富蘆花の著書『みみずのたはごと』では当時の自然豊かな粕谷地域の生活風景が描かれており、都立芦花公園の花の丘にも因んで、花や虫に関する本を充実させ、生きものや命の大切さの学びに資している。
15	鎌田図書館	- 成城と二子玉川の中間に位置しており、駅からの利便性はよくない。 - 利用は地元の方が中心であり、身近な図書館という意識が強く満足度も高い。 - この地域は住戸の建設が続いていることから引越してきた家族等の利用が多い。 - 小中学校と隣接していることから児童、学生の利用が多い。 - 付近に位置する静嘉堂文庫や民家園に関するコーナーの展示を実施。
16	経堂図書館	- 小田急線経堂駅の高架下であり駅から徒歩1分でほぼ雨に濡れずに来館できる。 - ビジネス資料や就職支援に特化した資料を収集しているビジネスコーナーがある。 - 座席予約システムによって効率よく座席が利用できるビジネス閲覧席がある。 - ビジネス本の要約サービス「flier」をビジネスコーナーで利用できる。 - 障害者施設自主生産品「はっぴいハンドメイド」の製品の一部を購入できる。 - 感染症予防にも効果があり安心・安全な読書を助ける図書除菌機がある。

資料集

令和 4 年 7 月 1 日

4世教中図第124号

(目的及び設置)

第1条 第2次世田谷区立図書館ビジョンに基づき、世田谷区立図書館（以下「区立図書館」という。）における利用者ニーズに即した区立図書館運営やサービス向上を図ることを目的に、区立図書館の運営状況の評価・検証、区立図書館運営・サービスの課題および改善等について、専門的な知見や利用者等の視点から検討を行うため、世田谷区立図書館運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次の事項について総合的に検討する。

- (1) 区立図書館の運営状況の評価・検証に関すること
- (2) 区立図書館における運営・サービスの課題および改善に関すること
- (3) その他区立図書館について検討を要すること

(組織)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱し、又は任命する委員16人以内をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 公募区民
- (3) 社会教育関係者
- (4) 教育機関関係者
- (5) 図書館活動団体関係者
- (6) 図書館関連事業関係者
- (7) 世田谷区立小中学校長
- (8) 区職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、教育長が必要と認める場合は、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は、補欠委員を置くことができる。なお、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集する。

2 会長は、委員が映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法（以下「オンライン会議システム」という。）を使用して会議に参加することを認めることができる。

3 オンライン会議システムにより会議に参加した委員は、会議に出席したものとして取り扱う。

(関係者の出席)

第7条 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(秘密の保持)

第8条 委員は、この要綱に基づく協議会の会議等において職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、教育委員会事務局中央図書館に置く。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、令和4年7月1日から施行する。

令和４年度 世田谷区立図書館運営協議会委員一覧

◎は会長、○は副会長

	区分	肩書等		氏名
1	学識経験者	慶應義塾大学 名誉教授	◎	糸賀 雅児
2		国土館大学 理工学部理工学科 まちづくり学系 准教授	○	西村 亮彦
3		青山学院大学 コミュニティ人間科学部 非常勤講師		石原 真理
4	公募区民	区内在住		登坂 なほ子
5				浜田 久美子
6				松田 洋
7				宮岸 孝吉
8	社会教育関係者	第30期世田谷区社会教育委員		佐藤 三智子
9	教育機関関係者	鷗友学園女子中学高等学校 司書教諭		豊泉 聡美
10	図書館活動団体関係者	世田谷の図書館を考える会		稲葉 祐江
11		世田谷おはなしネットワーク		安富 淳子
12	図書館関連事業関係者	(株) KADOKAWA 教養統括部 翻訳編集部		郡司 珠子
13		社会福祉法人 共生会 SHOWA おでかけひろば SHIP・ほっとステイ SHIP DAY NURSERY 施設長		平野 季深
14	世田谷区立小中学校長	世小研 図書館部		飴家 純
15		世中研 図書館教育部		本橋 智博
16	区職員	生涯学習部長		内田 潤一

令和5年度 世田谷区立図書館運営協議会委員一覧

◎は会長、○は副会長

	区分	肩書等		氏名
1	学識経験者	慶應義塾大学 名誉教授	◎	糸賀 雅児
2		国土館大学 理工学部理工学科 まちづくり学系 准教授	○	西村 亮彦
3		青山学院大学 コミュニティ人間科学部 非常勤講師		石原 真理
4	公募区民	区内在住		登坂 なほ子
5				浜田 久美子
6				松田 洋
7				宮岸 孝吉
8	社会教育関係者	第30期世田谷区社会教育委員		佐藤 三智子
9	教育機関関係者	鷗友学園女子中学高等学校 司書教諭		豊泉 聡美
10	図書館活動団体関係者	世田谷の図書館を考える会		稲葉 祐江
11		世田谷おはなしネットワーク		安富 淳子
12	図書館関連事業関係者	(株) KADOKAWA 教養統括部 翻訳編集部		郡司 珠子
13		社会福祉法人 共生会 SHOWA おでかけひろば SHIP・ほっとステイ SHIP DAY NURSERY 施設長		平野 季深
14	世田谷区立小中学校長	世小研 図書館部		金子 佳生
15		世中研 図書館教育部		前田 浩
16	区職員	教育政策・生涯学習部長		知久 孝之